

2010年（第60回）学生生活実態調査の結果報告書

東京大学学生委員会
学生生活調査室

目 次	
調査の概要	第2部 学生生活の背景
報告について	1 家庭の状況…………… 17
第1部 学生生活の評価と将来の選択	2 生活費の状況…………… 21
1 入学・進学・学業…………… 3	3 通学・住居…………… 25
2 就職…………… 11	4 奨学金…………… 27
3 不安・悩み…………… 13	5 アルバイト…………… 29
4 大学への要望…………… 16	特殊分析の試み…………… 31
	総合分析の試み…………… 34
	資料1 (調査票及び単純集計結果) …… 39
	資料2 (クロス集計表) …… 55

調査の概要

1. 調査票の作成

2010年(平成22年)5月から10月にかけて、学生委員会学生生活調査室で調査内容の企画立案を行った。

2. 調査の期間

2010年(平成22年)11月下旬～12月下旬。

3. 調査の対象及び抽出率

学部男子・女子学生。学部・科類別無作為抽出法で、

在籍者数の1/4を抽出。

4. 調査の方法

郵送調査で行い、対象者自身が記入する(自記式)方法。

5. 調査の内容

I. 基本的事項、II. 入学・進学・学業、III. 就職、IV. 不安・悩み、V. 大学への要望、VI. 家庭の状況、VII. 生活費の状況、VIII. 通学・住居、IX. 奨学金、X. アルバイト、XI. 具体的記述

報告について

1. 今回は、2008年(第58回)と同様に、学部男子・女子学生を対象として学生生活実態調査を行った。

集計結果の分析に当たっては、学部学科間・年度間・男女間などの相違に注目し、特異な数値傾向の把握に努めた。

2. 学内広報掲載の報告については、クロス集計表を省略した。クロス集計表については、ホームページ掲載の報告を参照されたい。

3. 平成21年度までは、2分の1程度の具体的記述を原文のまま報告書に記載していたが、読む人によって個人が特定できる可能性があること、さらに、報告書掲載の基準が恣意的になりやすいこともあり、昨年度より具体的記述は報告書に掲載しないこととした。ただ、このことは具体的記述を無視するとか軽視することを意味しているわけではなく、それぞれの具体的記述は学生生活調査室で検討するとともに、担当理事によっても検討され、大学の施策の改善に役立てられている。

4. 複数回答の百分率(パーセント)は、非該当を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。また、本文中の「ポイント」とは、総数の百分率(パーセンテージ・ポイント)を表す。

5. 今回の単純集計表及びクロス集計表は、大学総合教育研究センターの作成による。

グラフと表について

1. 今回、本文に掲載した経年変化のグラフと表については、1973年調査までさかのぼって取り上げた項目がいくつかあり、「表1」に1973年以降の調査の実施状況を表示した。
2. 文中に掲げたグラフと表については、それぞれの年の比較を見やすくするため「無回答」及び「非該当」を除いた比率で作成している。また、個々の数値を四捨五入しているため、合計が100%に満たないものと100%を超えるものがある。
3. 複数回答の設問については、非該当を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。
4. 平均値の算出は、無回答のものを除く該当者平均を求めた。
5. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。

「全体」……………回答者全員の比率を示す。

「文科系」「理科系」……………在籍する学部により二つの系に区分したものを示す。

表1 学生生活実態調査実施状況一覧表

回数	調査年月	対象学生	抽出率	対象者数	回収率	調査方法
第23回	1973年12月	学部男子・女子	男子 1/15 女子 1/2	人 794 340	% 76.2 75.0	郵送自記式
第24回	1974年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,004	67.8	〃
第25回	1975年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,041	75.3	〃
第26回	1976年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,063	75.5	〃
第27回	1977年11月	学部女子	全数	811	75.8	〃
第28回	1978年12月	大学院学生	男子 1/4 女子 全数	862 315	66.1 66.3	〃
第29回	1979年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,069	78.6	〃
第30回	1980年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,064	73.8	〃
第31回	1981年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,031	74.2	〃
第32回	1982年11月	学部女子	全数	910	77.6	〃
第33回	1983年11月	学部男子	1/5 ~ 1/15	1,008	75.0	〃
第34回	1984年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,380	76.1	〃
第35回	1985年11月	大学院学生	男子 1/2 ~ 1/4 女子 1/2 OM・OD 1/2	968 165 249	69.8 67.9 51.4	〃
第36回	1986年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,385	72.6	〃
第37回	1987年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,432	73.9	〃
第38回	1988年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,459	70.9	〃
第39回	1989年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,480	78.5	〃
第40回	1990年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,504	63.1	〃
第41回	1991年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,530	62.2	〃
第42回	1992年11月	大学院学生	男子 1/2 ~ 1/6 女子 1/2	1,496	59.8	〃
第43回	1993年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,593	64.8	〃
第44回	1994年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,005	60.6	〃
第45回	1995年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,011	64.0	〃
第46回	1996年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,004	60.9	〃
第47回	1997年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,990	60.2	〃
第48回	1998年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,964	60.3	〃
第49回	1999年11月	大学院学生	男・女 1/4 OM・OD 1/4	2,099	49.5	〃
第50回	2000年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,917	54.4	〃
第51回	2001年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,900	49.6	〃
第52回	2002年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,749	37.2	〃
第53回	2003年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,700	40.6	〃
第54回	2004年11月	大学院学生	男・女 1/4	2,539	40.6	〃
第55回	2005年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,534	38.7	〃
第56回	2006年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,455	32.8	〃
第57回	2007年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,406	43.0	〃
第58回	2008年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,506	45.2	〃
第59回	2009年11月	大学院学生	男・女 1/4	2,675	49.9	〃
第60回	2010年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,419	42.6	〃

(注)「休学者」「外国人留学生」は、対象学生から除かれている。1992年調査は「外国人留学生」を含む。

表2 2010年(第60回)学生生活実態調査回収状況一覽

学 部	男女別	男 子			女 子			全 体		
		対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率
		人	人	%	人	人	%	人	人	%
教養学部(前期)		1,315	564	42.9	294	146	49.7	1,609	710	44.1
文科 小計		501	201	40.1	165	75	45.5	666	276	41.4
文科一類		189	73	38.6	44	14	31.8	233	87	37.3
文科二類		156	67	42.9	28	11	39.3	184	78	42.4
文科三類		156	61	39.1	93	50	53.8	249	111	44.6
理科 小計		814	363	44.6	129	71	55.0	943	434	46.0
理科一類		553	245	44.3	48	30	62.5	601	275	45.8
理科二類		219	96	43.8	73	37	50.7	292	133	45.5
理科三類		42	22	52.4	8	4	50.0	50	26	52.0
法 学 部		202	90	44.6	52	25	48.1	254	115	45.3
経 済 学 部		163	64	39.3	27	16	59.3	190	80	42.1
文 学 部		147	44	29.9	66	33	50.0	213	77	36.2
教 育 学 部		34	13	38.2	23	13	56.5	57	26	45.6
理 学 部		146	55	37.7	16	8	50.0	162	63	38.9
工 学 部		474	168	35.4	43	23	53.5	517	191	36.9
農 学 部		121	50	41.3	40	26	65.0	161	76	47.2
薬 学 部		32	19	59.4	12	6	50.0	44	25	56.8
医 学 部		91	49	53.8	21	8	38.1	112	57	50.9
教養学部(後期)		66	17	25.8	34	18	52.9	100	35	35.0
合 計		2,791	1,133	40.6	628	322	51.3	3,419	1,455	42.6
2008年(第58回)調査		2,826	1,210	42.8	680	375	55.1	3,506	1,585	45.2

第1部 学生生活の評価と将来の選択

1-1. 入学・進学・学業

1-1-1. 入学について

入学の希望は「東大にどうしても入りたかった」58.2%
 入学の動機は「社会的評価が高いから」19.4%
 入学時に進学希望学部を決めていたのは56.7%

「東大を受験する際に東大に入学することをどの程度希望していましたか」への回答結果は、「浪人しても東大に入りたと思っていた」が58.2%、「東大がダメなら他大学でもよいと思っていた」が40.4%、「他大学がダメなら東大でもよいと思っていた」が1.3%であった。時系列での変化をみると、前回までの選択肢は「どうしても入りたかった」で、今回と若干異なることに留意する必要があるが、東大への強い入学希望をもっている学生の割合は2005年（第55回）を境に大きく上昇し（2003年48.6%→2005年59.0%）、その後も常に6割近くを維持している。今回の調査では、前回とほぼ同じような傾向であると言える（図1）。

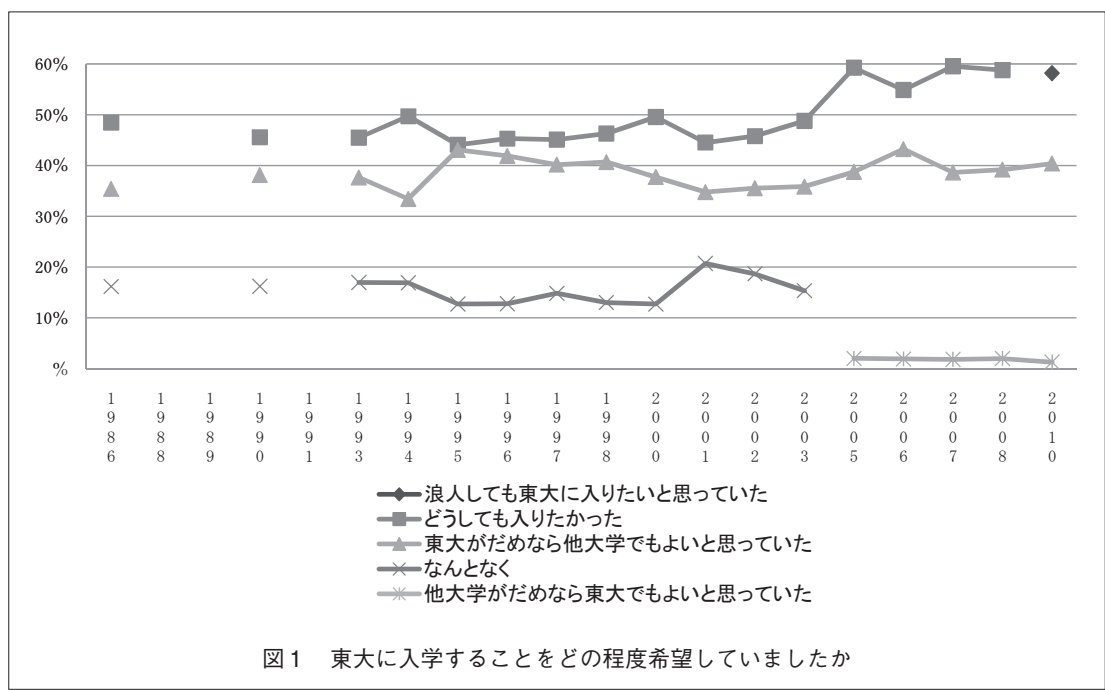
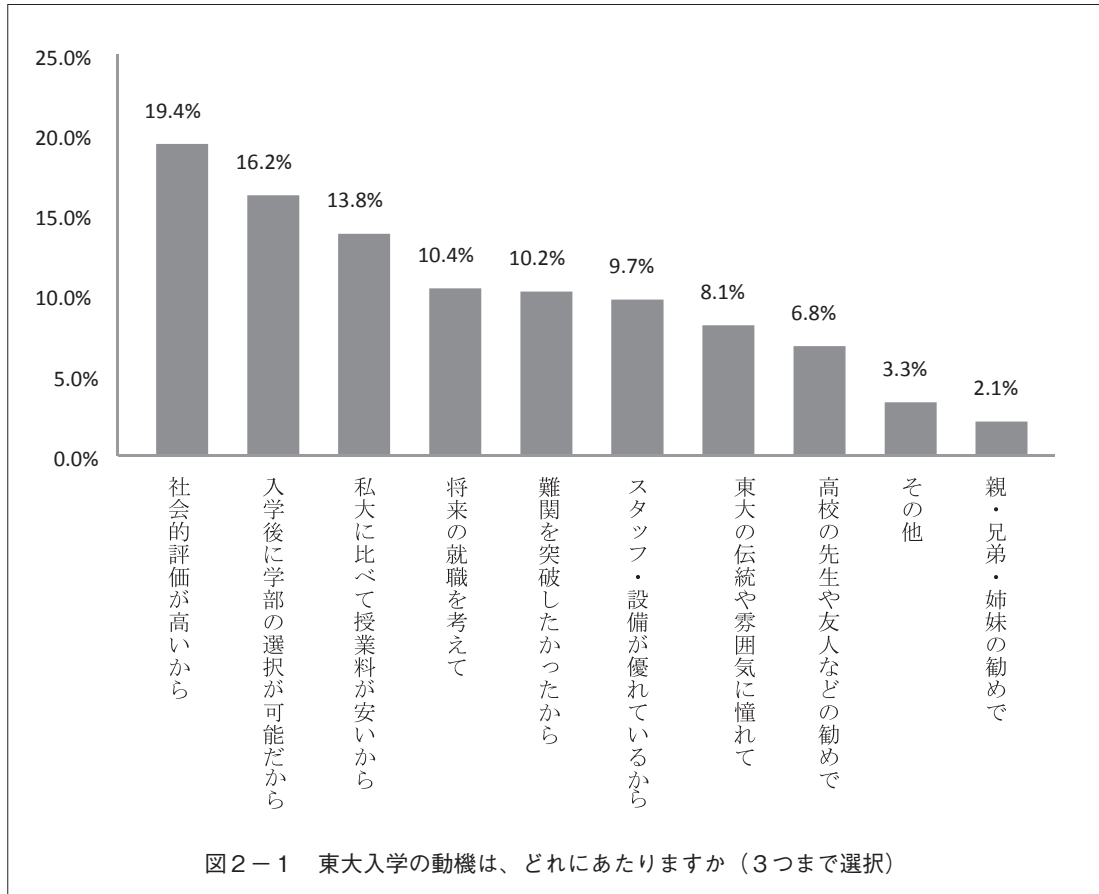
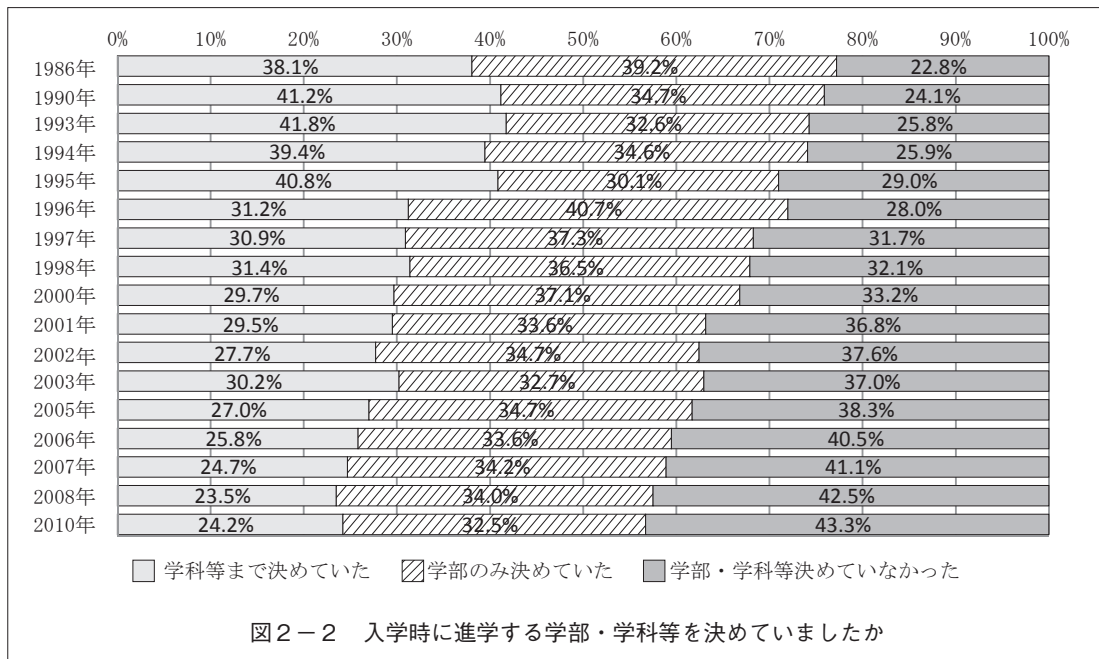


図1 東大に入学することをどの程度希望していましたか

「東大入学の動機は、どれにあたりますか」への回答では、「社会的評価が高いから」が19.4%、「入学後に学部の選択が可能だから」が16.2%、「私大に比べて授業料が安いから」が13.8%で上位3つを占めており、前回と同順であった（図2-1）。



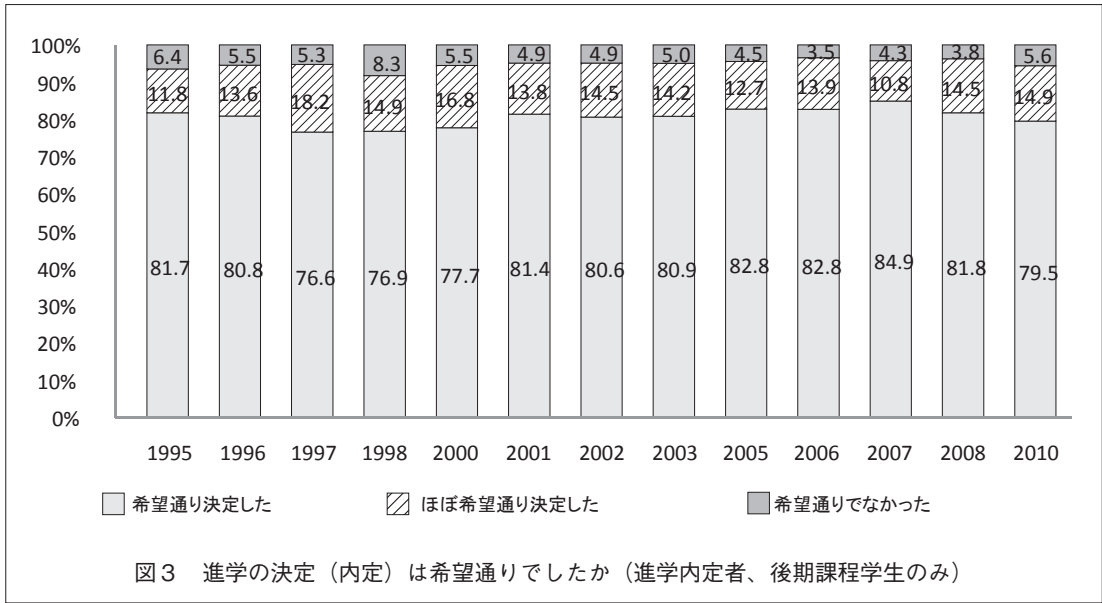
「入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか」への回答では、「学部のみ決めていた」が32.5%、「学科等まで決めていた」が24.2%、「学部、学科は決めていなかった」が43.3%であった。時系列での変化をみると、学部あるいは学科等を決めている学生が減り、決めていない学生が増えている傾向がみられる。2006年（第56回）以降、決めずに入学する学生は4割を超え、年々微増している。（図2-2）



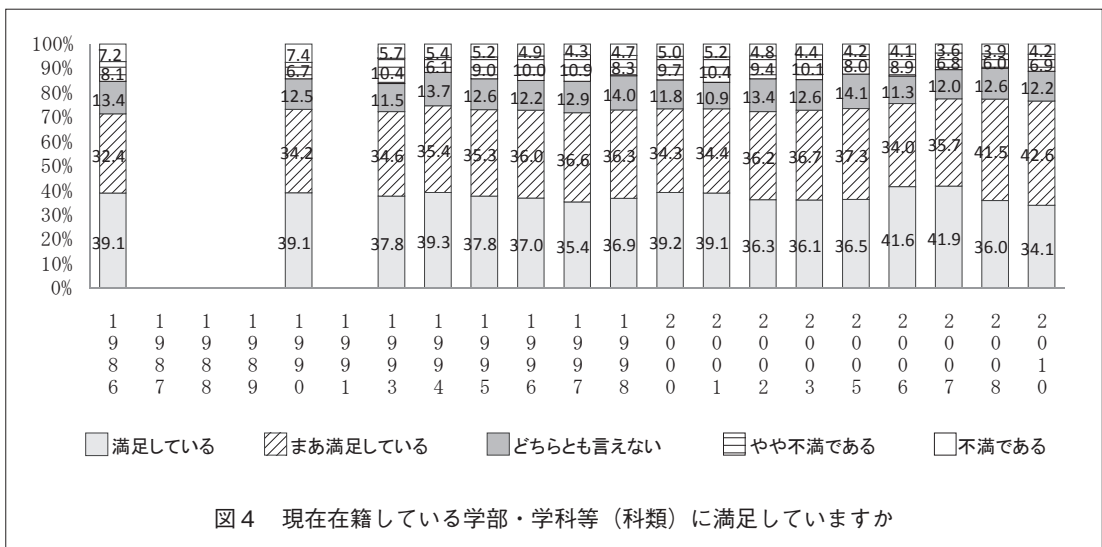
1-1-2. 進学について

「希望通り・ほぼ希望通り」進学決定（内定）したのは94.4%
 在籍学部・学科等に「満足・まあ満足」している学生は76.7%
 進学振分け制度「現行のままでよい」は39.9%

進学内定者及び後期課程学生のみが回答する「進学の決定（内定）は希望通りでしたか」の回答では、「希望通り決定（内定）した」が79.5%、「ほぼ希望通り決定（内定）した」が14.9%、「希望通りでなかった」が5.6%で、ほとんどの人が希望通りに進学が決まっている。時系列でも、近年大きな変動はみられていない（図3）。



「現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか」では、「満足している」が34.1%、「まあ満足している」が42.6%、「どちらとも言えない」が12.2%、「やや不満である」が6.9%、「不満である」4.2%であった。時系列でみると、前回（2008年・第58回）以降、「満足している」が1.9ポイント減少し、かわって「まあ満足している」が1.1ポイント程度増加しており、前回とほぼ同様の結果であった。全体としては、7割以上の者が満足している様子がうかがえる（図4）。



1-1-3. カリキュラムについて

カリキュラムに「満足・まあ満足している」は56.7%
カリキュラムの消化が「できる・まあできる」は78.8%

「現在のカリキュラムに満足していますか」では、「満足している」11.6%、「まあ満足している」45.1%となっており、満足している者は56.7%と半数をこえている。時系列でみると、2005年の第55回以降、過半数の者がカリキュラムに満足している結果となっている（図6-1）。学部別では、学部による満足度の違いがみられ、教育学部80.8%、工学部71.2%、理学部70.5%では、7割以上が満足している（図6-2）。

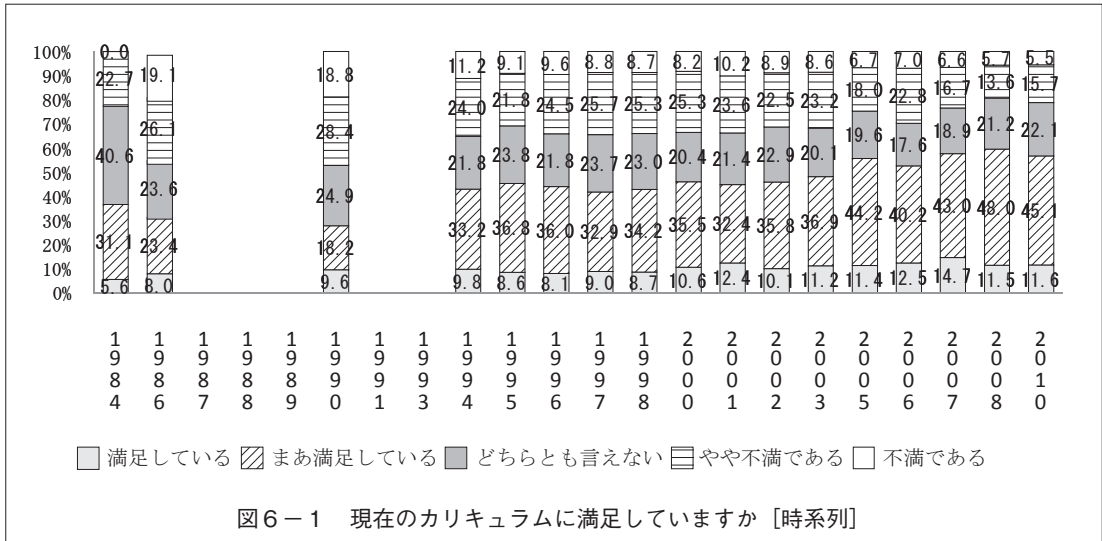


図6-1 現在のカリキュラムに満足していますか [時系列]

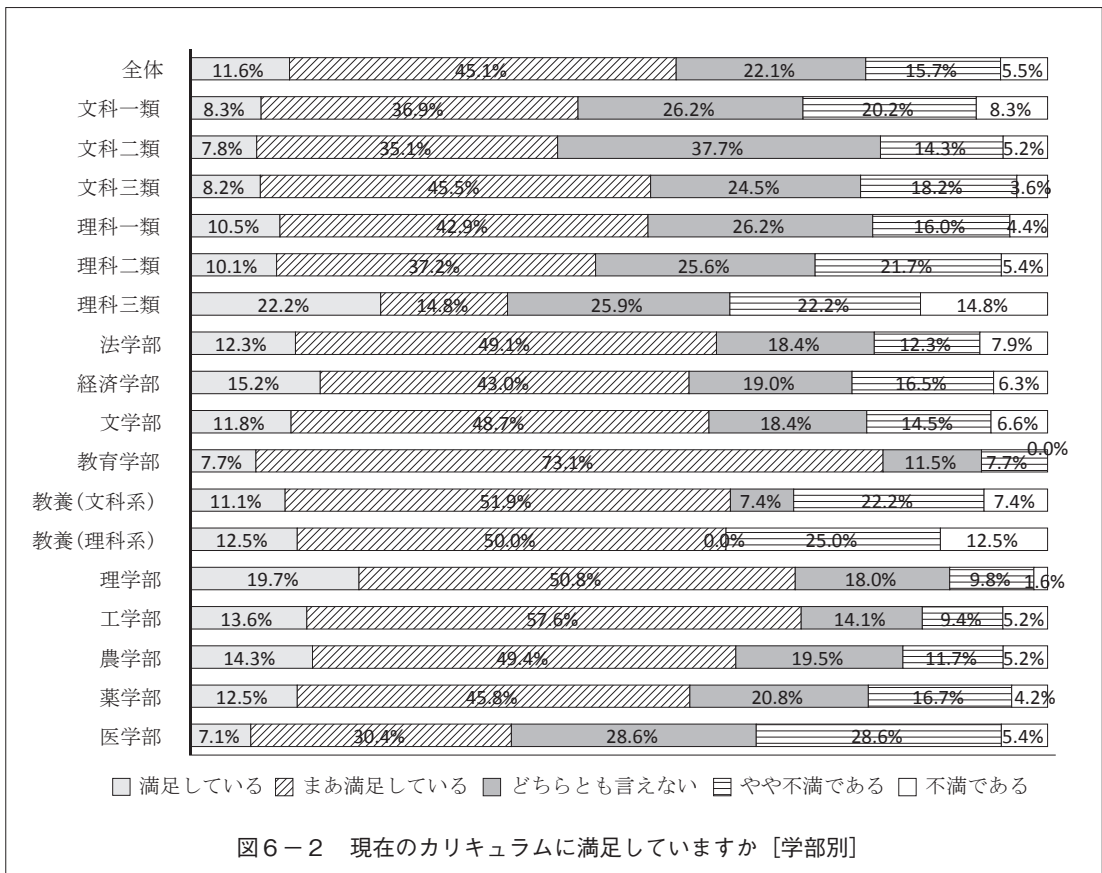


図6-2 現在のカリキュラムに満足していますか [学部別]

「現在のカリキュラムを消化できますか」への回答では、「できる」が31.9%、「まあできる」が46.9%で消化できると答えた者は78.8%であった。時系列でみると、前回(2008年・第58回)とはほぼ同様の結果となっているが、前々回(2007年・第57回)以前と比較すると、「できる」が10ポイント程度減少し、「まあできる」が10ポイント弱増加する傾向が続いている。自信をもってカリキュラムを消化できている、と答えられる学生がやや少なくなっている(図7-1)。学部別では、学部によってカリキュラム消化に違いがみられる(図7-2)。

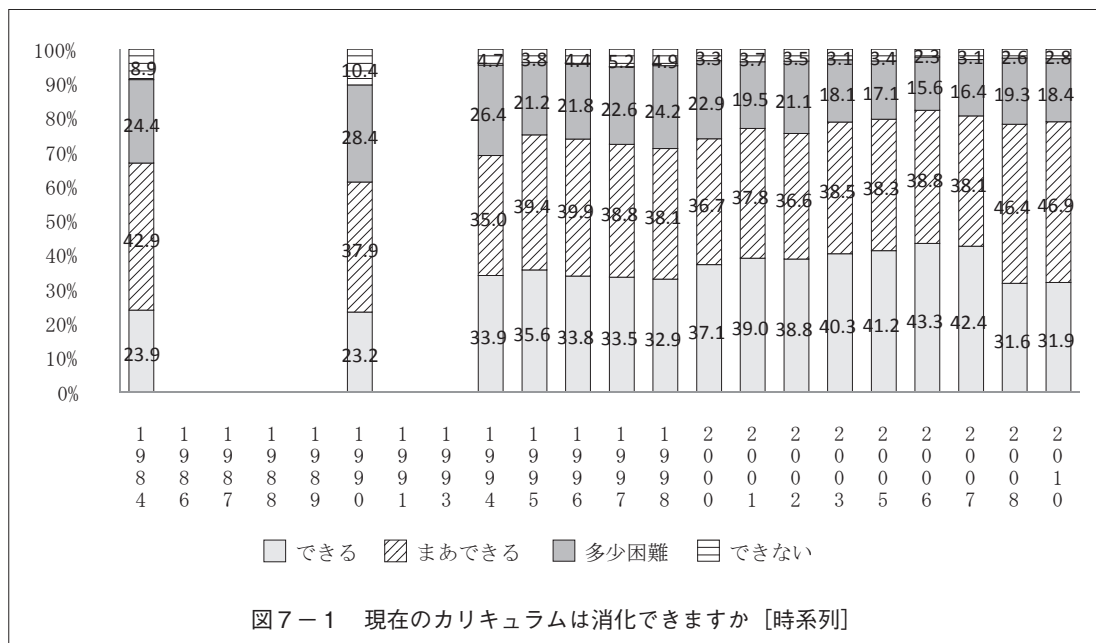


図7-1 現在のカリキュラムは消化できますか [時系列]

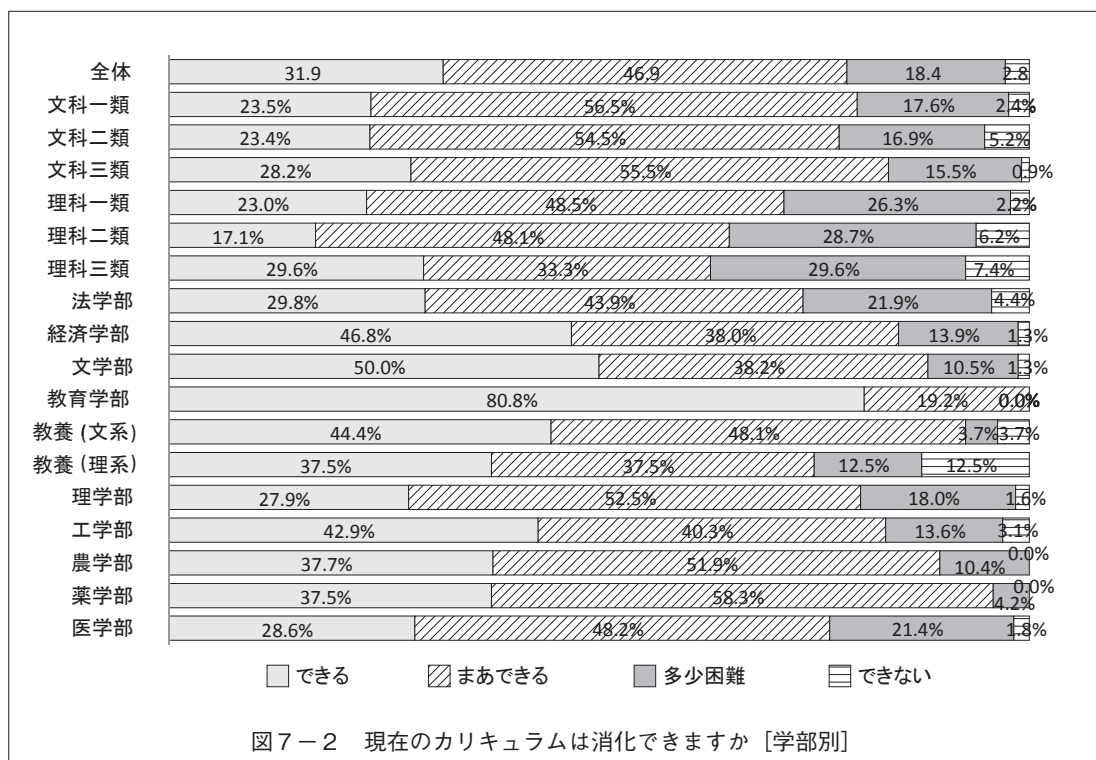


図7-2 現在のカリキュラムは消化できますか [学部別]

1-1-4. キャンパスにいる時間

夜9時以降にキャンパスにいることがある学生は、62.0%
「土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいる」者の割合は、76.7%

今回の調査では、初めて学生がキャンパスにいつまで、どの程度いるのかたずねた。その結果は、「夜9時過ぎまでキャンパスにいることはない」は38.0%と約4割だが、「夜9時くらいまでならキャンパスにいることはある」が24.7%と4分の1、「夜10時くらいまでならキャンパスにいることはある」が19.5%、「夜11時くらいまでならキャンパスにいることはある」が7.0%、「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある」が10.8%となっている。なお、文科系より理科系の方がキャンパスにいる者の割合が高く、特に「夜11時くらいまでならキャンパスにいることはある」は文科系4.9%に対して、理科系は8.6%、「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある」は、文科系3.4%に対して、理科系16.1%とかなりの学生が夜遅くまでキャンパスに残っている。

さらに、キャンパスに残っている者に、その頻度をたずねると、「半年で1、2回」が12.1%、「月に1、2回くらい」が26.1%、「週に1、2回くらい」が33.1%で、合わせて78.3%と4分の3以上が週に1、2回程度だが、「週に3、4回くらい」は21.2%、「ほぼ毎日」が7.4%となっており、かなりキャンパスにいる時間が長い学生がいるとみられる。また、文科系理科系別でも、理科系の方が文科系に比べてキャンパスにいる時間が長くなっている。

また、「土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいる」者の割合は、76.7%と4分の3を超えている。ただし、文科系理科系別では、有意な差はない。



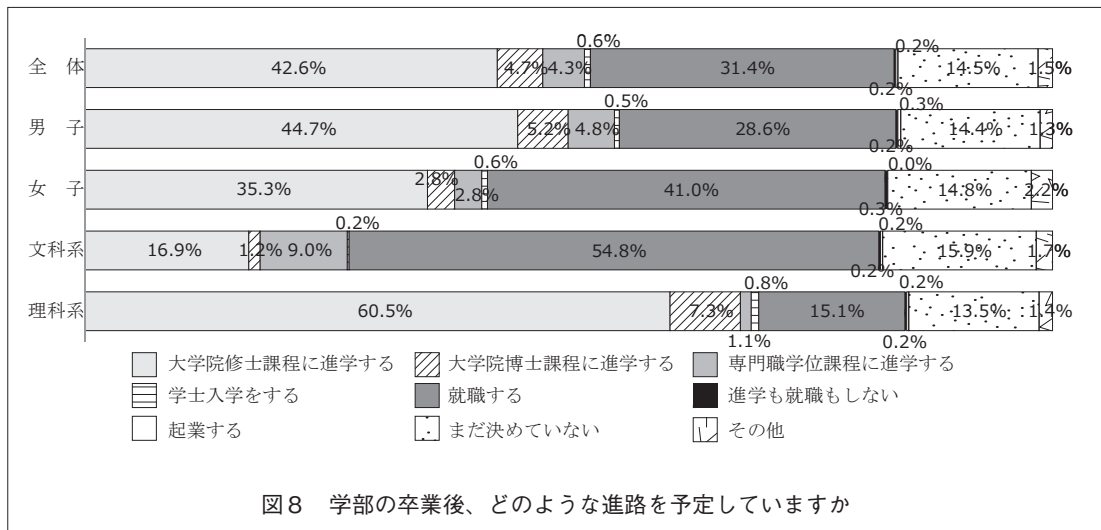
本郷キャンパス正門

1-1-5. 学部卒業後の進路予定について

文科系は就職希望者が54.8%、理科系では大学院進学希望者が68.9%
 大学院進学希望者では、文科系では専門職学位課程を希望する者が約3分の1
 主な大学院進学の理由第1位は、「より高度の知識・技術を身に付けるため」で43.6%

「学部卒業後、どのような進路を予定していますか」では、「大学院に進学する（修士42.6%、博士4.7%、専門職4.3%）」が51.6%、「学士入学をする」が0.6%、「就職する」が31.4%、「まだ決めていない」が14.5%であった。男女別でみると、男子は「大学院に進学する」（男子54.7%、女子40.9%）が女子よりも13.8ポイント程度高く、女子は「就職する」（男子28.6%、女子41.0%）が男子よりも12.4ポイントほど高い。文科系・理科系別でみると、理科系は「大学院に進学する」（理科系68.9%、文科系27.1%）が7割近くを占め、文科系は「就職する」（文科系54.8%、理科系15.1%）が理科系の3倍以上であることから、文科系・理科系で卒業後の進路予定に大きな違いがあることがみてとれる（図8）。

「大学院に進学する」と答えた人に「その理由」を聞いてみたところ、「より高度の知識・技術を身に付けるため」が43.6%と、他の項目と比べて圧倒的に高く、次いで「良い就職先を得るため」が13.5%、「大学で教育・研究職に就くため」が10.4%、「必要な資格を得るため」が8.5%という結果となった。男女別では、全体的に大きな差異はみられなかったが、「必要な資格を得るため」（男子7.9%、女子11.4%）で女子が3.5ポイント高く、「大学で教育・研究職に就くため」（男子10.9%、女子8.5%）で男子が2.4ポイント高いという違いがみられた（クロス集計表1-17表）。



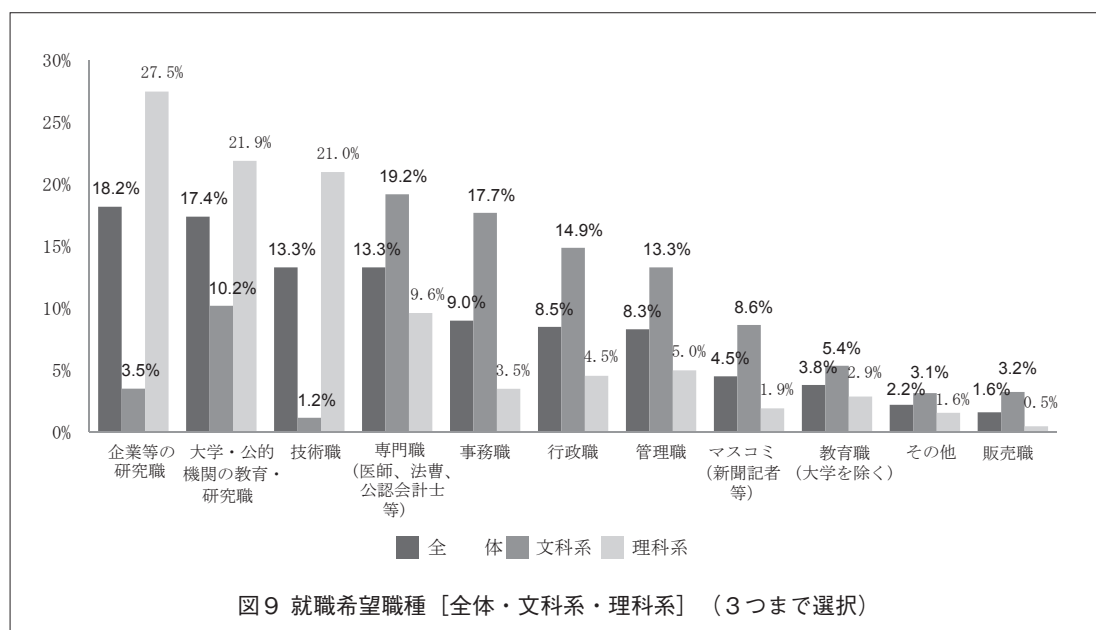
1-2. 就職

希望職種は「企業等の研究職」18.2%、「大学・公的機関の教育・研究職」17.4%
希望職種に就きたい理由は「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」25.8%

「どのような職業に就きたいと思いますか」についての回答をみると、全体では、「企業等の研究職の割合」が18.2%、「大学・公的機関の教育・研究職」が17.4%と高く、「技術職」と「専門職（医師、法曹、公認会計士等）」が13.3%と続いている。前回の調査（第58回・2008年）では「行政職（公務員）」が3番目に高い割合であったが、今回の調査では8.5%で6番目となっており、「技術職」と入れ替わる結果となった（図9）。

男女別では、いくつかの項目で男女に差がみられた。「企業等の研究職」（男子19.2%、女子14.8%）、「大学・公的機関の教育・研究職」（男子18.4%、女子13.9%）、「技術職」（男子14.6%、女子8.5%）の項目において、男子が女子と比べて5ポイント前後高く、「事務職」（男子7.3%、女子15.1%）では女子の高さが目立っている。（クロス集計表2-1-2表）

文科系・理科系別をみると、全体的に文科系と理科系の間で大きな違いがある。特に顕著な差がみられるものとしては「企業等の研究職」（理科系27.5%、文科系3.5%）、「大学・公的機関の教育・研究職」（理科系21.9%、文科系10.2%）、「技術職」（理科系21.0%、文科系1.2%）で、理科系が大幅に高い。他方、「専門職」（文科系19.2%、理科系9.6%）、「事務職」（文科系17.7%、理科系3.5%）、「行政職」（文科系14.9%、理科系4.5%）、「管理職」（文科系13.3%、理科系5.0%）、「マスコミ（新聞記者等）」（文科系8.6%、理科系1.9%）、「教育職（大学を除く）」（文科系5.4%、理科系2.9%）、「その他」（文科系3.1%、理科系1.6%）、「販売職」（文科系3.2%、理科系0.5%）においては、文科系が10ポイント程度高くなっている。

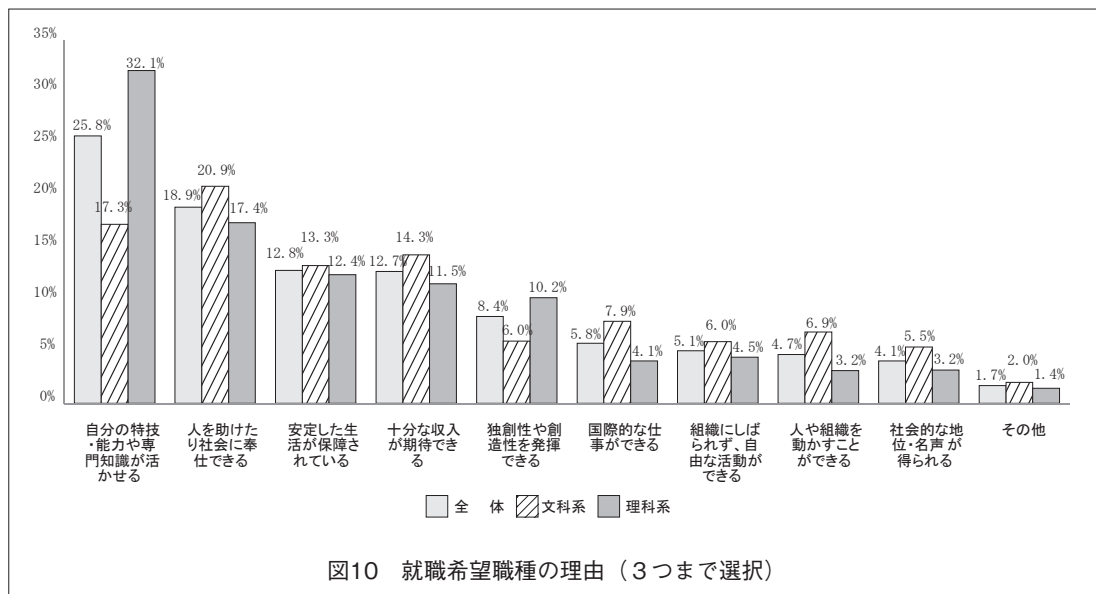


「その職業に就きたいと考えるのは、どのような理由からですか」についての回答をみると、全体では「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」が25.8%、「人を助けたり社会に奉仕できる」が18.9%、続いて「安定した生活が保障されている」12.8%、「十分な収入が期待できる」12.7%となっており、上位4項目は前回の調査（第58回・2008年）と同順であった（図10、クロス集計表2-2表）。

男女別では、全体的に大きな男女の差はみられず、「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」（男子26.1%、女子24.5%）、「人を助けたり社会に奉仕できる」（男子18.2%、女子21.4%）、「安定した生活が保障されている」（男子

12.2%、女子14.9%)、「十分な収入が期待できる」(男子13.3%、女子10.9%)という全体での上位4項目は、男女ともに高い傾向を示している。「国際的な仕事ができる」(男子4.7%、女子9.4%)のみ、女子が5ポイント近く高くなっている(クロス集計表2-2表)。

文科系・理科系別にみると、「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」(理科系32.1%、文科系17.3%)を希望理由に挙げる理科系の高さが際だっている。また、「独創性や創造性を発揮できる」(理科系10.2%、文科系6.0%)においても理科系が高い。他方、文科系が高めの項目としては、「人を助けたり社会に奉仕できる」(文科系20.9%、理科系17.4%)、「国際的な仕事ができる」(文科系7.9%、理科系4.1%)「人や組織を動かすことができる」(文科系6.9%、理科系3.2%)が挙げられ、いずれも約4ポイント程度の差がみられる。それ以外の項目では大きな差は見られない(図10)。

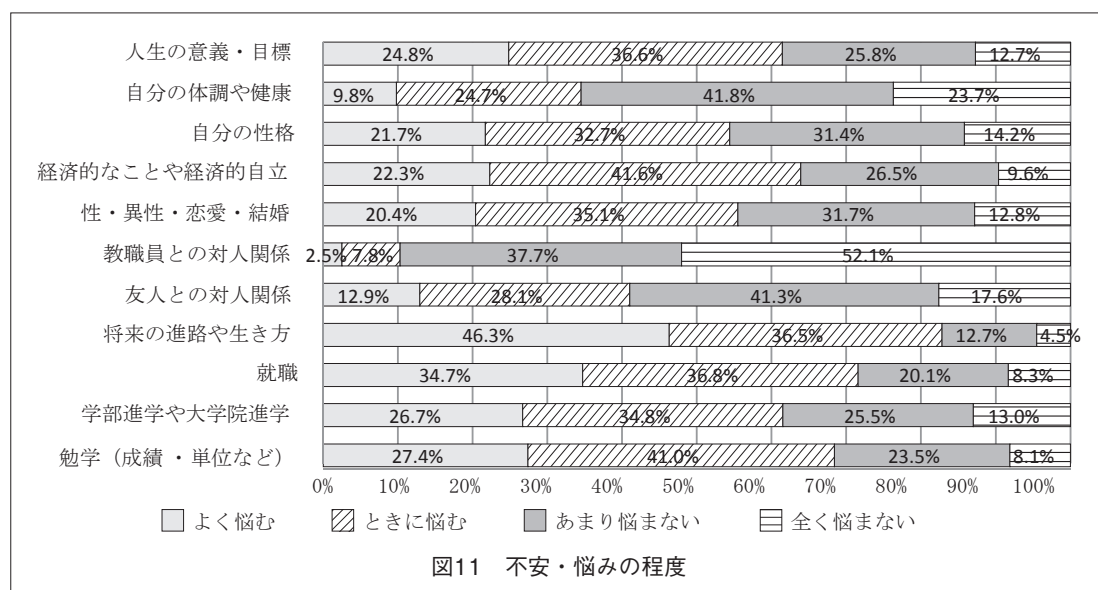


1-3. 不安・悩み

「将来の進路や生き方」に82.8%の学生が悩みを感じている
 相談する相手は、父母、学内のサークルや団体の友人、大学内の同じ学科や研究室の友人、
 大学外の友人
 「経済的支援の強化」を求める学生が67.3%に達した

学生が不安や悩みとして最も多くあげた項目は「将来の進路や生き方」で「よく悩む」と「ときに悩む」をあわせて82.8%にのぼる。これに次いで多いのは、「就職」（同71.5%）、「勉学（成績・単位など）」（同68.4%）、「経済的なことや経済的自立」（同63.9%）などとなっている。これらは前回とほぼ同じ傾向である。逆に、あまり不安や悩みがないのは「教職員との対人関係」（同10.3%）、「自分の体調や健康」（同34.5%）などとなっている（図11）。

多くの項目で女子の方が男子より悩む割合が高い。とくに「勉学（成績・単位など）」で男子が「よく悩む」と「ときに悩む」を合わせて67.1%に対して、女子は73.9%、「就職」は男子69.9%、女子76.8%、「将来の進路や生き方」では男子81.6%、女子88.2%、「性・異性・恋愛・結婚」では男子54.3%、女子60.6%、「自分の性格」では男子52.2%、女子62.9%、「自分の体調や健康」では、男子32.3%、女子42.7%、「人生の意義・目標」では男子60.1%、女子67.4%となっている。これに対して、「経済的なことや経済的自立」などは男子と女子で差が見られない（クロス集計表3-1-1~11表）。



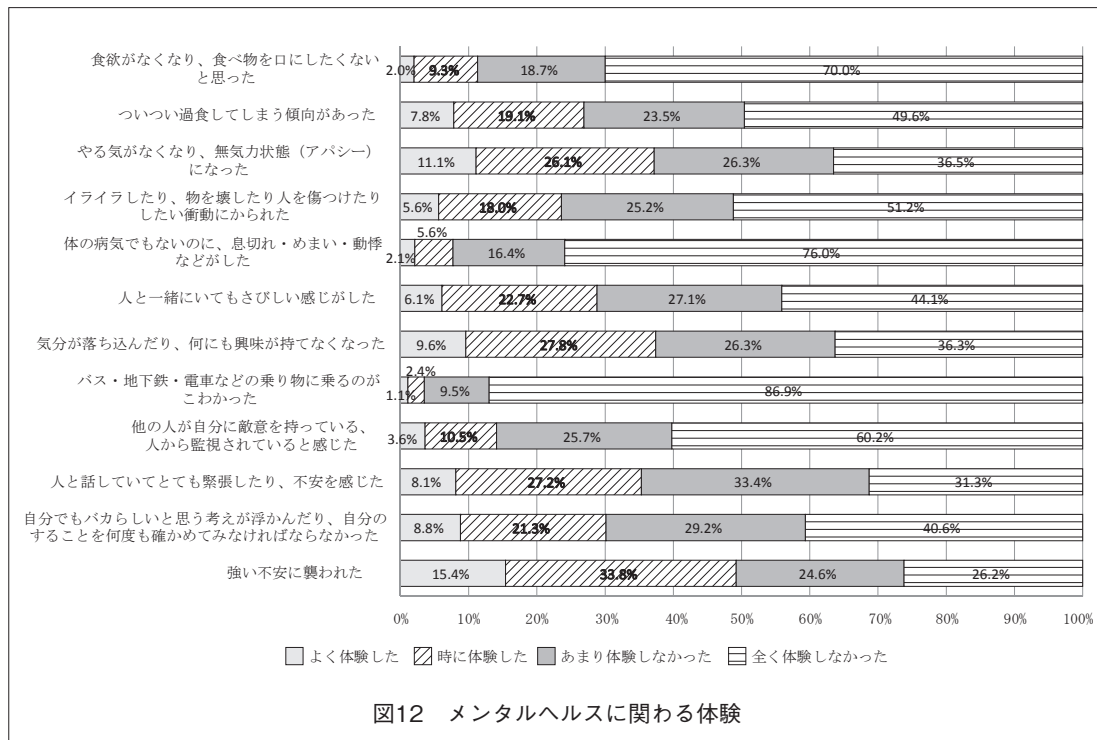
そうした不安や悩みの相談相手として最も多くの学生があげたのは、「父・母」で「よく相談する」と「ときどき相談する」をあわせると43.1%となっている。次いで、「大学内のサークルや団体の友人」（同38.8%）、「大学内の同じ学科や研究室の友人」（同35.3%）、「大学外の友人」（同34.6%）などとなっている。これに対して、学生が相談相手としてあげられることが少なかったのは、「なんでも相談コーナー・学生相談所等」（同2.5%）、「大学の教職員」（同2.7%）、「兄弟・姉妹」（同12.1%）となっている。これらは、前回あるいは前々回と順位は若干異なるが、ほぼ同じ傾向である。

なお、相談したり話し合ったりするのも男子より女子の割合の方が高い。たとえば、「父・母」に「よく相談する」と「ときどき相談する」を合わせると、男子は37.5%に対して、女子は63.1%となっている。「兄弟・姉妹」、「大学内

の同じ学科や研究室の友人」、「大学内のサークルや団体の友人」、「大学外の友人」、「先輩」、「恋人」のいずれも、男子より女子の方が相談したり話し合ったりする割合が高い。(クロス集計表3-2-1~9表)

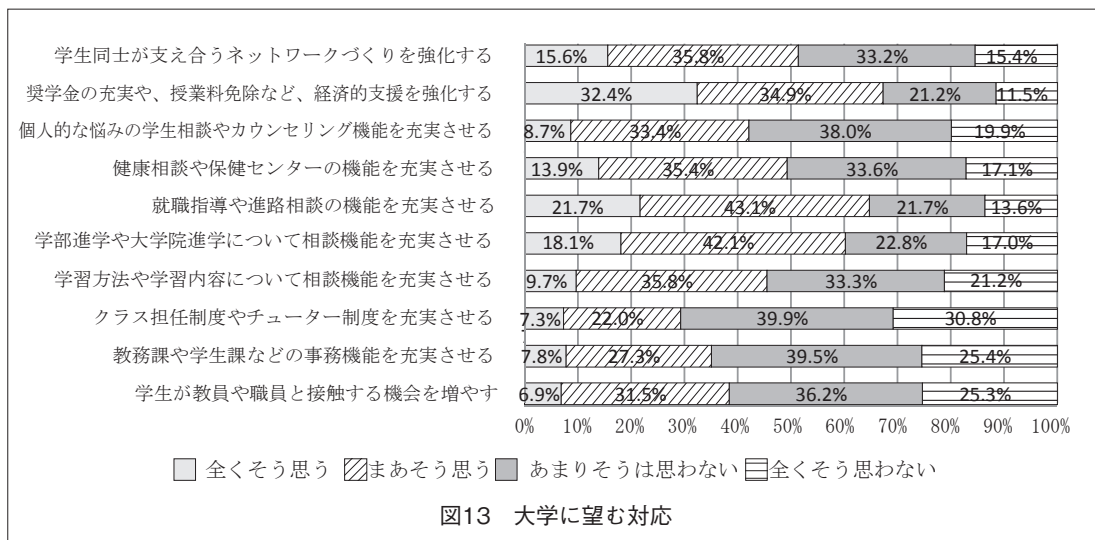
最近6ヶ月の間に、体験したり悩んだりしたことで、最も多いのは、「強い不安に襲われた」で「よく体験した」と「時に体験した」を合わせて49.2%、次いで「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」(同37.4%)、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった」(同37.2%)、「人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた」(35.3%)などとなっている。これに対して、体験したり悩んだりしたことで少ないのは「バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのがこわかった」(同3.5%)、「体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした」(7.7%)、「食欲がなくなり、食べ物を口にしたいかと思わなかった」(同11.3%)などとなっている(図12)。これらも前回とほとんど同じ傾向である。

こうした体験や悩んだりしたことについても、多くの項目で男子より女子の方が高い割合になっている。たとえば、「強い不安に襲われた」は、「よく体験した」と「時に体験した」を合わせて男子47.4%に対して、女子55.7%となっている。また、「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」は男子34.6%、女子47.1%、「人と一緒にいてもさびしい感じがした」は男子26.2%、女子38.3%、「やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった」は男子35.7%、女子42.8%、「つついっ過食してしまう傾向があった」は男子22.6%に対して、女子42.7%となっている。これに対して、男子の割合の方が高いのは、「他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた」項目のみで、男子15.0%、女子11.3%となっている。(クロス集計表3-3-1~12表)

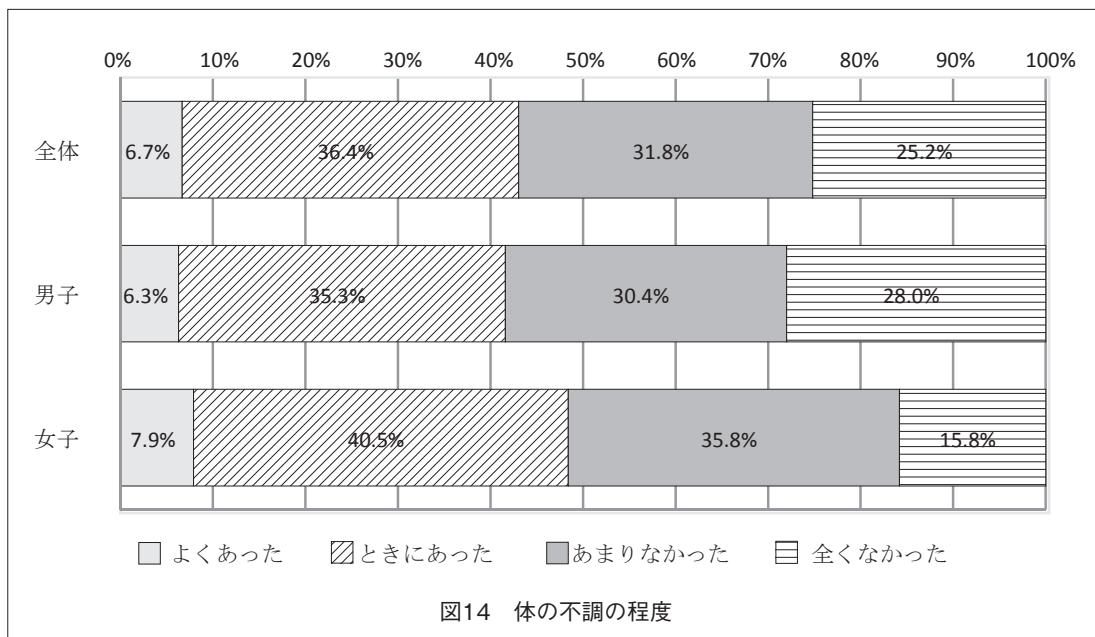


こうした悩みや不安を解消するための大学の対応として最も多くの学生が挙げたのは、「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する」(「全くそう思う」と「まあそう思う」を合わせて67.3%)で、3分の2以上の学生が挙げている。これに次いで、「就職指導や進路指導の機能を充実させる」(64.8%)、「学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる」(60.2%)といった相談・指導機能の強化が挙げられている。これに対して「クラス担任制度やチューター制度を充実させる」(29.3%)や「教務課や学生課などの事務機能を充実させる」(35.1%)はあまり支持されていない。これらも前回とほとんど同じ傾向である(図13)。

男女別では、多くの項目で男子より女子の方が対応を望む者の割合が高い。しかし、最も対応が望まれている「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する」については、男女による差はない（クロス集計表3-4-1~10表）。



また、「過去1年間に体調の不調があった」について、「よくあった」6.7%、「ときにあった」36.4%と合わせると43.1%の学生が何らかの体調の不調があったとしている。これを男女別に見ると、男子では「よくあった」6.3%、「ときにあった」35.3%で合わせて41.6%であるのに対して、女子では、同じく7.9%と40.5%で合わせて48.4%と、女子の方が体調の不調を訴える割合が高い（図14）。



体調の不調があった時の対処法としては、「地域のクリニックや病院を受診」が31.1%で最も多く、次いで「家族に相談」28.3%「保健センターの診療部の受診」17.1%の順になっている。（クロス集計表3-6表）

「大学が行っている保健サービス」で最も利用されているのは、「定期健康診断」の64.5%で、次いで「保健センターのホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス」11.9%、「保健センターの健康診断書や健康診断証明書の発行」11.5%などとなっている。また、「大学が行っている保健サービス」には39.0%が「満足」で、「不満」は9.4%となっている。（クロス集計表3-7~8表）

1-4. 大学への要望

前回1位だった「カリキュラムの改革」が後退し、第1位は、「施設設備の充実」となった。「図書館の充実」、「授業の方法の工夫・改善」、「就職対策の充実」、「奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額」、「カリキュラムの改革」、「海外留学の支援」が続く。

大学への要望で「とても期待する」と「期待する」を合わせて最も多いのは「施設設備の充実」で79.3%にのぼる。次いで、「図書館の充実」78.9%、「授業の方法の工夫・改善」75.8%、「就職対策の充実」67.3%、「奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額」67.1%、「カリキュラムの改革」67.0%などとなっている。これに対して、大学への要望が比較的少ないのは、「単位認定や学年試験を厳しく」12.3%、「学生自治の尊重」27.4%、「カウンセリング・相談体制の充実」30.4%などとなっている（図15）。

この質問は、前回調査までは、「3つまで選択」であったが、今回の調査では、それぞれの項目について、「とても期待する」、「期待する」、「どちらともいえない」、「期待しない」、「まったく期待しない」の5段階でたずねている。このため、厳密な比較は出来ないが、前回調査で最も多かったのは、「カリキュラムの改革」であった。

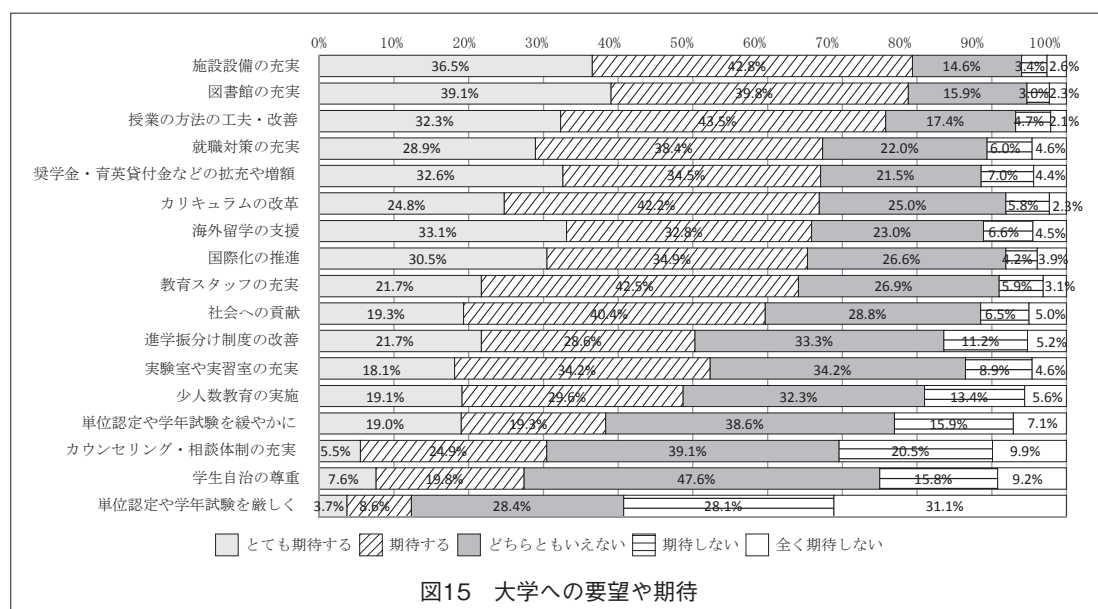


図15 大学への要望や期待

男女別には、女子の方が期待する割合が高い項目が多い。「とても期待する」と「期待する」を合わせて、「カウンセリング・相談体制の充実」は男子28.3%に対して、女子は38.4%、「社会への貢献」は男子57.1%、女子69.5%、「海外留学の支援」は男子63.2%、女子76.4%、「少人数教育の実施」は男子47.1%、女子55.0%、「就職対策の充実」は男子65.0%、女子76.1%、「国際化の推進」は男子63.2%、女子73.5%となっている。

また、文科系理科系別では、「実験室や実習室の充実」は、文科系33.8%に対して、理科系65.3%と大きな差がある。これに対して、「カウンセリング・相談体制の充実」では、文科系34.6%、理科系27.6%、「少人数教育の実施」は文科系58.6%、理科系41.8%と、いずれも文科系の期待が大きくなっている（クロス集計表4-1-1~17表）。

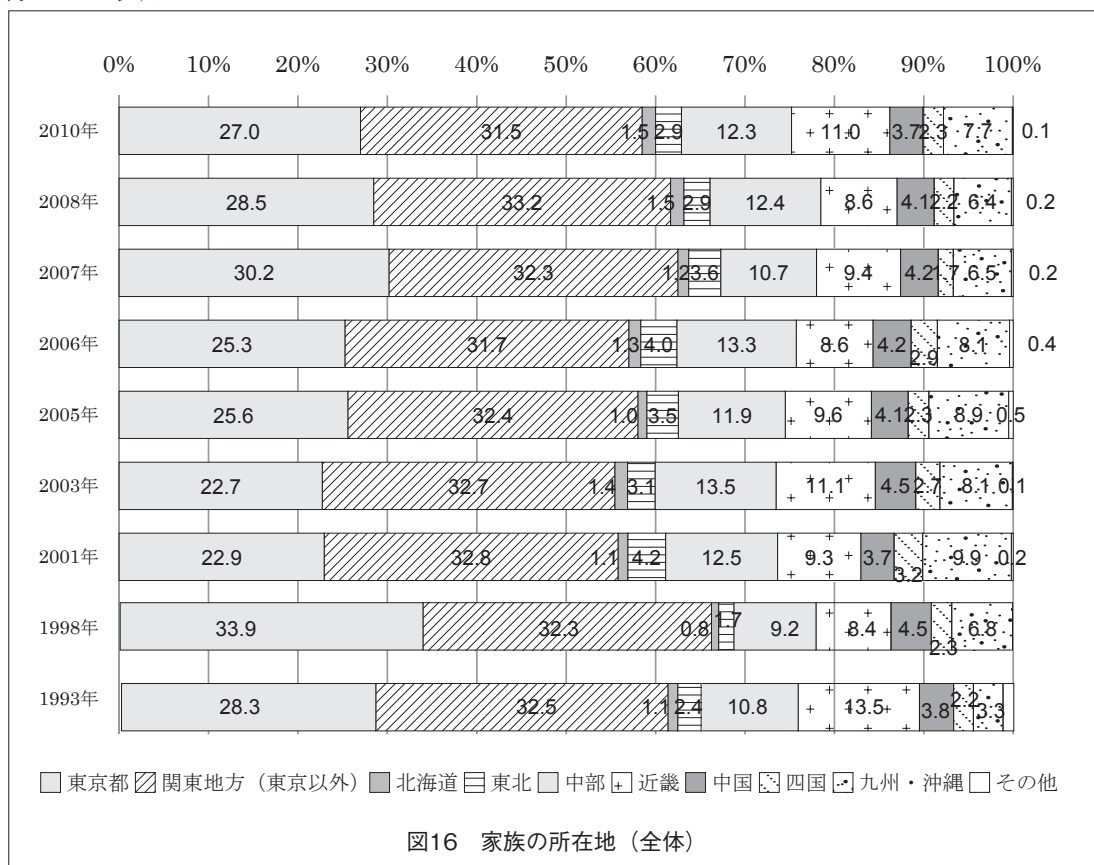
第2部 学生生活の背景

2-1. 家庭の状況

家庭の所在地は58.5%が関東
 家計支持者は「父」が66.7%、「母」が30.0%
 職業は「父」の「管理的職業」が42.3%、「母」の「非正規」が31.6%
 年収額は1,550万円以上が14.1%と2.5ポイント減り、450万円未満が16.6%

家庭の所在地は、「東京都」27.0%、東京都以外の「関東」が31.5%、合計すると58.5%である。詳しくみると、「東京都」や東京都以外の「関東」の比率はそれほど変化していない（図16-1）。男女別では、女子の「東京都」で多少の変化がある程度ではほぼ横ばいとなっている（図16-2、図16-3）。

前回調査より家計支持者を父と母に分けてたずねている。家計支持者は「父」が66.7%、「母」が30.0%である（クロス集計表5-5表）。



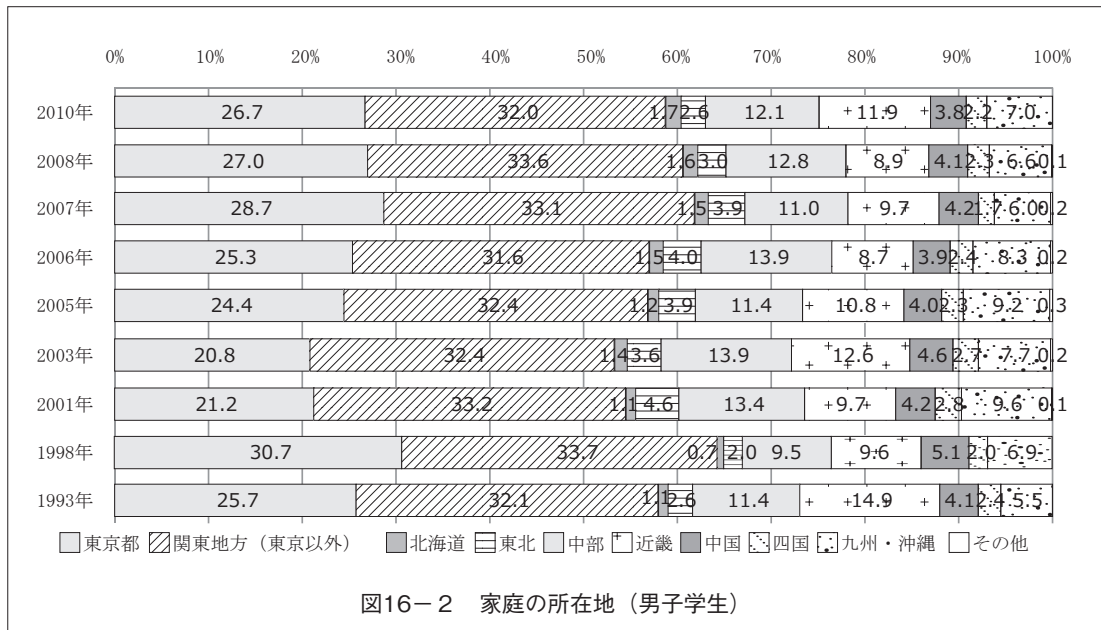


図16-2 家庭の所在地 (男子学生)

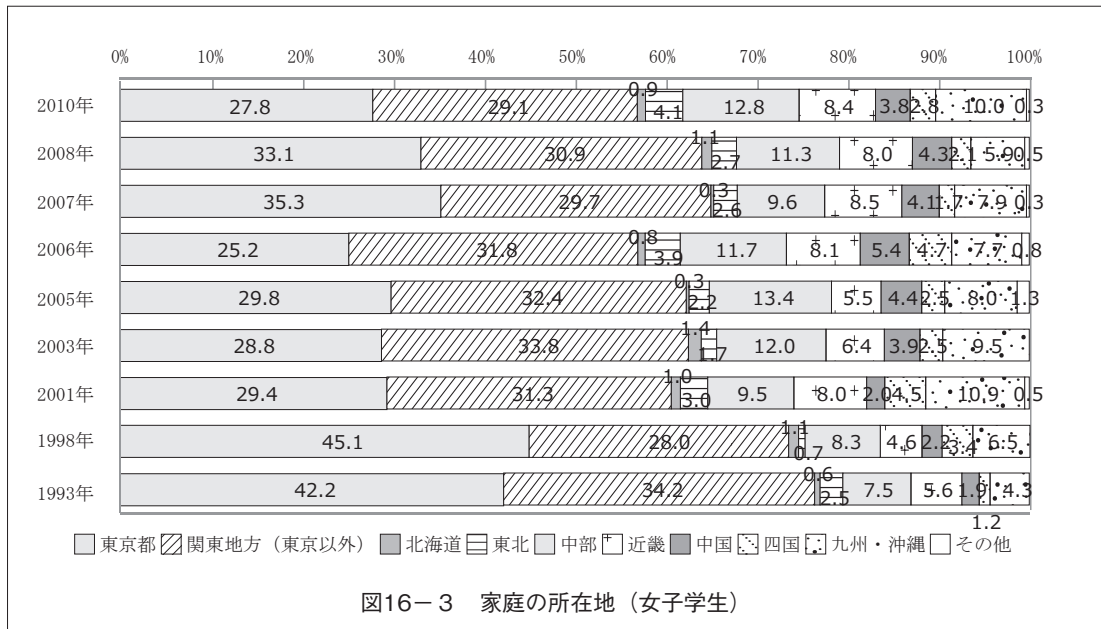
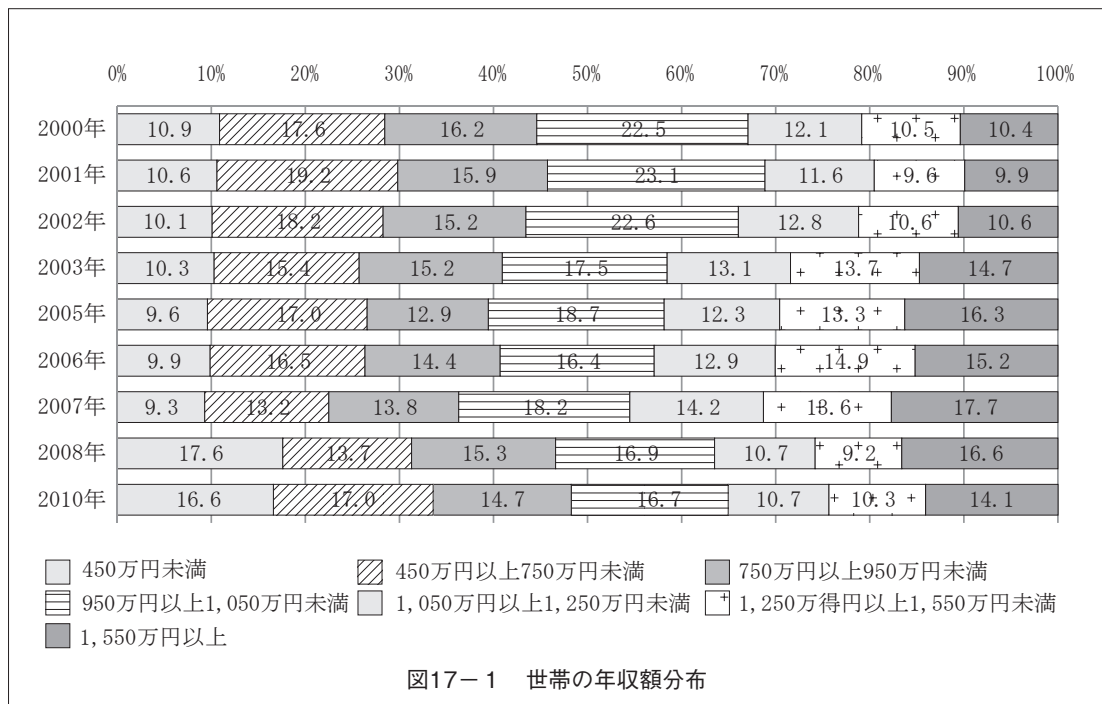


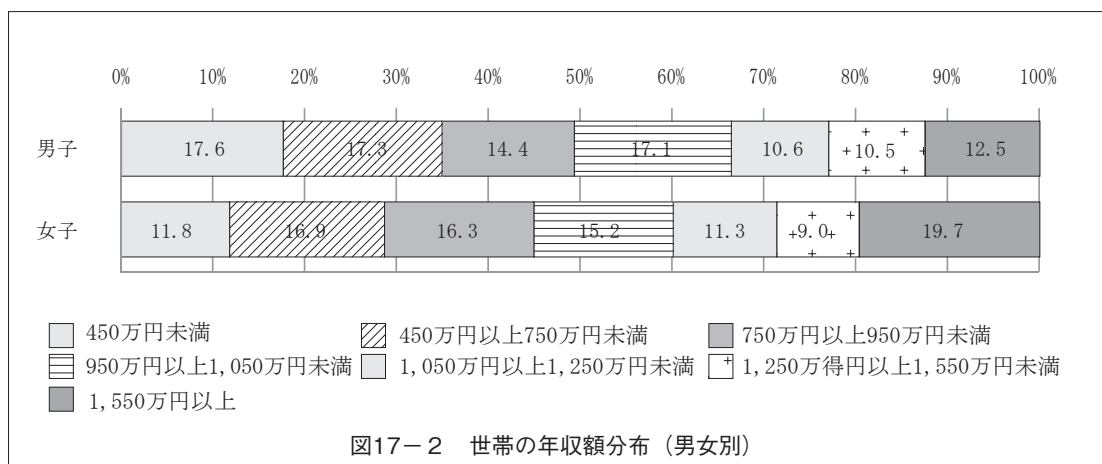
図16-3 家庭の所在地 (女子学生)

「父」の職業は、「管理的職業」42.3%、「専門的、技術的職業」24.2%、「教育的職業」13.1%で、「母」の職業は、「非正規」31.6%、「教育的職業」19.0%、「専門的、技術的職業」16.7%となっている（クロス集計表5-6～7表）。家計支持者の雇用形態は、「父」では、「民間企業に勤務」60.2%、「官公庁に勤務」23.1%、「経営者・役員又は人を雇用している」10.9%で、「母」では、「民間企業に勤務」60.0%、「官公庁に勤務」25.1%、「自分一人」9.5%などである（クロス集計表5-8～9表）。

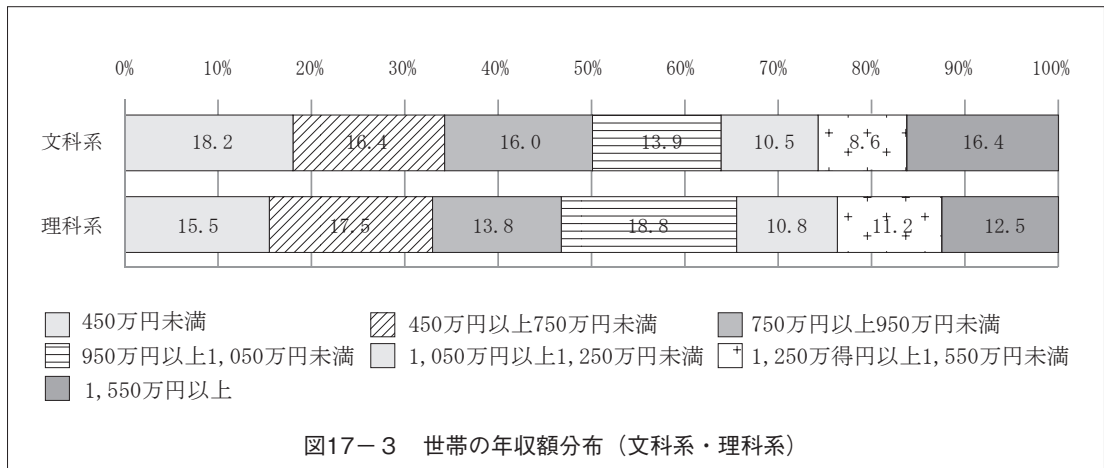
世帯の年収額の分布状況は、「450万円未満」が16.6%、「450万円以上750万円未満」が17.0%、「750万円以上950万円未満」が14.7%、「950万円以上1,050万円未満」が16.7%、「1,050万円以上1,250万円未満」が10.7%、「1,250万円以上1,550万円未満」が10.3%、「1,550万円以上」が14.1%となっている。前回調査との比較では、「450万円未満」が17.6%から1.0ポイント減少し、「450万円以上750万円未満」が13.7%から3.3ポイント増加し、「1,550万円以上」では16.6%から2.5ポイント減少している。（図17-1）



世帯の年収額分布状況の男女別では、「450万円未満」が男子で17.6%、女子で11.8%と5.8ポイントの差がある。一方で「1,550万円以上」は男子で12.5%、女子で19.7%とこちらは7.2ポイントのひらきがある（図17-2）。



さらに、世帯の年収額分布状況の文科系・理科系別では、文科系・理科系で比較的に差があるのは、「450万円未満」で「文科系」18.2%、「理科系」15.5%、「950万円以上1,050万円未満」で「文科系」13.9%、「理科系」18.8%、「1,550万円以上」で「文科系」16.4%、「理科系」12.5%となっている（図17-3）。



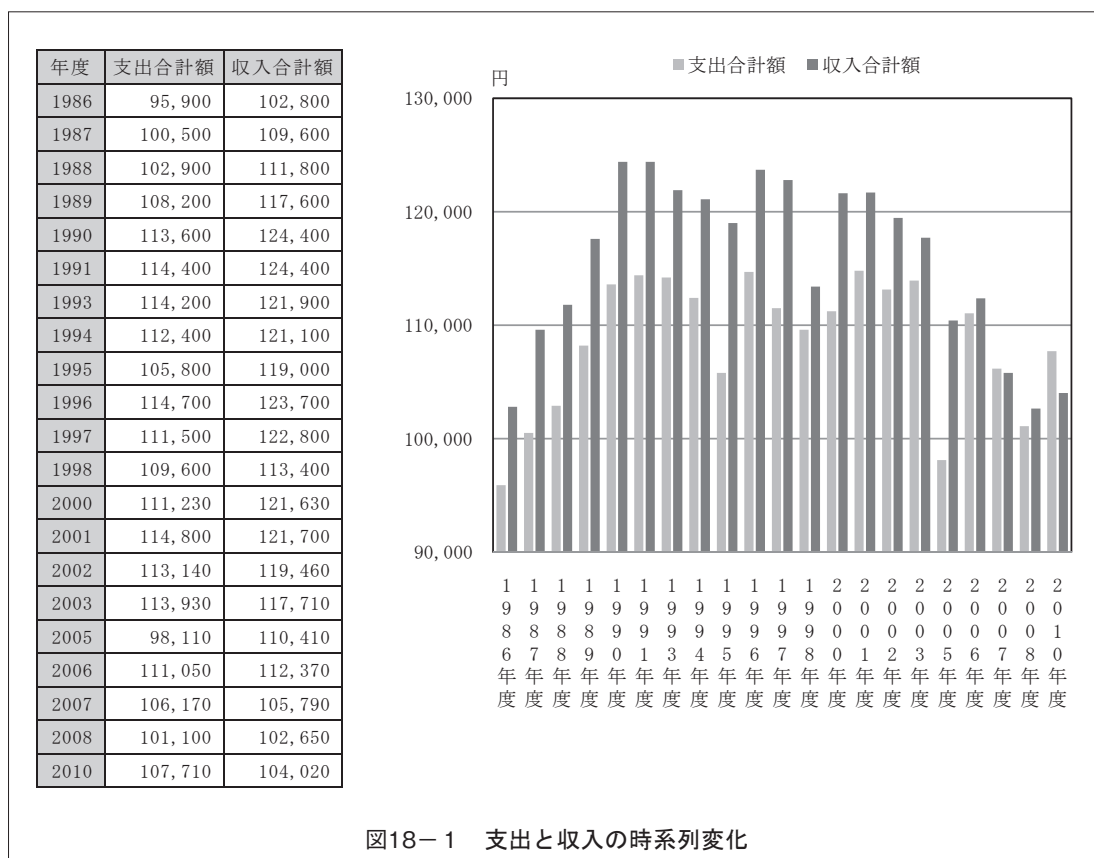
農正門

2-2. 生活費の状況

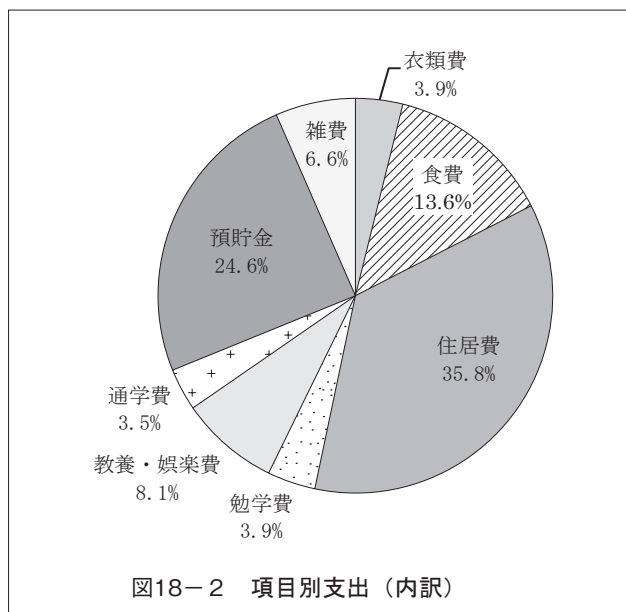
生活費の「支出合計額」は107,710円 「収入合計額」は104,020円
 今年度初めて調査した「預貯金」は43,090円、男子（45,710円）のほうが女子（34,520円）より多い
 収入は「家庭からの仕送り・小遣い」が6割、「アルバイト・雑収入」が3割
 授業料の捻出手段は「家庭からの仕送り」が8割で、「奨学金」「授業料免除」がそれぞれ1割弱

1ヶ月あたりの生活費をみると、「支出合計額」は107,710円、「収入合計額」は104,020円で、前回（2008年）の支出合計額101,100円、収入合計額102,650円と比較すると、わずかに上昇した（円の位で四捨五入している。以下同じ）。

1986年からの変化をみてみると、支出・収入とも約10～13万円の範囲内にある。大きな傾向として、1980年代後半の収入の増加と、2000年代後半の減少傾向がみられる（図18-1）。



項目別支出をみると、「住居費」(62,790円)が最も高く、項目別合計額の3分の1を占めている。次いで、今年度初めて調査を実施した「預貯金」(43,090円: 24.6%)が高くなっており、「食費」(23,830円: 13.6%)がこれに続く。「勉学費」(6,890円: 3.9%)や「教養・娯楽費」(8.1%)等の支出額は低い。(図18-2)



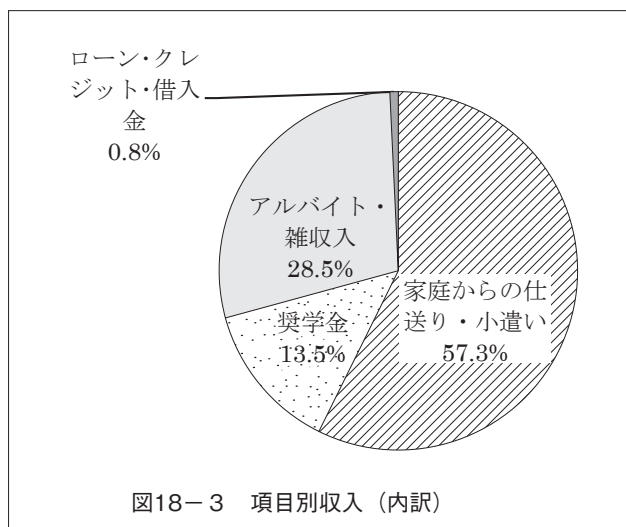
「食費」は自宅生では15,350円であるが、自宅外生では31,470円と倍以上になっている。さらに、「通学費」では、自宅生8,850円に対して、自宅外生は3,610円と自宅生の方が2倍以上高くなっている。このため、支出合計でも自宅生平均65,500円に対して、自宅外生は145,120円と倍以上の差がある。(クロス集計表6-2表)

男女別にみても、「支出合計額」(男子: 107,390円、女子: 109,130円)の差は小さいが、それぞれの項目別には差がみられる。男子は「食費」(同: 24,550円、同: 21,360円)や「預貯金」(同: 45,710円、同: 34,520円)が高く、女子は「衣料費」(同: 6,090円、同: 9,230円)や「住居費」(同: 62,280円、同: 65,010円)が高くなっている。また、学年が上がるほど支出額が増える傾向がみられる。(表1)

表1 項目別支出 (性・学年別) (円)

	全体	性別		学年別					
		男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年 (医学・薬学・獣医)	6年 (医学・獣医)
衣料費	6,790	6,090	9,230	6,230	7,260	6,300	6,890	13,000	9,530
食費	23,830	24,550	21,360	21,130	22,780	23,540	26,430	30,060	42,500
住居費	62,790	62,280	65,010	55,930	59,080	68,190	63,270	101,570	82,000
勉学費	6,890	7,000	6,510	5,360	6,770	7,320	7,430	16,530	10,690
教養・娯楽費	14,270	14,490	13,350	12,840	15,400	14,260	13,810	24,130	20,940
通学費	6,070	5,710	7,330	5,690	6,990	6,100	5,850	2,470	1,000
雑費	11,500	11,250	12,430	9,880	10,710	11,470	13,010	21,760	17,630
預貯金	43,090	45,710	34,520	41,310	46,250	38,160	41,670	125,810	55,270
支出合計額	107,710	107,390	109,130	88,830	105,640	110,200	118,090	180,120	176,120

収入を項目別にみても、「家庭からの仕送り・小遣い」(64,230円：57.3%)が最も高く、6割を占める。「アルバイト・雑収入」(31,910円：28.5%)が3割、「奨学金」(15,080円：13.5%)が1割で、今年から調査を開始した「ローン・クレジット・借入金」は860円(0.8%)しかない。(図18-3)



「奨学金」は全学生の平均では15,080円であるが、奨学生のみでは55,520円となっている。「アルバイト・雑収入」についても、同様にアルバイト従事者についてのみの平均は、38,480円となっている。「奨学金」については差が見られないが、「家庭からの仕送り・小遣い」では、アルバイト従事者の平均60,120円に対して、非従事者は81,650円と高くなっている。また、「ローン・クレジット・借入金」は、0円と回答した者を除くと、平均41,830円となっている。最高では210,000円ときわめて多額になっている。

「家庭からの仕送り・小遣い」は、自宅生の26,220円に対して、自宅外生は97,860円と3倍以上の差がある。また、「奨学金」についても自宅生の6,310円に対して、自宅外生は21,120円と高くなっている。しかし、「アルバイト」は自宅生の35,590円に対して、自宅外生は28,960円と自宅生の方がやや高くなっている。「収入合計」では、自宅生の62,210円に対して、自宅外生は141,830円となっている。(クロス集計表6-3)

最も金額の高い「家庭からの仕送り・小遣い」を属性別にみても、男子(64,880円)の方が女子(62,590円)よりやや高く、学年が上がるほど高い傾向がみられる。一方、金額の最も低い「ローン・クレジット・借入金」は、女子(1,420円)と、1年生(1,460円)で高くなっている。(表2)

表2 項目別収入(性・学年別)

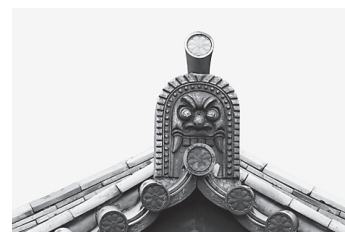
(円)

	全体	性別		学年別					
		男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年 (医学・薬学・獣医)	6年 (医学・獣医)
家庭からの仕送り・小遣い	64,230	64,880	62,590	53,340	60,700	62,340	71,510	169,500	125,380
奨学金	15,080	15,590	11,940	11,790	16,090	18,980	13,850	15,690	10,000
アルバイト・雑収入	31,910	30,990	35,020	20,230	37,360	35,510	34,410	20,590	38,440
ローン・クレジット・借入金	860	710	1,420	1,460	960	200	870	200	0
収入合計額	104,020	104,100	103,590	79,690	107,600	106,860	113,120	197,060	172,070

「授業料はどのように負担しているか」をたずねた結果は、81.0%が「家庭からの仕送り」と回答し、次いで「奨学金」(7.4%)となっている。「全額授業料免除」(5.2%)、「半額授業料免除」(1.7%)を合わせて1割近くが授業料免除を受けており、5年生(10.5%)、6年生(11.1%)の全額授業料免除率が高い。(表3)

表3 授業料の捻出

	全体	性別		学年別					
		男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年 (医学・薬学・獣医)	6年 (医学・獣医)
家庭からの仕送り	81.0%	80.2%	85.1%	85.4%	81.1%	77.9%	79.7%	84.2%	77.8%
奨学金	7.4%	7.6%	6.7%	4.7%	8.4%	9.4%	7.5%	0.0%	5.6%
アルバイト・雑収入	3.1%	3.0%	3.2%	0.8%	2.6%	4.7%	4.4%	10.5%	11.1%
全学授業料免除	5.2%	5.6%	2.6%	5.2%	5.1%	5.5%	4.4%	10.5%	11.1%
半額授業料免除	1.7%	1.9%	0.9%	1.4%	1.8%	0.8%	2.4%	5.3%	0.0%
その他	1.7%	1.7%	1.5%	2.5%	1.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%



七徳堂鬼瓦



七徳堂

2-3. 通学・住居

現住所は、東京都が73.0%、自宅が48.1%
片道の通学所要時間は、平均46.6分で、減少傾向
自宅生でも学寮・学生宿舎を作れば「入居する」が7.5%、「入居費による」が32.6%

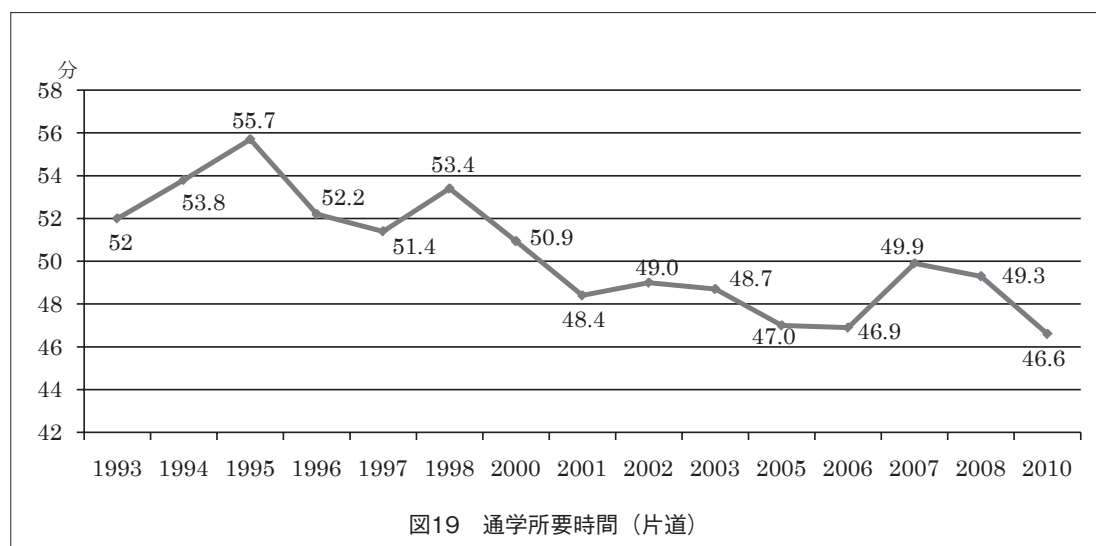
調査回答者のうち、現住所の分布は、東京都73.0%（23区内60.7%、23区外12.3%）、神奈川県12.5%、千葉県6.0%、埼玉県7.0%となっている（クロス集計表7-1表）。

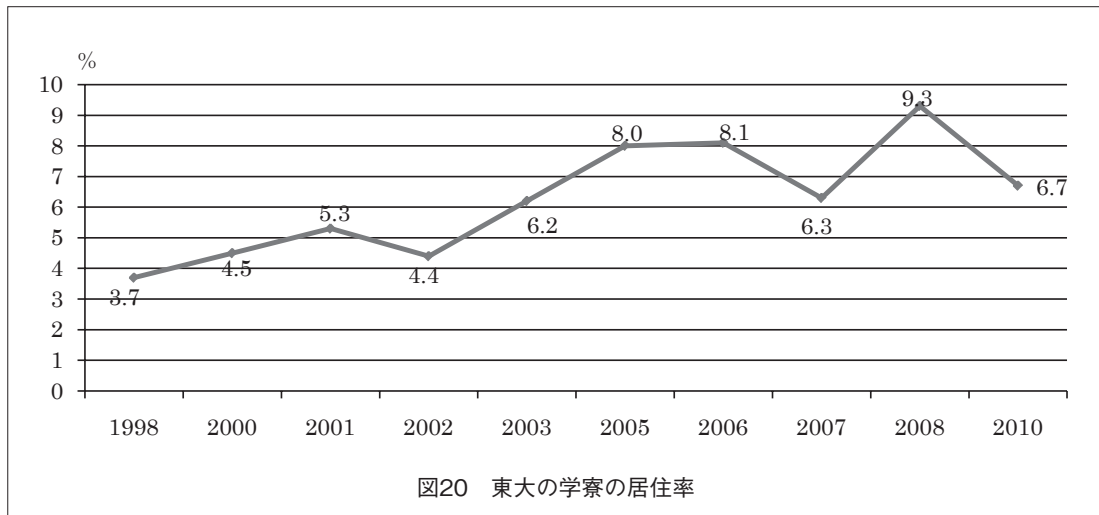
居住形態は、「自宅」が48.1%（男子47.8%、女子49.1%）、「自宅外」が51.9%（男子52.2%、女子50.9%）となっていて、男女差はほとんどない（クロス集計表7-2表）。

自宅外生の住居の区分は、例年同様に「賃貸マンション・アパート（バスつき）」の割合が70.8%と最も高く、ついで「その他の寮」が11.7%である。「賃貸マンション・アパート（バスつき）」は前回調査より1.9ポイント増加している。

「通学に利用している交通機関」では、「電車」71.7%、「自転車」20.7%、「徒歩」5.4%、「バス」1.1%と続いている（クロス集計表7-4表）。

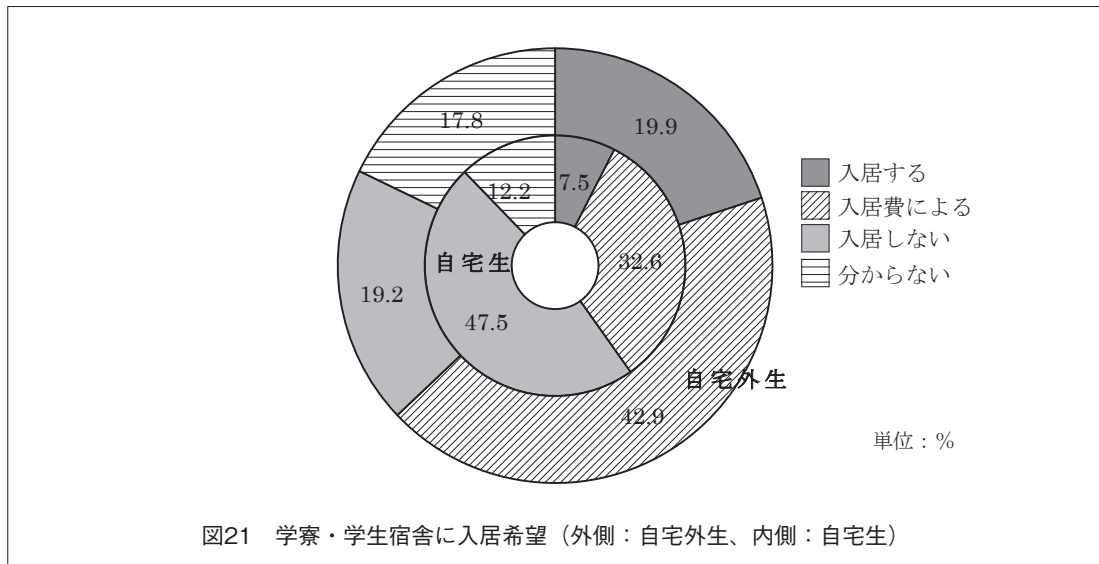
通学所要時間は、片道平均46.6分で、近年の動向をみると1995年に55.7分と最も長かったが、その後はおよそ減少傾向になっている（図19）。





東大の学寮居住者は、6.7%である。前回調査の2008年が最も高く9.3%である（図20）。

なお、東大の学寮の居住者割合について寮の収容数は、6.7%より低く、本調査では非寮生よりも寮生の回答率が高かった。寮の入居率は90%を超えているとのことであるが、建て替え等により、入居可能数は変化する。しかし、いずれにせよ学部学生の6.7%を受け入れるほど学寮の収容数は無いので、本調査結果には留意が必要である。



前回調査から設けられた、「学寮・学生宿舎などを作れば、あなたは入居しますか」との質問に対し、図21に示すように、自宅外生では「入居する」が19.9%いる一方で、「入居しない」が19.2%である。「入居費による」と答えている学生が、前回調査より3.9ポイント増加し42.9%と最も多い。逆に自宅生でも「入居する」が7.5%、「入居費による」と答えた学生もあわせると40.1%もの学生が適当な学寮・学生宿舎があれば入居したいと思っている。

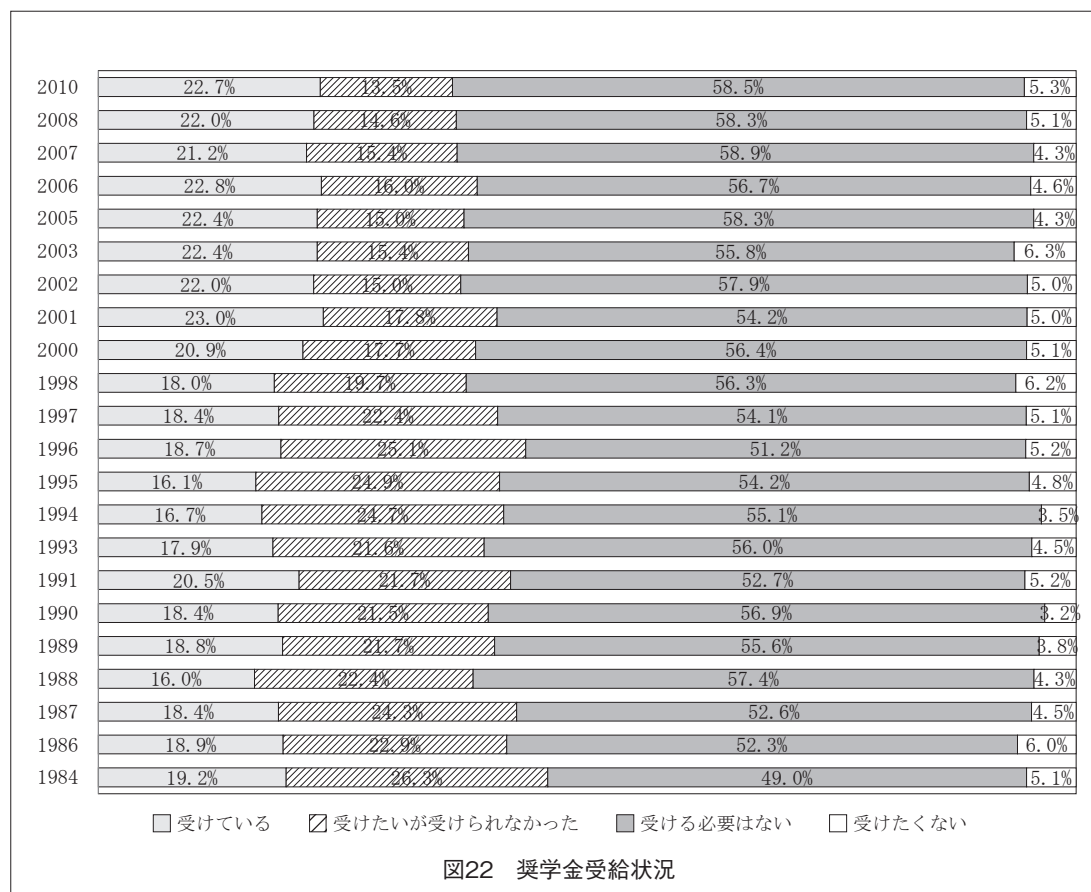
2-4. 奨学金

奨学金を希望している学生は36.2%、受けている学生は22.7%
 奨学金の78.8%は日本学生支援機構から貸与を受けている

奨学金を希望している学生は36.2%である。そのうち、「受けている」と答えた学生の割合(22.7%)は前回調査(22.0%)より増加の傾向が見られ、「受けたいが受けられなかった」と答えた学生の割合(13.5%)は前回調査(14.6%)より減少の傾向が見られた。すなわち、時系列に見れば、奨学金を受けている学生の数が増え続ける一方、受けられないケースが減少し、奨学金が受けやすくなっている(図22)。

また、奨学金を希望していない学生は63.8%〔「受ける必要はない」58.5%、「受けたくない」5.3%〕であり、前回調査より増加の傾向が見られた。男女別には、「受けている」と答えた男子の割合(23.4%)は女子(20.1%)より高く、「受けたいが受けられなかった」と答えた男子の割合(12.9%)は女子(15.7%)より低い。男子の方が女子より奨学金を多く受けている。また、奨学金を受けている割合を学年別に見れば、1年生(17.0%)が最も低く、3年生(28.8%)が一番高い。また、文科系(20.5%)より理科系(24.3%)の方が奨学金を受ける学生が多い。

奨学金の受給は、主に家計所得と学業成績により決定される。本調査では、学業成績についてたずねていないので学業成績についてはこれ以上分析できないが、家計所得に関しては、男女別あるいは文科系理科系別に有意な差は見られない。



「受けたいが受けられなかった」あるいは「受けたくない」と回答した理由は、「貸与なので申請しなかった」が最も多く（36.5%）、「資格がない」（27.4%）、「事務手続きが煩雑だから」（12.5%）が続いている。男女別に見ると、「出願したが採用されなかった」と答えた男子の割合（7.7%）が女子（13.8%）より低い。また、学年別には、「貸与なので申請しなかった」と答えた1年生（28.8%）が3割以下であるのに対して、2年生以上の学年の学生は4割近くになっている。

「これから受けたいと思いますか」という項目に対し、「受けたい」と答えた学生（46.2%）の方が「受けたくない」と答えた学生（53.8%）より少ないが、男子（41.8%）より女子（64.0%）、文科系（37.3%）より理科系（53.0%）の学生の方が奨学金を受けたい、という結果になっている。

利用している奨学金の内訳は、「日本学生支援機構第一種奨学金（無利息）」が46.7%であり、「同機構第二種奨学金（利息付）」が32.1%であった。一方、その他の「公益法人等地方公共団体の奨学金」を利用している学生は20.3%であった。利用学生の圧倒的多数が日本学生支援機構から貸与を受けていることは、これまでの傾向と変わらない。男女別に見ると、「日本学生支援機構第一種奨学金（無利息）」を受ける学生のうち、女子（52.1%）の方が男子（45.5%）より多く受ける一方、同機構第二種奨学金（利息付）を受ける学生のうち、女子（23.3%）の方が男子（34.5%）より少ない。「公益法人等・地方公共団体等の奨学金」を受ける学生のうち、理科系（21.3%）の方が文科系（18.4%）より多く、「大学独自の奨学金（学内奨学金）」を受ける学生のうち、文科系（2.1%）の方が理科系（0.4%）より多い。

奨学金がどんな面で役に立っているのかという点については、「家庭の経済的負担が軽減される」42.3%、「奨学金があるので生活が成り立っている」19.1%、「多少ともゆとりのある生活ができる」18.3%、「アルバイトが軽減される」11.4%、「定期的な収入になるので助かる」7.7%の順になっている。奨学金の主な用途は家計負担の軽減であることが分かる。男女別に、「アルバイトが軽減される」と答えた男子（11.8%）は女子（9.6%）より多く、男子にとって奨学金の受給がアルバイトの軽減により効果的であると言える。「奨学金があるので生活が成り立っている」と答えた女子の割合（20.0%）は男子（18.7%）よりやや多く、理科系（20.7%）の方が文科系（16.5%）よりやや多い。



法文2号館アーケード

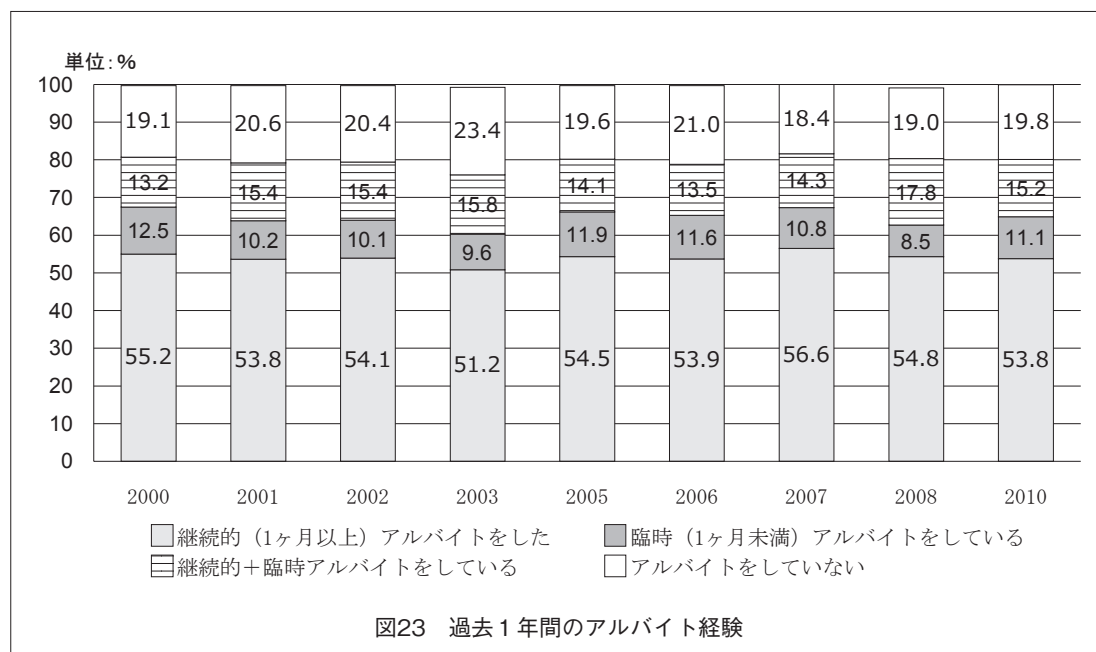
2-5. アルバイト

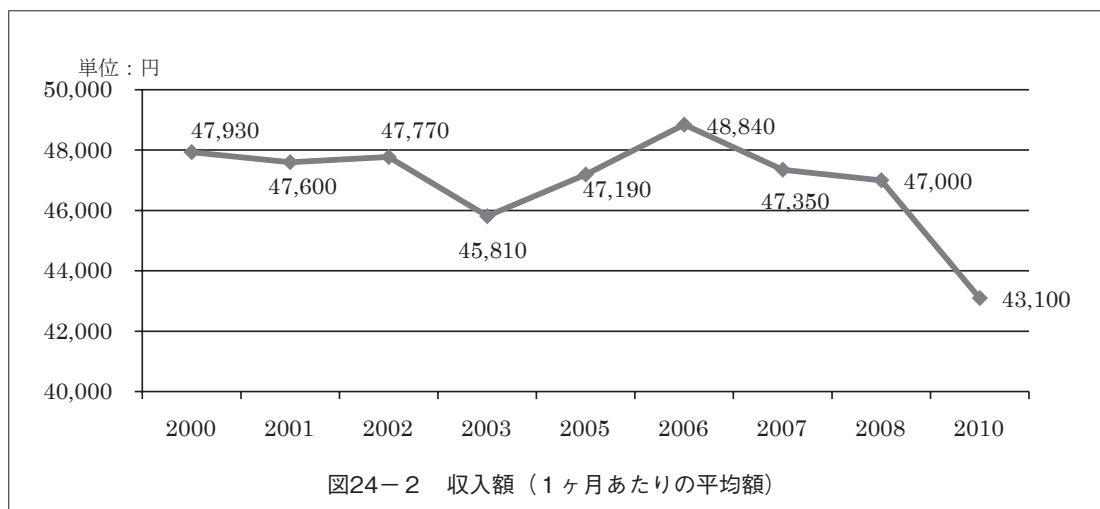
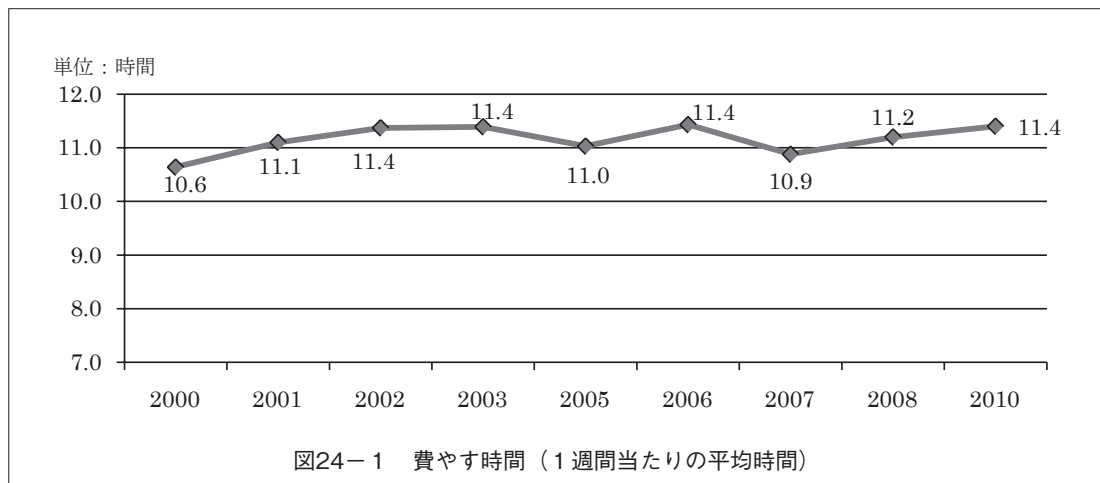
アルバイトをしている学生が80.1%、「塾講師」、「家庭教師」が多い
 アルバイト収入の使途としては、「生活費」が37.8%、「学生生活を楽しむため」が33.3%
 週に11.4時間、月額で43,100円

アルバイトをしていると回答した学生は、全体で80.1%（「継続的（1ヶ月以上）」53.8%、「臨時（1ヶ月未満）」11.1%、「継続的+臨時」15.2%）で、前回調査との比較では全体で1.0ポイントの減少、「継続的」で1.0ポイントの減少、「臨時」で2.6ポイントの増加、「継続的+臨時」で2.6ポイントの減少となっている（図23）。

アルバイトの種類は、全体で「塾講師」27.8%、「家庭教師」23.5%、「販売・セールス・サービス業」13.3%、「試験監督・採点」11.7%が上位で、男子の場合は「塾講師」29.7%、「家庭教師」22.4%、「販売・セールス・サービス業」11.5%、女子では「家庭教師」26.1%、「塾講師」22.2%、「販売・セールス・サービス業」18.6%、「試験監督・採点」11.5%と続いている（クロス集計表9-2表）。

アルバイトの従事時間数は1週間あたり11.4時間、1ヶ月あたりの収入額43,100円で、前回調査と比べると、時間で週あたり約0.2時間増えているものの、収入では月額3,900円の減少となっている。なお、近年の動向をみると、時間はほとんど横ばいであるが、収入は2006年の48,840円をピークに、減少傾向である（図24-1、図24-2）。





アルバイトをした理由では、「生活費を稼ぐため」を挙げている学生が37.8%と最も多く、「学生生活を楽しむため」33.0%、「社会経験のため」23.4%、「学費を稼ぐため」2.2%となっている。男女別では特に顕著な差がみられるのは、「生活費を稼ぐため」が男子39.1%、女子34.3%と、男子の割合が高く、「社会経験のため」が男子21.9%、女子27.0%と女子の割合が高くなっている（クロス集計表9-4）。

「継続的アルバイトが勉学の妨げになりませんか」という問いに、「かなり妨げになる(なった)」と回答した学生と「多少妨げになる(なった)」と回答した学生をあわせると、57.3%と、前回調査より0.2ポイント増加している。男女別では「かなり妨げになる(なった)」と回答した学生と「多少妨げになる(なった)」をあわせて、男子が56.6%、女子が59.4%と2.8ポイントの差がある（クロス集計表9-5）。

すべての学生に対してたずねた現在の暮らし向きについては、86.0%の学生が「普通」以上であると答えている（「かなり楽な方」27.5%、「やや楽な方」25.5%、「普通」33.0%）。その反面、13.0%の学生が苦しいと答えているが（「やや苦しい方」10.1%、「大変苦しい方」2.9%）、前回調査より4.2ポイント減少している（クロス集計表6-6）。

[特殊分析の試み]

東大生の不安・悩みについて

はじめに

本調査には1996年度から、得られた結果を踏まえてテーマを絞って考察する「特殊分析」が含まれている。ここでは、学部学生を対象とした2007年、2008年の調査に引き続いて、「不安・悩み」について、マークシートの結果と具体的記述に書かれたことを参考にして検討してみたい。

一般の人々の中には、東大生は知的で優秀なだけでなく、たいていは経済的にも恵まれているので、悩みや不安はあまりないだろうと考える向きもあるようだ。しかし、言うまでもなく、東大生と言えども多かれ少なかれ不安や悩みはあり、なかには深刻な苦悩に苛まれる学生もいる。この調査で得られたデータを単純に他大学の学生や同年齢の青年たちと比較することはできないが、おそらくここには東大生として特徴的なことも含まれているに違いない。

1. どのような領域で不安や悩みを感じるか

調査項目1-3の「不安・悩み」の集計結果の図（p13 図11）を見ると、「よく悩む」の第1位は「将来の進路や生き方」（46.3%）であり、第2位は「就職」（34.7%）である。この順位は「よく悩む」に「ときに悩む」を加えた数値（82.8%と71.5%）においても同じである。さらに、この1位と2位の順位は2007年と2008年の調査結果においても同様である（2007年：80.8%と67.2%、2008年：83.1%と68.8%）。つまり、東大の学部学生は、ここ数年、将来の進路ならびに就職において悩みが生じやすく、その数値は漸増しているように見える。特に就職について悩むものが増加しているが、このことは、東大生においても就職難の波が打ち寄せてきている（とりわけ研究者になる道が険しい）と感じている学生が増えていることの反映ではなかろうか。

「よく悩む」の第3位は、「勉学」（27.4%）である。この数値は2007年（24.6%）、2008年（25.6%）に引き続き漸増している。この点は、自由記述の中に「授業が大変である」「勉強が非常に難しく、ついていけない」「勉強に苦勞して、他の活動を行う余裕がない」といった表現が散見されることと関連するようと思われる。おそらく、東大の授業で学生に要求されるレベルは（学部や教員によって違いはあるものの）他大学と比して相当高い（あるいは高くなってきている）のではないだろうか。東大生の学習能力は優れているはずなので、勉学に困難を覚える学生に何らかの援助をするシステムをもっと整備するとか、教養学部の段階ではあまりに高度なことを要求しないといった配慮が求められるかもしれない。

ここで、進学振分けのシステムについて触れておくと、II-14の回答では「現行のままでよい」が39.9%、「特に考えていることはない」が24.0%で、おおむね受け入れられているような印象がある。しかし、自由記述欄には、このシステムの改革を望む声も寄せられていた。進学振分けには、「やりたい学問領域が大学入学後に選べる」「豊かな教養が身につけられる」といったメリットがあるが、一方で、「点数がとりやすい科目や教員に受講生が集まる」「点数至上主義が横行」「不公平」「結局、行きたい分野に進めない」といったデメリットもあると指摘する声が多く、学生の中には進学振分けによって希望の進学先に進めないため、深刻な苦悩を感じている人がいるのも事実である。「よく悩む」の第4位は学部進学や大学院進学（26.7%）であり、第5位は「人生の意義・目標」（24.8%）、第6位は「経済的なことや経済的自立」（22.3%）である。

経済的な問題では、「ときに悩む」学生を加えると63.9%（第4位）になり、大半の学生が多少なりとも悩んでいるようであるが、なかには深刻なケースもある。たとえば、自由記述をみると、「家庭の経済状態が悪化し、将来が不安」「親の収入がなくなり学費が心配」「学費を稼ぐためアルバイトをせざるを得ないが、そのために勉強時間がとれない」「学費が高すぎる」「親の収入があるので奨学金はもらえないが、親は経済的援助を渋るのでアルバイトしなければならぬ」といった記述があった。

これに関連して、Vの「大学への要望」の自由記述を見ると、「授業料を安くしてほしい」「金銭的負担が学業の妨げにならないようにしてほしい」「返還義務のない奨学金を充実してほしい」「寮を整備してほしい」など、経済的支援の充実を希望する声が多く聞かれる。なかには、「自転車通学の登録に1,000円かかるのはやめてほしい」「食堂のメニューが高すぎる」といった記載も散見された。これらの要望からすると、東大生の中には、経済的にかなり困窮している人がいることは間違いのないように思われる。

2. 不安や悩みを誰に相談するか

東大生が不安や悩みを感じたとき、「よく相談する」相手は、2007年、2008年、2010年とも、父・母が第1位で、その比率はそれぞれの年で、14.7%、15.3%、18.5%と漸増している。2010年の調査では、「よく相談する」「ときどき相談する」「たまに相談する」を合わせると、78.5%の学生が親を相談相手に選んでいることになる。これは、親との関係が良好な学生が多いためかもしれないが、見方によれば、親離れができていないことを示唆しているのかもしれない。

「よく相談する」第2位から4位は恋人や友人たちであるが、「その他」や自由記述を見ると、「恋人はいない」「友人ができない」と書いている学生が複数いた。なかには、友人や恋人がいないことが悩みになっている学生もいるようだ。兄弟や姉妹に相談する学生は比較的少ないが、これは兄弟姉妹の少なさや兄弟姉妹が（一人しか）いない、あるいは兄弟姉妹と同居していないといったケースが多いからかもしれない。

悩みが生じたときに、なんでも相談コーナーや学生相談所などを利用する学生は、「よく相談する」「ときどき相談する」「たまに相談する」と答えた人の合計でみると8.1%になる。この数字は、本学の相談施設がある程度利用されていることを示唆していると思われる。

しかしながら、設問28の8を見ると、悩みや不安の解消のために「個人的な悩みの学生相談やカウンセリングの機能充実」を大学に求めるかという問いに対して、「全くそう思う」または「そう思う」と答えた者は42.1%もあり、また、V「大学への要望」の設問33の6で「カウンセリング・相談体制の充実」を「とても期待する」または「期待する」と答えた者は30.4%に上っている。さらに、自由記述のなかで、「自分は相談して有意義だったので友人にも利用をすすめたが乗り気でなかった。もっと楽な気持ちで学生相談所を訪ねることが出来たら良いと心から思う」といった記述も見られた。これらのデータからすると、専門家によるカウンセリングや学生相談体制の充実を望む学生の潜在的ニーズは相当高いようにも思われる。だとすれば、広報活動などをより充実させて、学生がもっと気軽に学生相談所等の相談施設を利用できるような体制を整備することが望ましいだろう。

3. メンタルヘルスに関わる体験について

次に、メンタルヘルスに関わる体験の有無についてみてみよう。2007年、2008年、2010年のいずれの調査でも設問27であげられた項目の中で、「よく体験した」または「時に体験した」とされる第1位は、「強い不安に襲われた」で、その比率はそれぞれの年で、50.5%、52.6%、49.2%、第2位は「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」(40.3%、41.4%、37.4%)、第3位は「やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった」(38.6%、39.1%、37.2%)である。こういった状態は、程度がひどくなれば「不安障害」や「鬱病」などと診断されるケースを含むだろう。この数値からすると、東大生のなかには強い不安や憂鬱な気分を体験している人がかなりいるように思われる。

第4位以下は、対人緊張・対人不安（35.3%）、強迫観念・強迫行為（30.1%）、孤独感（28.8%）、過食（26.9%）、イライラ・攻撃衝動（23.6%）などである。これらについても、かなり多くの学生が体験しているように見える。

4. 体の不調と対処法

体の不調はときに不安や悩みを引き起こす。今回の調査で、体の不調を「よくあった」「ときにあった」と回答した学生は、合わせて43.1%に上る。ここに「あまりなかった」人を（「全くなかった」わけではないので）合計すると74.9%となる。彼らの中で、地域のクリニックや病院を受診した者が31.1%、家族に相談した者が28.3%、保健セ

ンターを受診した者が17.1%であった。また、その他の欄には、「寝た」「休んだ」「何もしなかった」という回答が多数見られた。これらの対処法はどれもある程度リーズナブルではないかと思われる。

保健センターの診療については、料金が安いことが利点であるが、開室時間をもっと長くしてほしい、システムをより周知してほしい、予防注射を受けやすくしてほしいなどの希望も寄せられていた。

5. 大学に望む対応

不安や悩みを解消するために、学生たちが大学に望む対応にはどのようなことがあるのだろうか。2010年の調査では要望項目について「全くそう思う」と「まあそう思う」の合計の第1位が「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する」(67.3%)、第2位が「就職指導や進路相談機能を充実させる」(64.8%)、第3位が「学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる」(60.2%)である。この3項目は、2007年、2008年の調査でも上位3位に入っている。

第4位以下では、「学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する」(51.4%)、「健康相談や保健センターの機能を充実させる」(49.3%)、「学習方法や学習内容について相談機能を充実させる」(45.5%)などが続く。

ちなみに、V「大学への要望」に関連する自由記述について触れておくと、「(教養学部の)成績開示を駒場で、かつ簡易な方法でできるようにしてほしい」「図書館の開室時間を延長してほしい」「海外留学支援をもっと充実してほしい」「女子トイレをきれいにしてほしい」「文科系の予算・施設を充実してほしい」「食堂を大きくしてほしい」などの声が聞かれた。

6. おわりに

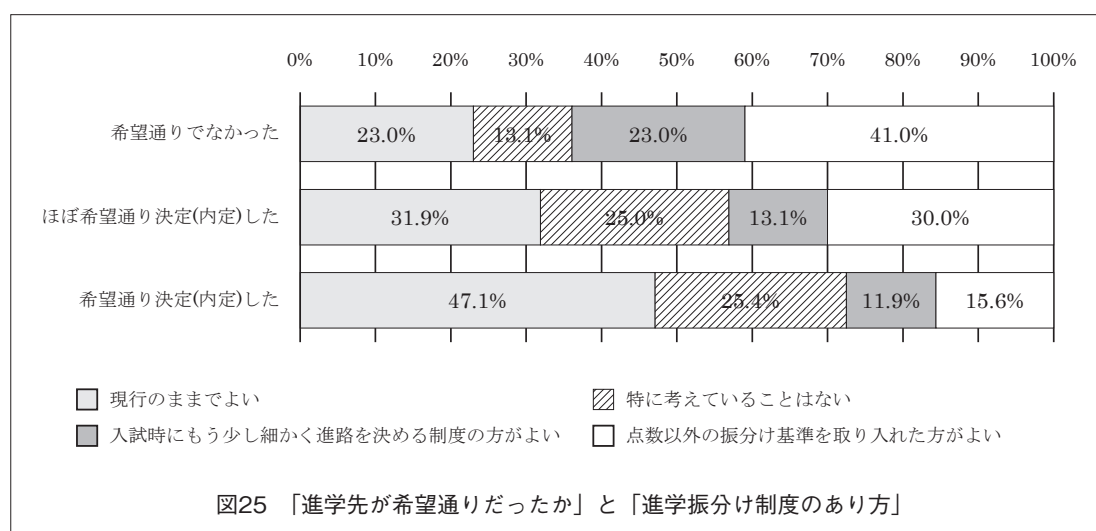
これらの回答からすると、最近の東大生では、進路や就職、学業の難しさ、経済的な問題などについて、不安や悩みが生じやすいように思われる。近年の状況からすれば、これらの問題で不安や悩みを抱くことは、むしろ正常で自然なことであろう。しかしながら、学生の中には、相当深刻な苦悩に苛まれている者もいる。もちろん、キャンパスライフにおいて、不安や悩み、不快や不満を全くなくすることはできないのだが、大学として、今後ともいっそう学生に利するサービスを充実させていく必要があるのは確かであろう。

〔総合分析の試み〕

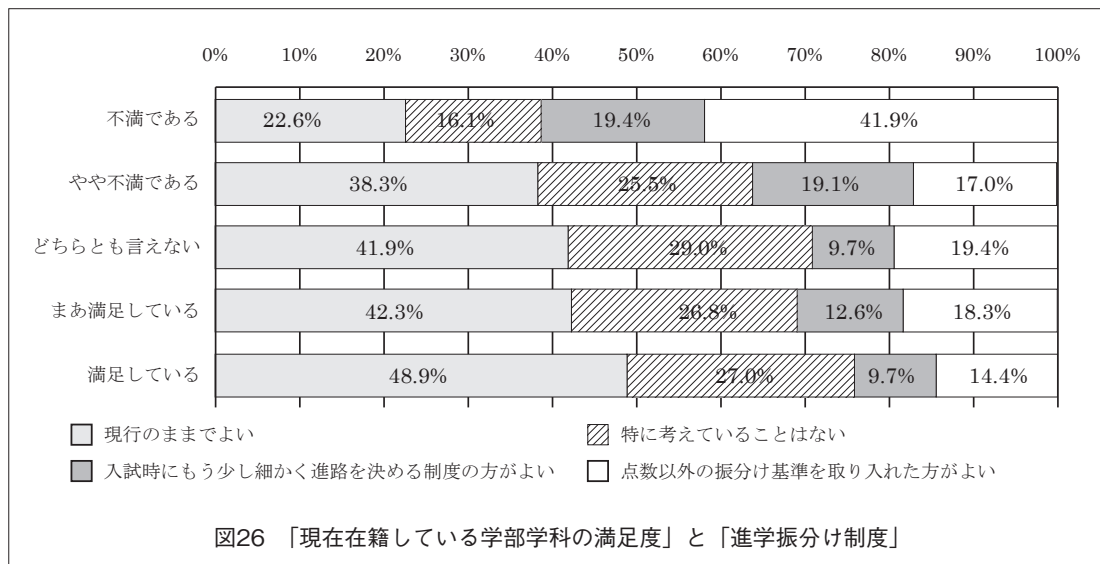
ここでは、第60回（2010年）「学生生活実態調査」から、特定のトピックを選び、その総合的な分析を試みる。これまでの分析は、男女別、学部別など質問項目の属性分析を中心としていたのに対し、ここでは、質問項目間の関連を分析の対象とした分析により、特定のトピックについて、その要因を追究する。今回は、「進学振り分け制度」について、こうした観点から分析を試みる。

「進学振り分け制度」は、東京大学の教育の大きな特徴であり、他の大学に見られない制度である。このため、進学振り分け制度が学生の教育とどのように関連しているか、さらに学生はどのような進学振り分け制度のあり方を支持しているか、あるいは、進学振り分け制度の改善はどの程度の要望や期待があるか、そしてそれらはどのような要因と結びついているか、いずれも非常に重要な論点である。こうした一連の問題に対して、「学生生活実態調査」では、「進学振り分け制度についてどのように考えていますか」という質問と、「大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか」という質問で「進学振り分け制度の改善」という質問を行っている。

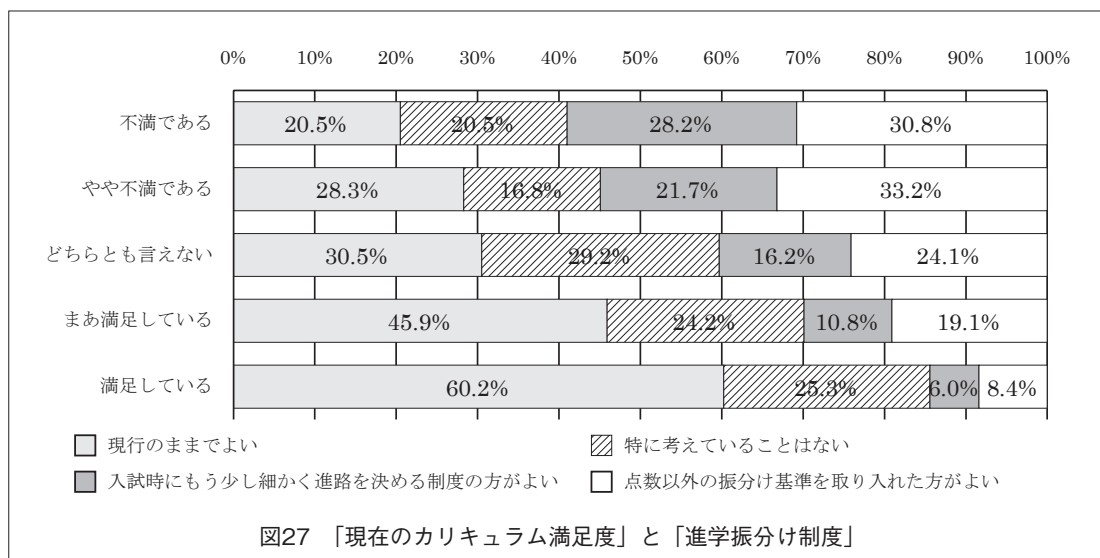
まず「進学振り分け制度についてどのように考えていますか」では、「現行のままでよい」が39.9%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」が21.8%、「入学時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」が14.3%、「特に考えていることはない」が24.0%となっている。



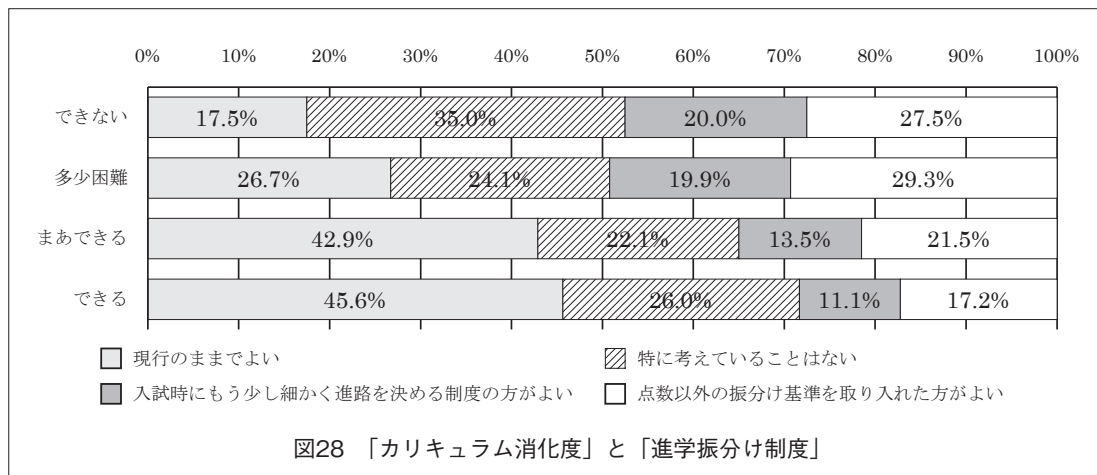
これと「進学先が希望通りだったか」との関連を見ると、図25のように、「希望通り決定(内定)した」と答えた者では、「現行のままでよい」と答えた者の割合は47.1%であるが、「希望通りではなかった」と答えた者では23.0%と現行方式を支持する割合が低くなっており、代わって「入学時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と答えた者の割合が23.0%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」と答えた者の割合が41.0%と、現行方式以外の方式への支持がかなり高い割合となっている。



「現在在籍している学部学科の満足度」と「進学振り分け制度についてどう考えますか」との関連を見ると、図26のように、「満足している」と答えた者では、「現行のままでよい」と答えた者の割合は48.9%であるが、満足度が下がるに従い、現行方式の支持は下がり、「不満である」と答えた者では22.6%と現行方式を支持する割合が低くなっている。代わって前問と同様に「入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と答える者が19.4%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」が41.9%と、いずれもかなり高い割合となっている。

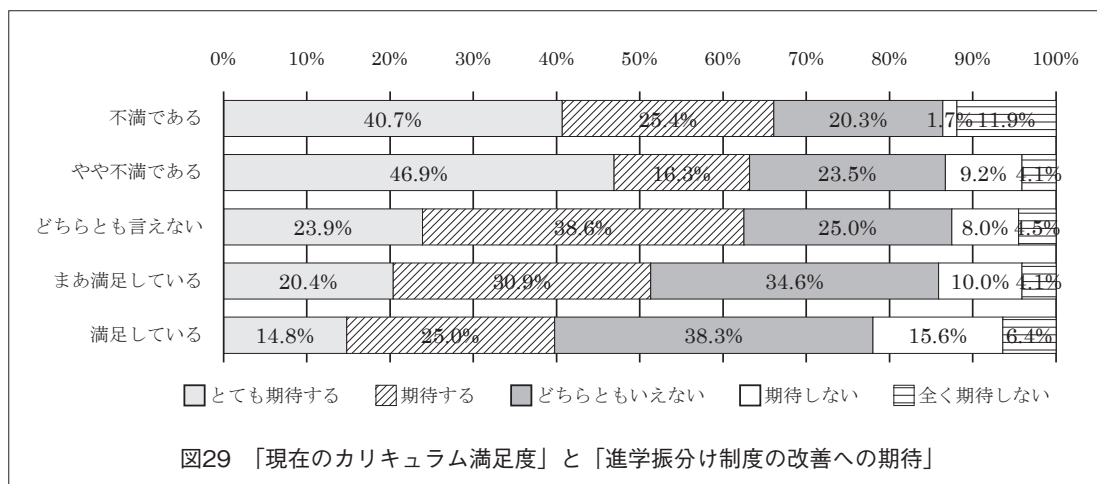


同じように、「現在カリキュラムの満足度」と「進学振り分け制度についてどう考えますか」との関連を見ると、図27のように、「満足している」と答えた者では、「現行のままでよい」と答えた者が60.2%と過半数を超えているが、満足度が下がるに従い、現行方式の支持は下がり、「不満である」と答えた者では20.5%と現行方式を支持する割合が低くなっており、代わって「入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と答えた者の割合が28.2%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」と答えた者の割合が30.8%と、現行方式以外の方式を支持する者が過半数をこえている。



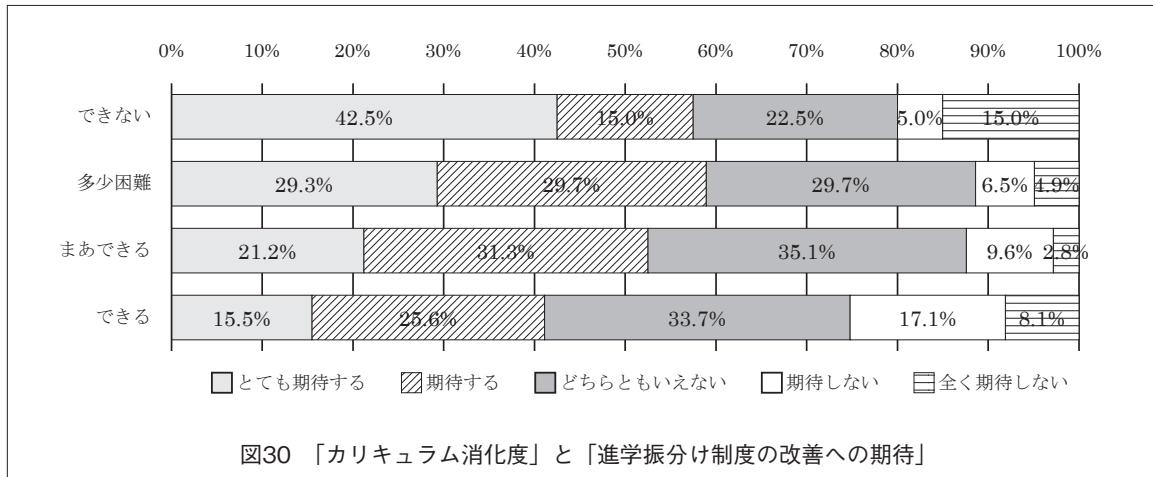
さらに、「現在カリキュラムの消化度」と「進学振り分け制度についてどう考えますか」との間にも強い関連が見られる。図28のように、カリキュラムを消化「できる」と答えた者では、「現行のままでよい」と答えた者の割合は45.6%であるが、消化度が下がるに従い、現行方式の支持は下がり、「できない」と答えた者では17.5%と現行方式を支持する割合が約6分の1と低くなっている。代わって、これまでの設問と同様に「入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」と答える者の割合は消化度が低くなるほど高くなり、「できない」と答えた者では、「入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と答えた者の割合は20.0%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」と答えた者の割合は27.5%と、いずれもかなり高い割合となっている。ただし、いずれの方式についても、カリキュラムの消化が「多少困難」と答えた者の方が、わずかに高い割合を示している。

これまで、進学振り分け制度の方式と、決定した進学先が希望通りか、在籍する学部学科の満足度、カリキュラム満足度、カリキュラム消化度の間に強い関連があることをみてきた。さらに、これらの項目の間には強い相関関係がある。このため、カリキュラムが消化できないため、カリキュラムに対する満足度が低く、さらに学部学科の満足度や決定した進学先の満足度が低くなり、ひいては、進学振り分け制度に対して、現行方式ではない方式を支持するという関係があると考えられる。

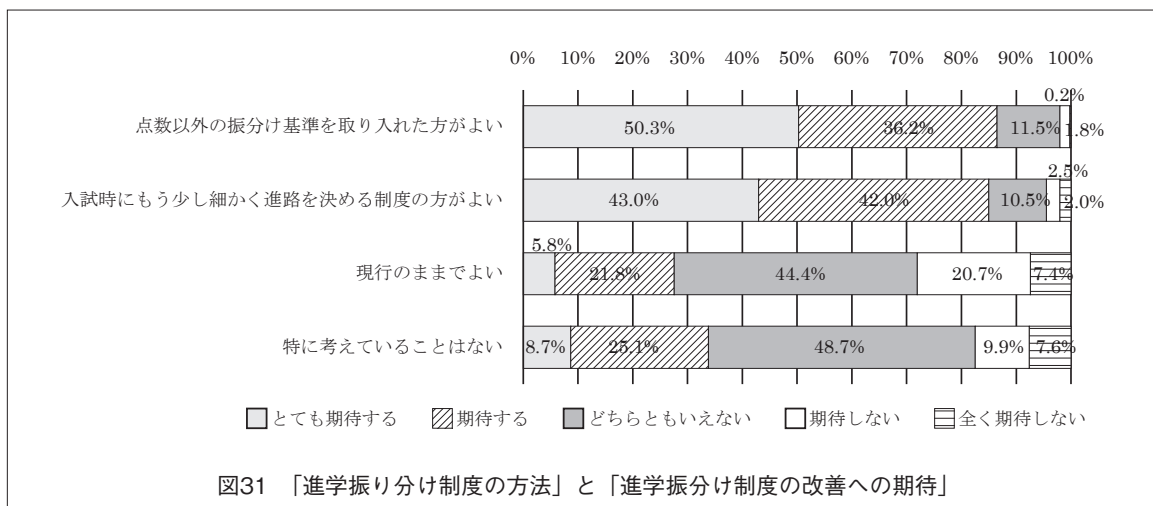


また、進学振分け制度の改善についても、図29のように、現在のカリキュラムの満足度と強い相関がみられ、「満足している」と答えた者では、「とても期待する」と答えた者の割合は14.8%にすぎないが、「不満である」と答えた者では、「とても期待する」と答えた者の割合は40.7%となっている。このように、満足度が低い者ほど、進学振分け制度の改善に期待している。学部学科は希望通りか、あるいは所属する学部学科の満足度についても同じような相関がみられる。

先の問いと同じく、こうした改善への期待の大きな要因は、カリキュラム消化度にあると考えられる。図30のように、カリキュラムの消化度と進学振分け制度の改善への期待度には強い相関がみられ、カリキュラムが消化できない者ほど、進学振分け制度の改善に期待を寄せている。「できる」と答えた者では、「とても期待する」と答えた者の割合は15.5%であるが、消化度が下がるに従い、期待度は上がり、「できない」と答えた者では42.5%と期待する割合が高くなっている。



さらに、進学振分け制度の方式への支持と改善への期待の間にも強い関連が見られる。図31のように、「特に考えていることはない」者や「現行のままでよい」とする者の割合は、「とても期待する」と「期待する」を合わせても33.8%にすぎないが、「入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」と答えた者では、合わせて85.0%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」では、合わせて86.5%と大多数が進学振分け制度の改善に期待している。



このように、希望通りの進学先であったか、在籍している学部学科に満足しているか、現在のカリキュラムに満足しているかは相互に強く関連しており、その要因のひとつはカリキュラムの消化度にあると考えられる。そして、これらの要因が相互に関連して、進学振分け制度のあり方や改善への期待に強く影響を与えていると見られる。

学生の評価や満足度は相互に強く関連していることがこの進学振分け制度の例で示された。他の項目でも同じような強い関連が見られる。こうした点をさらに解明していくことが、学生生活実態調査を有効に活用し、東京大学の教育の改善にむすびつけるために必要であろう。



駒場Iキャンパス・21 Komaba Center for Educational Excellence (理想の教育棟)

資料1

第60回(2010年) 学生生活実態調査票・単純集計表

I. 基本事項について伺います。

1.性別	男	1122人	77.8%	女	320人	22.2%
2.科類・学部 【1・2年生の方】	文Ⅰ	87人	6.0%	文Ⅱ	78人	5.4%
	文Ⅲ	110	7.6	理Ⅰ	277	19.1
【3年生以上の方】	理Ⅱ	131	9.0	理Ⅲ	27	1.9
	法学部	115人	7.9%	経済学部	80人	5.5%
	文学部	77	5.3	教育学部	26	1.8
	教養(文科系)	27	1.9	教養(理科系)	8	0.6
	理学部	61	4.2	工学部	193	13.3
	農学部	77	5.3	薬学部	24	1.7
	医学部	56	3.9			
				合計	1454	100.0
3.あなたの出身校は、どれに該当しますか。	国立(大学附属)	138人	9.5%	公立中等教育学校	211人	14.5%
	その他の公立	327	22.5	中高一貫型の私立	721	49.5
	その他の私立	33	2.3	高等学校卒業程度 認定試験	7	0.5
	外国学校	14	1.0			
	その他	5	0.3			
				合計	1456	100.1
4.現役・浪人等	現役	986人	67.9%	1浪	411人	28.3%
	2浪以上	38	2.6	学士入学	0	0.0
	その他	17	1.2			
				合計	1452	100.0
5.現在の学年	1年	349人	24.0%	2年	360人	24.8%
	3年	326	22.4	4年	383	26.4
	5年(医学・獣医・薬学)	18	1.2	6年(医学・獣医)	17	1.2
				合計	1453	100.0
6.入学年度(注)	1987年	1人	0.1%	1988年	1人	0.1%
	1989年	3	0.2	1990年	2	0.1
	1992年	1	0.1	2002年	2	0.1
	2004年	5	0.3	2005年	38	2.6
	2006年	93	6.4	2007年	302	20.8
	2008年	313	21.5	2009年	340	23.4
	2010年	350	24.1	2011年	1	0.1
				合計	1452	100.0
7.進学年度 (後期課程の方のみ)	2005年	2人	0.3%	2006年	1人	0.1%
	2007年	33	4.6	2008年	80	11.1
	2009年	297	41.4	2010年	299	41.6
	2011年	6	0.8			
				合計	718	100.0

(注) 1992年以前入学は、学生の記入間違いの可能性が高い。

Ⅱ. 入学・進学・学業について

8.東大を受験する際に東大に入学することをどの程度希望していましたか。	浪人しても東大に入りたいと思っていた	841人	58.2%	
	東大がダメなら他大学でもよいと思っていた	584	40.4	
	他大学がダメなら東大でもよいと思っていた	19	1.3	
	合 計	1444	99.9	
9.東大入学の動機は、どれにあたりますか。 (主なものを3つまで選んでください。)	社会的評価が高いから	759人	19.4%	
	スタッフ・設備が優れているから	379	9.7	
	将来の就職を考えて	406	10.4	
	難関を突破したかったから	399	10.2	
	私大に比べて授業料が安いから	541	13.8	
	東大の伝統や雰囲気に憧れて	318	8.1	
	入学後に学部を選択が可能だから	633	16.2	
	親・兄弟・姉妹の勧めで	81	2.1	
	高校の先生や友人などの勧めで	267	6.8	
その他	128	3.3		
合 計	3911	100.0		
10.入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか。	学科等まで決めていた	349人	24.2%	
	学部のみ決めていた	470	32.5	
	学部・学科等は決めていなかった	625	43.3	
	合 計	1444	100.0	
11.進学の内定者及び後期課程在學生に伺います。 11.進学の決定(内定)は、希望通りでしたか。	希望通り決定(内定)した	862人	79.5%	
	ほぼ希望通り決定(内定)した	161	14.9	
	希望通りでなかった	61	5.6	
	合 計	1084	100.0	
12.あなたは、在学中に留学したことがありますか。 それはいつですか。 短期留学した時期	留学したことはない	1367人	94.0%	
	短期留学(1年未満)をした	58	4.0	
	長期留学(1年以上)をした	15	1.0	
	東大入学以前	26人	40.6%	
	1年	6	9.4	
	2年	14	21.9	
	3年	11	17.2	
	4年	5	7.8	
	5年	2	3.1	
	6年	0	0.0	
	合 計	64	100.0	
	長期留学した時期	東大入学以前	11人	73.3%
	1年	1	6.7	
	2年	0	0.0	
	3年	2	13.0	
4年	1	6.7		
5年	0	0.0		
6年	0	0.0		
合 計	15	100.0		
13.現在在籍している学部・学科等(科類)に満足していますか。	満足している	491人	34.1%	
	まあ満足している	614	42.6	
	どちらとも言えない	176	12.2	
	やや不満である	99	6.9	
	不満である	61	4.2	
	合 計	1441	100.0	
14.進学振分け制度についてどのように考えていますか。	特に考えていることはない	345人	24.0%	
	現行のままでよい	575	39.9	
	入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい	206	14.3	
	点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい	314	21.8	
	合 計	1440	100.0	
15.現在のカリキュラムに満足していますか。	満足している	167人	11.6%	
	まあ満足している	650	45.1	
	どちらとも言えない	319	22.1	
	やや不満である	227	15.7	
	不満である	79	5.5	
	合 計	1442	100.0	

16.現在のカリキュラムは消化できますか。	できる	460人	31.9%			
	まあできる	676	46.9			
	多少困難	266	18.4			
	できない	40	2.8			
	合計	1442	100.0			
17.教養学部前期課程の授業に満足していますか。	満足している	147人	10.2%			
	まあ満足している	549	38.0			
	どちらとも言えない	342	23.7			
	やや不満である	286	19.8			
	不満である	121	8.4			
合計	1445	100.0				
18.あなたは、平日の夜、遅くまでキャンパス内にいることがありますか。次の中から、最もあてはまるものを選んでください。	夜9時過ぎまでキャンパスにいないことではない。	550人	38.0%			
	夜9時くらいまでならキャンパスにいないことはある。	358	24.7			
	夜10時くらいまでならキャンパスにいないことはある。	282	19.5			
	夜11時くらいまでならキャンパスにいないことはある。	102	7.0			
	深夜12時過ぎまでキャンパスにいないことがある。	157	10.8			
合計	1449	100.0				
19.この半年で夜9時過ぎまでキャンパスにいないことが、何回くらいありましたか。	半年で1、2回くらい。	108人	12.1%			
	月に1、2回くらい。	232	26.1			
	週に1、2回くらい。	295	33.1			
	週に3、4回くらい。	189	21.2			
	ほぼ毎日。	66	7.4			
合計	890	100.0				
20.あなたは、土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいることはありますか。この冬学期が始まってから昼間も含めて、最もあてはまるものを1つを選んでください。	冬学期が始まって、キャンパス内にいたことはない。	334人	23.3%			
	冬学期が始まってから、土・日・祝日にキャンパス内にいたことがある。	1099	76.7			
	合計	1433	100.0			
	土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいた回数	度数	最小	最大	平均	標準偏差
		1015	1回	60回	8.52回	6.63
21.学部卒業後、どのような進路を予定していますか。	大学院修士課程に進学する	619人	42.6%			
	大学院博士課程に進学する	69	4.7			
	専門職学位課程に進学する	63	4.3			
	学士入学をする	8	0.6			
	就職する	456	31.4			
	進学も就職もしない	3	0.2			
	起業する	3	0.2			
	まだ決めていない	210	14.5			
	その他	22	1.5			
	合計	1453	100.0			
	22.その理由は、次のうちどれに当たりますか。(主なものを2つまで選んでください。)	より高度の知識・技術を身につけるため	581人	43.6%		
大学で教育・研究職に就くため		139	10.4			
大学外で研究職に就くため		86	6.4			
必要な資格を得るため		113	8.5			
良い就職先を得るため		180	13.5			
まだ社会に出たくないから		110	8.2			
就職先が決まらないから		13	1.0			
周囲に勧められたから		17	1.3			
大学院修了ということの社会的評価が高い		52	3.9			
学部での進路指導に従って		26	1.9			
その他		17	1.3			
合計	1334	100.0				

Ⅲ. 就職について

23.どのような職業に就きたいと思いますか。 (主なものを3つまで選んでください)	部門		
	公務員	774 人	33.7 %
	非営利団体	137	6.0
	民間企業	1077	46.9
	自営業	101	4.4
	起業	124	5.4
	その他	85	3.7
	合計	2298	100.0
	職種		%
	大学・公的機関の教育・研究職	458 人	17.4
	企業等の研究職	479	18.2
	技術職	350	13.3
	事務職	238	9.0
	販売職	41	1.6
教育職 (大学を除く)	100	3.8	
行政職	225	8.5	
管理職	219	8.3	
マスコミ (新聞記者、放送記者、アナウンサー、プロデューサー等)	119	4.5	
専門職 (医師、法曹、公認会計士等)	351	13.3	
その他	58	2.2	
合計	2638	100.1	
24.その職業に就きたいと考えるのは、どのような理由からですか。 (主なものを3つまで選んでください)	人を助けたり社会に奉仕できる	647 人	18.9 %
	安定した生活が保障されている	438	12.8
	十分な収入が期待できる	435	12.7
	自分の特技・能力や専門知識が活かせる	884	25.8
	国際的な仕事ができる	197	5.8
	社会的な地位・名声が得られる	142	4.1
	組織にしばられず、自由な活動ができる	173	5.1
	人や組織を動かすことができる	162	4.7
	独創性や創造性を発揮できる	286	8.4
	その他	59	1.7
	合計	3423	100.0

IV. 不安・悩みについて

25.現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか。
(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

1.勉学（成績・単位など）	良く悩む	398人	27.4%
	ときに悩む	595	41.0
	あまり悩まない	341	23.5
	全く悩まない	118	8.1
	合計	1452	100.0
2.学部進学や大学院進学	良く悩む	388人	26.7%
	ときに悩む	505	34.8
	あまり悩まない	370	25.5
	全く悩まない	188	13.0
	合計	1451	100.0
3.就職	良く悩む	504人	34.7%
	ときに悩む	535	36.8
	あまり悩まない	292	20.1
	全く悩まない	121	8.3
	合計	1452	100.0
4.将来の進路や生き方	良く悩む	673人	46.3%
	ときに悩む	531	36.5
	あまり悩まない	184	12.7
	全く悩まない	65	4.5
	合計	1453	100.0
5.友人との対人関係	良く悩む	188人	12.9%
	ときに悩む	409	28.1
	あまり悩まない	601	41.3
	全く悩まない	256	17.6
	合計	1454	99.9
6.教職員との対人関係	良く悩む	36人	2.5%
	ときに悩む	113	7.8
	あまり悩まない	546	37.7
	全く悩まない	755	52.1
	合計	1450	100.0
7.性・異性・恋愛・結婚	良く悩む	297人	20.4%
	ときに悩む	510	35.1
	あまり悩まない	460	31.7
	全く悩まない	186	12.8
	合計	1453	100.0
8.経済的なことや経済的自立	良く悩む	324人	22.3%
	ときに悩む	605	41.6
	あまり悩まない	385	26.5
	全く悩まない	139	9.6
	合計	1453	100.0
9.自分の性格	良く悩む	315人	21.7%
	ときに悩む	476	32.7
	あまり悩まない	456	31.4
	全く悩まない	207	14.2
	合計	1454	100.0
10.自分の体調や健康	良く悩む	143人	9.8%
	ときに悩む	359	24.7
	あまり悩まない	608	41.8
	全く悩まない	344	23.7
	合計	1454	100.0
11.人生の意義・目標	良く悩む	355人	24.8%
	ときに悩む	523	36.6
	あまり悩まない	369	25.8
	全く悩まない	182	12.7
	合計	1429	99.9

26.あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話合ったりしますか。
(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

1.父・母	よく相談する	269人	18.5%
	ときどき相談する	357	24.6
	たまに相談する	513	35.4
	全く相談しない	312	21.5
	合計	1451	100.0
2.兄弟・姉妹	よく相談する	59人	4.1%
	ときどき相談する	114	8.0
	たまに相談する	273	19.1
	全く相談しない	985	68.8
	合計	1431	100.0
3.なんでも相談コーナー・学生相談所等	よく相談する	16人	1.1%
	ときどき相談する	20	1.4
	たまに相談する	81	5.6
	全く相談しない	1331	91.9
	合計	1448	100.0
4.大学の教職員	よく相談する	8人	0.6%
	ときどき相談する	31	2.1
	たまに相談する	195	13.5
	全く相談しない	1214	83.8
	合計	1448	100.0
5.大学内の同じ学科や研究室の友人	よく相談する	149人	10.3%
	ときどき相談する	363	25.0
	たまに相談する	517	35.7
	全く相談しない	421	29.0
	合計	1450	100.0
6.大学内のサークルや団体の友人	よく相談する	197人	13.6%
	ときどき相談する	365	25.2
	たまに相談する	429	29.7
	全く相談しない	455	31.5
	合計	1446	100.0
7.大学外の友人	よく相談する	152人	10.5%
	ときどき相談する	350	24.1
	たまに相談する	492	33.9
	全く相談しない	458	31.5
	合計	1452	100.0
8.先輩	よく相談する	79人	5.5%
	ときどき相談する	276	19.0
	たまに相談する	462	31.9
	全く相談しない	632	43.6
	合計	1449	100.0
9.恋人	よく相談する	156人	11.1%
	ときどき相談する	181	12.9
	たまに相談する	201	14.3
	全く相談しない	869	61.8
	合計	1407	100.0

27.あなたは最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか。
(それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)

1.強い不安に襲われた	よく体験した	221人	15.4%
	時に体験した	486	33.8
	あまり体験しなかった	353	24.6
	全く体験しなかった	376	26.2
	合計	1436	100.0
2.自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった	よく体験した	127人	8.8%
	時に体験した	306	21.3
	あまり体験しなかった	420	29.2
	全く体験しなかった	583	40.6
	合計	1436	100.0

3.人と話していてもとても緊張したり、不安を感じた	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	116 人 391 479 450 1436	8.1 % 27.2 33.4 31.3 100.0
4.他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	51 人 151 369 865 1436	3.6 % 10.5 25.7 60.2 100.0
5.バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのがこわかった	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	16 人 35 137 1249 1437	1.1 % 2.4 9.5 86.9 99.9
6.気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	138 人 399 378 521 1436	9.6 % 27.8 26.3 36.3 100.0
7.人と一緒にいてもさびしい感じがした	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	88 人 326 389 633 1436	6.1 % 22.7 27.1 44.1 100.0
8.体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	30 人 80 235 1091 1436	2.1 % 5.6 16.4 76.0 100.0
9.イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたい衝動にかられた	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	81 人 258 361 735 1435	5.6 % 18.0 25.2 51.2 100.0
10.やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	160 人 375 377 524 1436	11.1 % 26.1 26.3 36.5 100.0
11.ついつい過食してしまう傾向があった	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	112 人 274 338 712 1436	7.8 % 19.1 23.5 49.6 100.0
12.食欲がなくなり、食べ物を口にしたくないと思った	よく体験した 時に体験した あまり体験しなかった 全く体験しなかった 合 計	29 人 133 268 1003 1433	2.0 % 9.3 18.7 70.0 100.0
28.あなたの悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか。 (それぞれの項目について、4段階の中から該当するものを選んでください。)			
1.学生が教員や職員と接触する機会を増やす	全くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 合 計	99 人 451 519 363 1432	6.9 % 31.5 36.2 25.3 100.0
2.教務課や学生課などの事務機能を充実させる	全くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 合 計	112 人 390 565 364 1431	7.8 % 27.3 39.5 25.4 100.0

3.クラス担任制度やチューター制度を充実させる	全くそう思う	105人	7.3%
	まあそう思う	314	22.0
	あまりそう思わない	570	39.9
	全くそう思わない	441	30.8
	合計	1430	100.0
4.学習方法や学習内容について相談機能を充実させる	全くそう思う	139人	9.7%
	まあそう思う	513	35.8
	あまりそう思わない	477	33.3
	全くそう思わない	303	21.2
	合計	1432	100.0
5.学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる	全くそう思う	259人	18.1%
	まあそう思う	603	42.1
	あまりそう思わない	326	22.8
	全くそう思わない	243	17.0
	合計	1431	100.0
6.就職指導や進路相談の機能を充実させる	全くそう思う	310人	21.7%
	まあそう思う	617	43.1
	あまりそう思わない	310	21.7
	全くそう思わない	194	13.6
	合計	1431	100.1
7.健康相談や保健センターの機能を充実させる	全くそう思う	198人	13.9%
	まあそう思う	506	35.4
	あまりそう思わない	480	33.6
	全くそう思わない	244	17.1
	合計	1428	100.0
8.個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる	全くそう思う	124人	8.7%
	まあそう思う	478	33.4
	あまりそう思わない	543	38.0
	全くそう思わない	284	19.9
	合計	1429	100.0
9.奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する	全くそう思う	464人	32.4%
	まあそう思う	499	34.9
	あまりそう思わない	303	21.2
	全くそう思わない	165	11.5
	合計	1431	100.0
10.学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する	全くそう思う	223人	15.6%
	まあそう思う	510	35.8
	あまりそう思わない	474	33.2
	全くそう思わない	219	15.4
	合計	1426	100.0
29.過去1年間に体の不調はありましたか？	よくあった	96人	6.7%
	ときにあった	522	36.4
	あまりなかった	456	31.8
	全くなかった	362	25.2
	合計	1436	100.0
問29で、「よくあった」「ときにあった」「あまりなかった」と答えた方のみお答えください。 30.過去1年間に体の不調があったときに、どのように対処しましたか？あてはまるものをすべて選んでください。	家族に相談	532人	28.3%
	大学内の同じ学科やサークルの友人・先輩に相談	176	9.4
	大学外の友人・先輩に相談	50	2.7
	大学の教職員に相談	7	0.4
	保健センター（本郷・駒場・柏）の診療部を受診	321	17.1
	保健センター（本郷・駒場・柏）の健康管理室に相談	67	3.6
	東大病院を受診	32	1.7
	地域のクリニックや病院を受診	585	31.1
	その他	110	5.9
	合計	1880	100.2

31.過去1年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか？利用したものすべてを選んでください。	大学のホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	119人	8.6%
	保健センターのホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	164	11.9
	保健センターの定期健康診断の受診	892	64.5
	保健センターの健康診断書や健康診断証明書の発行	159	11.5
	その他	49	3.5
	合計	1383	100.0
32.大学が行っている保健サービスに満足していますか？	満足	557人	39.0%
	どちらとも言えない	737	51.6
	不満	134	9.4
	合計	1428	100.0

V. 大学への要望

33.大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか。

(それぞれの項目について、5段階の中から該当するものを選んでください。)

1.カリキュラムの改革	とても期待する	357人	24.8%
	期待する	608	42.2
	どちらともいえない	360	25.0
	期待しない	83	5.8
	全く期待しない	33	2.3
	合計	1441	100.0
2.実験室や実習室の充実	とても期待する	261人	18.1%
	期待する	494	34.2
	どちらともいえない	494	34.2
	期待しない	128	8.9
	全く期待しない	67	4.6
	合計	1444	100.0
3.進学振分け制度の改善	とても期待する	313人	21.7%
	期待する	413	28.6
	どちらともいえない	480	33.3
	期待しない	161	11.2
	全く期待しない	75	5.2
	合計	1442	100.0
4.授業の方法の工夫・改善	とても期待する	466人	32.3%
	期待する	627	43.5
	どちらともいえない	251	17.4
	期待しない	68	4.7
	全く期待しない	31	2.1
	合計	1443	100.0
5.単位認定や学年試験を厳しく	とても期待する	54人	3.7%
	期待する	124	8.6
	どちらともいえない	410	28.4
	期待しない	406	28.1
	全く期待しない	449	31.1
	合計	1443	100.0
6.カウンセリング・相談体制の充実	とても期待する	80人	5.5%
	期待する	360	24.9
	どちらともいえない	565	39.1
	期待しない	296	20.5
	全く期待しない	143	9.9
	合計	1444	99.9
7.奨学金(育英資金)・育英貸付金などの拡充や増額	とても期待する	470人	32.6%
	期待する	498	34.5
	どちらともいえない	310	21.5
	期待しない	101	7.0
	全く期待しない	64	4.4
	合計	1443	100.0
8.社会への貢献	とても期待する	279人	19.3%
	期待する	583	40.4
	どちらともいえない	415	28.8
	期待しない	94	6.5
	全く期待しない	72	5.0
	合計	1443	100.0
9.海外留学の支援	とても期待する	478人	33.1%
	期待する	474	32.8
	どちらともいえない	333	23.0
	期待しない	95	6.6
	全く期待しない	65	4.5
	合計	1445	100.0

10.施設設備の充実	とても期待する	527 人	36.5 %
	期待する	617	42.8
	どちらともいえない	211	14.6
	期待しない	49	3.4
	全く期待しない	38	2.6
	合 計	1442	100.0
11.教育スタッフの充実	とても期待する	313 人	21.7 %
	期待する	613	42.5
	どちらともいえない	388	26.9
	期待しない	85	5.9
	全く期待しない	45	3.1
	合 計	1444	100.0
12.少人数教育の実施	とても期待する	276 人	19.1 %
	期待する	428	29.6
	どちらともいえない	466	32.3
	期待しない	193	13.4
	全く期待しない	81	5.6
	合 計	1444	100.0
13.単位認定や学年試験を緩やかに	とても期待する	275 人	19.0 %
	期待する	279	19.3
	どちらともいえない	557	38.6
	期待しない	230	15.9
	全く期待しない	103	7.1
	合 計	1444	100.0
14.図書館の充実	とても期待する	565 人	39.1 %
	期待する	574	39.8
	どちらともいえない	229	15.9
	期待しない	43	3.0
	全く期待しない	33	2.3
	合 計	1444	100.1
15.学生自治の尊重	とても期待する	109 人	7.6 %
	期待する	286	19.8
	どちらともいえない	686	47.6
	期待しない	227	15.8
	全く期待しない	133	9.2
	合 計	1441	100.0
16.就職対策の充実	とても期待する	418 人	28.9 %
	期待する	555	38.4
	どちらともいえない	318	22.0
	期待しない	87	6.0
	全く期待しない	67	4.6
	合 計	1445	99.9
17.国際化の推進	とても期待する	439 人	30.5 %
	期待する	503	34.9
	どちらともいえない	383	26.6
	期待しない	60	4.2
	全く期待しない	56	3.9
	合 計	1441	100.0

VI. 家庭の状況について

34.家庭の所在地はどこですか。	A.地区				
	東京都	391 人	27.0 %		
	関東地方（東京以外）	456	31.5		
	北海道地方	22	1.5		
	東北地方	42	2.9		
	中部地方	178	12.3		
	近畿地方	160	11.0		
	中国地方	54	3.7		
	四国地方	34	2.3		
	九州・沖縄地方	111	7.7		
	日本国外	1	0.1		
	合 計	1449	100.0		
	B.都市規模				
	大都市 = 人口100万人以上	627 人	43.8 %		
	中都市 = 人口10万人以上	596	41.6		
小都市 = 人口10万人未満	168	11.7			
郡部	40	2.8			
合 計	1431	99.9			
35.家族構成について、あてはまる方をすべて選んで下さい。	A.				
	祖父	155 人	3.5 %		
	祖母	278	6.2		
	父	1349	30.1		
	母	1428	31.8		
	在学中の兄弟姉妹	717	16.0		
	それ以外の兄弟姉妹	529	11.8		
	親類	19	0.4		
	その他	9	0.2		
	合 計	4484	100.0		
	B.あなたは結婚していますか				
	未 婚	1436 人	99.2 %		
	既 婚	11	0.8		
	合 計	1447	100.0		
	36.家計支持者はだれですか。 (複数回答可)	父	1345 人	66.7 %	
母		604	30.0		
本人		28	1.4		
兄弟姉妹		12	0.6		
祖父母		22	1.1		
配偶者		1	0.0		
その他		3	0.1		
合 計		2015	99.9		
問36で、「父、母」両方を選択された方は、設問37～39についても「父」「母」それぞれについて回答ください。 37.家計支持者（父、母）の職業はどれにあたりますか。		父			
		専門的・技術的職業	326 人	24.2 %	
	教育的職業	177	13.1		
	管理的職業	570	42.3		
	事務	106	7.9		
	農・林・漁業	7	0.5		
	生産工程・採掘作業	47	3.5		
	運輸・通信・保安・サービス	64	4.7		
	無職	24	1.8		
	非正規	13	1.0		
その他	15	1.1			
合 計	1349	100.1			

	母	専門的・技術的職業	115 人	16.7 %		
		教育的職業	131	19.0		
		管理的職業	22	3.2		
		事務	105	15.2		
		農・林・漁業	4	0.6		
		生産工程・採掘作業	6	0.9		
		運輸・通信・保安・サービス	29	4.2		
		無職	51	7.4		
		非正規	218	31.6		
		その他	9	1.3		
合計	690	100.1				
38.家計支持者（父、母）の雇用形態は大きく分けてどれにあたりますか。	父	自分一人（だれにも雇用されてない、まただれも雇用していない）	77 人	5.9 %		
		民間企業に勤務（民間企業・団体の職員等）	785	60.2		
		官公庁に勤務（国・自治体、公共企業体の職員等）	301	23.1		
		経営者・役員または人を雇用している	142	10.9		
		合計	1305	100.0		
	母	自分一人（だれにも雇用されてない、まただれも雇用していない）	58 人	9.5 %		
		民間企業に勤務（民間企業・団体の職員等）	368	60.0		
		官公庁に勤務（国・自治体、公共企業体の職員等）	154	25.1		
		経営者・役員または人を雇用している	33	5.4		
		合計	613	100.0		
39.家計支持者（父、母）の勤務先（設問37の職業分類）の規模はどれにあたりますか。 A. 設問35の職業が「教育的職業」以外の方は次に中から選んでください。	父	従業員が1,000人以上の企業及び官公庁	569 人	49.8 %		
		従業員が100人以上1,000人未満の企業及び官公庁	260	22.7		
		従業員が10人以上100人未満の企業及び官公庁	173	15.1		
		従業員が10人未満の企業及び官公庁	141	12.3		
		合計	1143	100.0		
	母	従業員が1,000人以上の企業及び官公庁	96 人	19.6 %		
		従業員が100人以上1,000人未満の企業及び官公庁	106	21.6		
		従業員が10人以上100人未満の企業及び官公庁	188	38.3		
		従業員が10人未満の企業及び官公庁	101	20.6		
		合計	491	100.0		
40.あなたの生活を支えている家族の世帯年収（税込）はどれくらいですか。 （ボーナスも含めてください。）		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	年収（単位十万円）	789 人	0 十万円	2000十万円	116.7十万円	135.1
	わからない	635 人				

VII. 生活費の状況について

(単位：千円)

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
41.右の各欄に金額を記入してください。 (おおよそ平均1ヶ月の収支額を記入してください。)	衣料費	1380人	0千円	100千円	6.8千円	7.9
食費	1393	0	300	23.8	15.8	
住居費	814	0	300	62.8	35.5	
食費 自宅生は外食代(費)を記入する。	勉学費	1376	0	100	6.9	7.5
住居費 自宅外生のみ記入する。	教養・娯楽費	1382	0	200	14.3	13.6
勉学費	通学費	1370	0	160	6.1	8.2
勉学に必要な書籍代、実習材料費、文具代、実習旅費等(授業料等の学校納付金を除く)。	雑費	1370	0	100	11.5	9.4
教養・娯楽費	預貯金	1287	0	3012	43.1	151.3
教養・娯楽のための書籍代、サークルの支出、勉学以外の旅行の費用、校友費、スポーツ代、映画・演劇・音楽会の入場料等。	支出額合計	1327	0	800	107.7	66.9
雑費 理・美容代、タバコ代、化粧品代、ガソリン代、携帯電話代、インターネット代、医療費、水・光熱費等。	家庭からの仕送り・小遣い	1362人	0千円	800千円	64.2千円	61.5
奨学金	1215	0	180	15.1	30.8	
アルバイト・雑収入	1332	0	800	31.9	47.7	
ローン・クレジット・借入金	1169	0	210	0.9	9.8	
収入額合計	1342	0	800	104.0	71.8	
家庭からの仕送り・小遣い 親・兄弟・親類等からの仕送り。	家庭からの仕送り			1272人	81.0%	
42.授業料はどのように負担していますか。あてはまるものをすべて選んでください。	奨学金			116	7.4	
	アルバイト・雑収入			49	3.1	
	全額授業料免除			81	5.2	
	半額授業料免除			26	1.7	
	その他			26	1.7	
	合計			1570	100.1	

VIII. 通学・住居について

43.現在どこに住んでいますか。	東京23区	876人	60.7%
	東京(23区外)	177	12.3
	横浜市	101	7.0
	川崎市	49	3.4
	神奈川県(「横浜市・川崎市」を除く)	31	2.1
	さいたま・川口・蕨の各市	46	3.2
	埼玉県(「さいたま・川口・蕨の各市」を除く)	55	3.8
	千葉・船橋・市川・習志野・松戸の各市	38	2.6
	千葉県(「千葉・船橋・市川・習志野・松戸の各市」を除く)	49	3.4
	その他の県	22	1.5
	合計	1444	100.0
44.居住形態はどれにあたりますか。	自宅	692人	48.1%
	自宅外	747	51.9
	合計	1439	100.0

45.現在住んでいる住居の区分はどれにあたりますか。	分譲マンション	27人	3.6%				
	賃貸マンション・アパート（バスつき）	527	70.8				
	アパート（バスなし）・下宿	44	5.9				
	東大の寮	50	6.7				
	その他の寮	87	11.7				
	その他	9	1.2				
	合 計	744	100.0				
46.学寮・学生寄宿舍等を作れば、あなたは入居しますか。	する	199人	13.9%				
	しない	471	32.8				
	入居費による	546	38.1				
	わからない	218	15.2				
	合 計	1434	100.0				
47.あなたが通学に利用している交通機関を記入してください。（移動時間の多いものを1つ選んでください。）	電車	1067人	71.7%				
	バス	16	1.1				
	自家用車	9	0.6				
	バイク	7	0.5				
	自転車	308	20.7				
	徒歩のみ	81	5.4				
	その他	1	0.1				
	合 計	1489	100.1				
48.片道の所要時間はどれくらいですか。（分単位で記入してください）	度数	1440人	1分	300分	46.6分	標準偏差	29.7
	所要時間						

Ⅷ. 奨学金について

49.日本学生支援機構または他の団体から定期的に奨学金を受けていますか。	受けている	328人	22.7%
	受けたいが受けられなかった	195	13.5
	受けたくない	76	5.3
	受ける必要がない	845	58.5
	合 計	1444	100.0
50.その理由はどれにあたりますか。	出願したが採用されなかった	26人	9.0%
	事務手続きが煩雑だから	36	12.5
	掲示等に気がつかなかった	18	6.3
	資格がない	79	27.4
	書類を期限までに整えられなかった	18	6.3
	貸与なので申請しなかった	105	36.5
	その他	6	2.1
	合 計	288	100.1
51.これから受けたいと思いますか。	受けたい	54人	46.2%
	受けたくない	63	53.8
	合 計	117	100.0
52.どこの奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてを選んでください。	日本学生支援機構第一種奨学金（無利息奨学金）	182人	46.7%
	日本学生支援機構第二種奨学金（利息付奨学金）	125	32.1
	公益法人等・地方公共団体等の奨学金	79	20.3
	大学独自の奨学金（学内奨学金）	4	1.0
	合 計	390	100.1
53.奨学金はどんな面で役に立っていますか。（主なものを2つまで選んでください）	家庭の経済的負担が軽減される	248人	42.3%
	多少ともゆとりのある生活ができる	107	18.3
	アルバイトが軽減される	67	11.4
	奨学金があるので生活が成り立っている	112	19.1
	定期的な収入になるので助かる	45	7.7
	その他	7	1.2
	合 計	586	100.0

X. アルバイトについて

54.過去一年間にアルバイトをしましたか。	継続的（1ヶ月以上）アルバイトをした	784人	53.8%			
	臨時（1ヶ月未満）アルバイトをした	161	11.1			
	継続的+臨時的アルバイトをした	222	15.2			
	しなかった	289	19.8			
	合計	1456	99.9			
55.そのアルバイトの種類はどれにあたりますか。 (主なものを2つまで選んでください。)	家庭教師	402人	23.5%			
	塾講師	476	27.8			
	試験監督・採点	201	11.7			
	特殊技能（翻訳、通訳、プログラミング等）を要すること	44	2.6			
	一般事務	117	6.8			
	販売・セールス・サービス業	228	13.3			
	単純労働	133	7.8			
	コンピュータへの入力オペレータ	18	1.1			
	その他	92	5.4			
	合計	1711	100.0			
56.アルバイトに費やす時間と収入額はどれくらいでしたか。 (往復時間を含め、アルバイトした期間について一週間当たりの平均時間を記入してください。)	時 間 (単位:時間/月)	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	収入額 (単位:千円/月)	1151	0時間	84時間	11.4時間	10.7
	(アルバイトした期間について1ヶ月当たりの平均金額を単位「千円」で記入してください。)	1151	0千円	700千円	43.1千円	43.5
57.アルバイトをした目的はどれにあたりましたか。 (主なものを1つ選んでください。)	生活費を稼ぐため	454人	37.8%			
	学費を稼ぐため	26	2.2			
	学生生活を楽しむため	396	33.0			
	社会経験のため	281	23.4			
	その他	44	3.7			
合計	1201	100.1				
58.継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんか。(でした)か。	かなり妨げになる(なった)	79人	8.0%			
	多少妨げになる(なった)	486	49.3			
	妨げにならない(ならなかった)	421	42.7			
	合計	986	100.0			
59.現在の暮らし向きについてどうお考えですか。	かなり楽な方	398人	27.5%			
	やや楽な方	369	25.5			
	普通	478	33.0			
	やや苦しい方	146	10.1			
	大変苦しい方	42	2.9			
	わからない	15	1.0			
	合計	1448	100.0			

資料2

ク ロ ス 集 計 表

ここでは、「調査票」のそれぞれの設問項目と、所要な基本項目とのクロス集計を行ったものを一括して順次掲載した。また、前回調査との比較のため今回調査と同じ設定をしている調査項目の数値を、適宜、各集計表の中で（ ）内に示した。

表の見方

1. 百分率（パーセント）表示については、小数点第一位までを有効数字として算出した。
2. 各項目の無回答を除いた百分率あるいは平均を示した。
3. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。
 「全体」……………回答者全員の比率を示す。
 「自宅」……………自宅通学者（親と同居）を示す。
 「自宅外」……………賃貸マンション、アパート、下宿、学寮、他寮の居住者を一括して示す。
 「その他の寮」……………地方公共団体等が設置した学生寮の居住者を示す。
 「前期課程」……………1、2年生を示す。
 「後期課程」……………3、4年生（医学部医学科・農学部獣医課程は5、6年生を含む。）を示す。
 「文科系」「理科系」… 在籍する学部、学科等により二つの系に区分したものを示す。
4. 事例数は、2008年度調査では、「回答者数」、2010年度調査では「総回答数」で示している。

1-1表 東大入学をどの程度希望していましたか

区 分		浪人しても東大 に入りたいと 思っていた	東大にどうして も入りたかった	東大がだめなら 他大学でもよい と思った	他大学がだめなら 東大でもよい と思った	事例数
2008年調査 (58回)			% (58.8)	% (39.2)	% (2.0)	人 (1,575)
全	体	58.2	-	40.4	1.3	1,444
男	子	61.5	-	37.0	1.5	1,115
女	子	47.0	-	52.7	0.3	317
男	前 期 課 程	62.5	-	36.8	0.7	555
	後 期 課 程	60.5	-	37.2	2.3	559
女	前 期 課 程	52.1	-	47.9	0.0	144
	後 期 課 程	42.8	-	56.6	0.6	173
男	文 理 科 系	61.7	-	37.0	1.2	413
	文 理 科 系	61.4	-	36.9	1.7	702
女	文 理 科 系	42.5	-	57.5	0.0	174
	文 理 科 系	52.4	-	46.9	0.7	143

1-2表 東大入学の動機 (3つまで選択)

区	分	社会的評価が高いから	スタッフ・設備が優れているから	将来の就職を考えて	難関を突破したから	私大に比べて授業料が安いから	東大の伝統や雰囲気は憧れて	入学後に学部を選択が可能だから	親・兄弟・姉妹の勧めで	高校の先生や友人などの勧めで	その他	事例数
		% (18.7)	% (10.2)	% (11.5)	% (9.9)	% (15.1)	% (7.3)	% (16.0)	% (2.3)	% (6.1)	% (2.9)	人 (1,585)
2008年調査(58回)	全体	19.4	9.7	10.4	10.2	13.8	8.1	16.2	2.1	6.8	3.3	3,911
男子	男子	20.5	9.8	10.3	10.5	14.0	7.8	15.4	1.7	6.8	3.2	2,995
女子	女子	15.7	9.4	10.5	9.3	13.7	9.4	18.7	3.3	7.0	3.2	886
前期課程	前期課程	20.0	9.0	11.2	10.0	14.4	7.7	16.8	1.6	6.3	2.9	1,503
後期課程	後期課程	21.0	10.6	9.4	11.0	13.6	7.9	14.0	1.8	7.3	3.5	1,489
前期課程	前期課程	17.6	8.6	12.7	8.6	13.4	9.0	19.3	2.9	5.4	2.4	409
後期課程	後期課程	14.0	10.1	8.6	9.9	13.8	9.6	18.2	3.6	8.4	3.8	477
文系	文系	22.8	6.4	12.7	13.7	12.8	10.3	10.0	1.5	6.4	3.4	1,117
理系	理系	19.1	11.9	8.9	8.6	14.6	6.3	18.6	1.8	7.1	3.1	1,878
文系	文系	15.5	7.6	12.6	10.5	12.4	9.7	15.5	3.6	9.0	3.6	476
理系	理系	15.9	11.5	8.0	7.8	15.1	9.0	22.4	2.9	4.6	2.7	410

1-3表 入学時に進学する学部・学科等を決めていましたか

区	分	学部等まで決めていた	学部のみを決めていた	学部、学科等を決めていなかった	事例数
		% (23.5)	% (34.0)	% (42.5)	人 (1,575)
2008年調査(58回)	全体	24.2	32.5	43.3	1,444
男子	男子	24.4	33.2	42.4	1,114
女子	女子	23.6	29.9	46.5	318
文系	文系	20.6	43.4	36.0	592
理系	理系	26.7	25.0	48.3	851

1-4表 進学決定（内定）について

区 分		希望通り決定した	ほぼ希望通り決定した	希望通りでなかった	事例数
2008年調査（58回）		% (81.8)	% (14.5)	% (3.8)	人 (1,147)
全 体		79.5	14.9	5.6	1,084
男 子		79.1	14.7	6.2	828
女 子		80.5	15.4	4.1	246
前期課程 (進学内定者)	文 科 一 類	88.1	4.8	7.1	42
	文 科 二 類	83.3	9.5	7.1	42
	文 科 三 類	72.2	22.2	5.6	54
	理 科 一 類	77.1	16.4	6.4	140
	理 科 二 類	74.6	19.0	6.3	63
	理 科 三 類	100.0	0.0	0.0	12
後期課程	法 学 部	95.5	4.5	0.0	112
	経 済 学 部	83.1	13.0	3.9	77
	文 学 部	61.8	23.7	14.5	76
	教 育 学 部	76.0	20.0	4.0	25
	教 養 (文系)	66.7	22.2	11.1	27
	教 養 (理系)	37.5	25.0	37.5	8
	理 学 部	85.2	14.8	0.0	61
	工 学 部	78.9	16.3	4.7	190
	農 学 部	66.2	23.4	10.4	77
	薬 学 部	87.5	8.3	4.2	24
	医 学 部	96.3	3.7	0.0	54

1-5表 あなたは在学中に留学したことがありますか

区 分		留学したことはない	短期留学（1年未満）	長期留学（1年以上）	事例数
全 体		% 94.9	% 4.0	% 1.0	人 1,440
男 子		95.9	3.4	0.7	1,112
女 子		92.1	6.0	1.9	316
前期課程	文 科 一 類	94.1	4.7	1.2	85
	文 科 二 類	96.1	3.9	0.0	77
	文 科 三 類	95.5	3.6	0.9	110
	理 科 一 類	96.0	2.9	1.1	273
	理 科 二 類	96.1	3.9	0.0	129
	理 科 三 類	96.3	3.7	0.0	27
後期課程	法 学 部	96.5	1.8	1.8	113
	経 済 学 部	92.4	6.3	1.3	79
	文 学 部	93.5	3.9	2.6	77
	教 育 学 部	100.0	0.0	0.0	26
	教 養 (文系)	69.2	19.2	11.5	26
	教 養 (理系)	100.0	0.0	0.0	8
	理 学 部	98.4	1.6	0.0	61
	工 学 部	97.4	2.6	0.0	192
	農 学 部	96.1	3.9	0.0	76
	薬 学 部	91.7	8.3	0.0	24
医 学 部	85.7	12.5	1.8	56	
文科系		93.9	4.4	1.7	593
理科系		95.7	3.8	0.5	846

1-6表 それはいつですか (短期留学)

区 分	東大入学 以前	1年	2年	3年	4年	5年	6年	事例数
全 体	% 40.6	% 9.4	% 21.9	% 17.2	% 7.8	% 3.1	% 0.0	人 64
男 子	42.9	9.5	21.4	16.7	4.8	4.8	0.0	42
女 子	33.3	9.5	23.8	19.0	14.3	0.0	0.0	21
前期課程	文科一類	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
	文科二類	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4
	文科三類	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4
	理科一類	88.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	9
	理科二類	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	5
	理科三類	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
後期課程	法学部	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	3
	経済学部	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	6
	文学部	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3
	教育学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	教養(文系)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	6
	教養(理系)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	理学部	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	工学部	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	5
	農学部	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	3
	薬学部	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
医学部	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	8	
文科系	40.0	13.3	20.0	16.7	10.0	0.0	0.0	30
理科系	41.2	5.9	23.5	17.6	5.9	5.9	0.0	34

1-7表 それはいつですか (長期留学)

区 分	東大入学 以前	1年	2年	3年	4年	5年	6年	事例数
全 体	% 73.3	% 6.7	% 0.0	% 13.3	% 6.7	% 0.0	% 0.0	人 15
男 子	87.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	8
女 子	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	6
前期課程	文科一類	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	文科二類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	文科三類	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	理科一類	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	理科二類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	理科三類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
後期課程	法学部	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	経済学部	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	文学部	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	教育学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	教養(文系)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	3
	教養(理系)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	理学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	工学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	農学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	薬学部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
医学部	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	
文科系	60.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10
理科系	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

1-8表 現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか

区分	満足している	まあ満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	事例数
2008年調査 (58回)	% (36.0)	% (41.5)	% (12.6)	% (6.0)	% (3.9)	人 (1,571)
全体	34.1	42.6	12.2	6.9	4.2	1,441
男子	32.9	42.3	13.0	6.7	5.0	1,113
女子	38.3	43.7	9.5	7.6	0.9	316
男子	前期課程 28.6	40.6	17.6	8.0	5.3	552
	後期課程 37.1	43.9	8.6	5.5	4.8	560
女子	前期課程 35.7	47.6	11.2	5.6	0.0	143
	後期課程 40.5	40.5	8.1	9.2	1.7	173
男子	文科系 32.2	40.2	13.1	8.0	6.5	413
	理科系 33.3	43.6	13.0	6.0	4.1	700
女子	文科系 36.8	40.2	10.9	10.3	1.7	174
	理科系 40.1	47.9	7.7	4.2	0.0	142

1-9表 進学振分け制度についてどのように考えていますか

区分	特に考えていることはない	現行のままです よい	入試時にもう 少し細かく進 路を決める制 度の方がよい	点数以外の振 り分け基準を 取り入れた方 がよい	その他	事例数	
2008年調査 (58回)	% (22.4)	% (41.9)	% (8.6)	% (20.4)	% (6.7)	人 (1,560)	
全体	24.0	39.9	14.3	21.8	-	1,440	
男子	24.7	39.7	14.8	20.8	-	1,112	
女子	21.2	40.8	12.3	25.6	-	316	
前期課程	文科一類	18.8	30.6	25.9	24.7	-	85
	文科二類	24.7	29.9	24.7	20.8	-	77
	文科三類	16.4	24.5	18.2	40.9	-	110
	理科一類	24.0	43.6	11.3	21.1	-	275
	理科二類	18.5	36.2	16.9	28.5	-	130
	理科三類	25.9	29.6	14.8	29.6	-	27
後期課程	法学部	43.0	36.8	10.5	9.6	-	114
	経済学部	29.1	36.7	13.9	20.3	-	79
	文学部	19.7	32.9	15.8	31.6	-	76
	教育学部	19.2	50.0	3.8	26.9	-	26
	教養（文系）	19.2	38.5	15.4	26.9	-	26
	教養（理系）	25.0	62.5	0.0	12.5	-	8
	理学部	36.7	45.0	8.3	10.0	-	60
	工学部	22.0	49.7	13.1	15.2	-	191
	農学部	17.1	53.9	7.9	21.1	-	76
	薬学部	12.5	79.2	4.2	4.2	-	24
	医学部	29.1	30.9	20.0	20.0	-	55

1-10表 現在のカリキュラムに満足していますか

区分	満足している	まあ満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	事例数	
2008年調査(58回)	% (11.5)	% (48.0)	% (21.2)	% (13.6)	% (5.7)	人 (1,577)	
全体	11.6	45.1	22.1	15.7	5.5	1,442	
男子	11.5	43.0	22.8	16.2	6.5	1,114	
女子	11.7	52.2	20.3	14.2	1.6	316	
前期課程	文科一類	8.3	36.9	26.2	20.2	8.3	84
	文科二類	7.8	35.1	37.7	14.3	5.2	77
	文科三類	8.2	45.5	24.5	18.2	3.6	110
	理科一類	10.5	42.9	26.2	16.0	4.4	275
	理科二類	10.1	37.2	25.6	21.7	5.4	129
	理科三類	22.2	14.8	25.9	22.2	14.8	27
後期課程	法学部	12.3	49.1	18.4	12.3	7.9	114
	経済学部	15.2	43.0	19.0	16.5	6.3	79
	文学部	11.8	48.7	18.4	14.5	6.6	76
	教育学部	7.7	73.1	11.5	7.7	0.0	26
	教養(文系)	11.1	51.9	7.4	22.2	7.4	27
	教養(理系)	12.5	50.0	0.0	25.0	12.5	8
	理学部	19.7	50.8	18.0	9.8	1.6	61
	工学部	13.6	57.6	14.1	9.4	5.2	191
	農学部	14.3	49.4	19.5	11.7	5.2	77
	薬学部	12.5	45.8	20.8	16.7	4.2	24
医学部	7.1	30.4	28.6	28.6	5.4	56	
文科系	10.5	45.2	22.4	15.9	6.1	593	
理科系	12.4	44.9	21.9	15.7	5.1	848	
男子	10.1	37.2	27.8	18.4	6.5	554	
後期課程	12.9	48.7	17.9	14.1	6.4	559	
女子	9.1	50.3	24.5	15.4	0.7	143	
後期課程	13.9	53.8	16.8	13.3	2.3	173	

1-11表 現在のカリキュラムは消化できますか

区分	できる	まあできる	多少困難	できない	事例数	
2008年調査(58回)	% (31.6)	% (46.4)	% (19.3)	% (2.6)	人 (1,579)	
全体	31.9	46.9	18.4	2.8	1,442	
男子	32.0	47.4	17.8	2.9	1,114	
女子	31.6	45.3	20.9	2.2	316	
前期課程	文科一類	23.5	56.5	17.6	2.4	85
	文科二類	23.4	54.5	16.9	5.2	77
	文科三類	28.2	55.5	15.5	0.9	110
	理科一類	23.0	48.5	26.3	2.2	274
	理科二類	17.1	48.1	28.7	6.2	129
	理科三類	29.6	33.3	29.6	7.4	27
後期課程	法学部	29.8	43.9	21.9	4.4	114
	経済学部	46.8	38.0	13.9	1.3	79
	文学部	50.0	38.2	10.5	1.3	76
	教育学部	80.8	19.2	0.0	0.0	26
	教養(文系)	44.4	48.1	3.7	3.7	27
	教養(理系)	37.5	37.5	12.5	12.5	8
	理学部	27.9	52.5	18.0	1.6	61
	工学部	42.9	40.3	13.6	3.1	191
	農学部	37.7	51.9	10.4	0.0	77
	薬学部	37.5	58.3	4.2	0.0	24
医学部	28.6	48.2	21.4	1.8	56	
文科系	35.5	46.8	15.2	2.5	594	
理科系	29.4	46.9	20.8	3.0	847	
男子	24.4	49.6	22.7	3.2	554	
後期課程	39.5	45.1	12.9	2.5	559	
女子	18.9	53.1	25.2	2.8	143	
後期課程	42.2	38.7	17.3	1.7	173	

1-12表 教養学部前期課程の授業に満足していますか

区 分		満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不満	不満	事例数
全 体		% 10.2	% 38.0	% 23.7	% 19.8	% 8.4	人 1,445
男 子		9.3	34.9	24.9	21.1	9.8	1,118
女 子		13.7	48.6	19.0	15.6	3.2	315
前期課程	文科一類	12.6	31.0	28.7	21.8	5.7	87
	文科二類	6.5	29.9	33.8	24.7	5.2	77
	文科三類	10.1	50.5	17.4	18.3	3.7	109
	理科一類	7.7	40.5	23.0	21.5	7.3	274
	理科二類	7.7	28.5	26.9	25.4	11.5	130
	理科三類	14.8	22.2	29.6	14.8	18.5	27
後期課程	法学部	15.8	44.7	20.2	9.6	9.6	114
	経済学部	24.1	41.8	13.9	12.7	7.6	79
	文学部	10.5	35.5	22.4	17.1	14.5	76
	教育学部	15.4	46.2	34.6	0.0	3.8	26
	教養(文系)	7.4	48.1	18.5	18.5	7.4	27
	教養(理系)	0.0	50.0	25.0	12.5	12.5	8
	理学部	13.1	36.1	32.8	14.8	3.3	61
	工学部	6.8	35.9	20.3	27.1	9.9	192
	農学部	5.2	35.1	29.9	19.5	10.4	77
	薬学部	8.3	58.3	12.5	16.7	4.2	24
	医学部	12.5	32.1	23.2	21.4	10.7	56
文科系	13.1	40.5	22.7	16.3	7.4	595	
理科系	8.1	36.3	24.3	22.3	9.1	849	

1-13表 平日の夜、遅くまでキャンパス内にいることがありますか

区 分		夜9時過ぎま でいることは ない	夜9時まで	夜10時まで	夜11時まで	深夜12時過ぎ まで	事例数
全 体		% 38.0	% 24.7	% 19.5	% 7.0	% 10.8	人 1,449
男 子		39.2	23.8	18.6	7.1	11.3	1,120
女 子		33.4	28.1	22.7	6.6	9.1	317
文 科 系		42.1	28.0	21.6	4.9	3.4	596
理 科 系		35.1	22.4	17.8	8.6	16.1	852
地 区	駒場(教養)	11.3	25.0	36.8	20.6	6.3	432
	本郷	13.1	27.7	30.4	20.5	8.2	404
	弥生(農学)	11.3	22.6	24.5	30.2	11.3	53
学 年	1年	38.8	31.0	21.0	3.7	5.5	348
	2年	44.0	26.7	20.9	3.1	5.3	359
	3年	37.4	23.3	21.2	7.7	10.4	326
	4年	33.0	19.3	15.6	13.2	19.0	379
	5年	22.2	27.8	11.1	0.0	38.9	18
	6年	35.3	0.0	17.6	11.8	35.3	17

※注：「地区」は、学生の所属部局の所在地で集計

1-14表 この半年で夜9時すぎまでキャンパスにいた回数

区 分	半年で1、2回	月に1、2回	週に1、2回	週に3、4回	ほぼ毎日	事例数	
全 体	% 12.1	% 26.1	% 33.1	% 21.2	% 7.4	人 890	
男 子	12.0	26.5	31.9	21.6	8.0	675	
女 子	13.0	23.6	38.0	20.2	5.3	208	
文 科 系	12.9	28.7	35.1	17.5	5.8	342	
理 科 系	11.7	24.5	32.0	23.4	8.4	547	
地 区	駒場(教養)	11.3	25.0	36.8	20.6	6.3	432
	本郷	13.1	27.7	30.4	20.5	8.2	404
	弥生(農学)	11.3	22.6	24.5	30.2	11.3	53
学 年	1年	9.5	24.2	41.2	20.9	4.3	211
	2年	12.1	25.6	34.2	20.1	8.0	199
	3年	15.9	29.9	28.4	22.9	3.0	201
	4年	11.9	25.8	28.2	21.0	13.1	252
	5年	7.1	21.4	57.1	14.3	0.0	14
	6年	9.1	18.2	36.4	27.3	9.1	11

※注：「地区」は、学生の所属部局の所在地で集計

1-15表 冬学期が始まってから、土・日・祝日にキャンパス内にいることがありますか

区 分	いたことはない	いたことがある	事例数	回数	
全 体	% 23.3	% 76.7	人 1,433	平均 8.5	
男 子	23.3	76.7	1,107	8.5	
女 子	22.6	77.4	314	8.6	
文 科 系	24.7	75.3	590	8.1	
理 科 系	22.3	77.7	842	8.9	
学 年	1年	19.2	80.8	344	8.1
	2年	26.6	73.4	354	9.2
	3年	26.5	73.5	321	8.0
	4年	21.5	78.5	377	8.5
	5年	27.8	72.2	18	8.6
	6年	17.6	82.4	17	16.4

1-16表 学部卒業後の進路予定

区分	大学院修士課程に進学する	大学院博士課程に進学する	専門職学位課程に進学する	学士入学をする	就職する	進学も就職もしない	起業する	まだ決めていない	その他	事例数
	% 注 (52.4)	%	%	% (0.3)	% (32.5)	% (0.2)	% (0.4)	% (13.0)	% (1.2)	人 (1,579)
2008年調査(58回)										
全体	42.6	4.7	4.3	0.6	31.4	0.2	0.2	14.5	1.5	1,453
男子	44.7	5.2	4.8	0.5	28.6	0.2	0.3	14.4	1.3	1,124
女子	35.3	2.8	2.8	0.6	41.0	0.3	0.0	14.8	2.2	317
前期課程	37.8	6.8	2.7	0.3	26.1	0.1	0.1	25.4	1.3	709
後期課程	47.7	2.7	5.9	0.7	36.5	0.3	0.3	4.0	1.8	742
文科系	16.9	1.2	9.0	0.2	54.8	0.2	0.2	15.9	1.7	597
理科系	60.5	7.3	1.1	0.8	15.1	0.2	0.2	13.5	1.4	855
男子	16.3	1.0	11.0	0.0	53.3	0.2	0.2	16.3	1.7	418
女子	61.5	7.8	1.1	0.8	13.9	0.1	0.3	13.3	1.1	706
文科系	18.4	1.7	4.6	0.6	57.5	0.0	0.0	15.5	1.7	174
理科系	55.9	4.2	0.7	0.7	21.0	0.7	0.0	14.0	2.8	143

※注：2008年調査の設問では、修士課程・博士課程・専門職学位課程別に分けないで「大学院に進学する」として調査した。

1-17表 大学院進学理由

区分	より高度の知識・技術を身に付けるため	大学で教育・研究職に就くため(注)	大学外で研究職に就くため	必要な資格を得るため	良い就職先を得るため	まだ社会に出たくないから	就職先が決まらないから	周囲に勧められたから	大学院修了という社会的評価が高いから	学部での進路指導に従って	その他	事例数
	% (44.5)	% (6.8)	% (7.9)	% (9.1)	% (12.4)	% (8.2)	% (1.7)	% (1.0)	% (5.2)	% (1.2)	% (1.9)	人 (826)
2008年調査(58回)												
全体	43.6	10.4	6.4	8.5	13.5	8.2	1.0	1.3	3.9	1.9	1.3	1,334
男子	43.3	10.9	6.5	7.9	13.8	8.0	0.9	1.4	4.0	2.1	1.2	1,084
女子	44.5	8.5	6.4	11.4	11.9	9.3	1.3	0.8	3.8	1.3	0.8	236
前期課程	44.3	11.0	8.1	6.4	14.4	6.4	0.6	0.8	4.2	3.0	0.8	472
後期課程	42.5	10.8	5.1	9.2	13.4	9.3	1.1	1.8	3.8	1.5	1.5	610
男子	44.9	9.3	9.3	9.3	14.0	6.5	0.0	1.9	3.7	0.0	0.9	107
女子	44.2	7.8	3.9	13.2	10.1	11.6	2.3	0.0	3.9	2.3	0.8	129
文科系	37.9	12.3	3.1	36.4	3.1	3.6	1.0	0.5	1.0	0.0	1.0	195
理科系	44.4	10.6	7.2	1.7	16.2	9.0	0.9	1.6	4.6	2.6	1.2	889
男子	39.2	8.9	3.8	31.6	1.3	10.1	2.5	0.0	1.3	0.0	1.3	79
女子	47.1	8.3	7.6	1.3	17.2	8.9	0.6	1.3	5.1	1.9	0.6	157

注：「大学で教育・研究職に就くため」に因って2008年調査(58回)では「大学の教育職に就くため」として調査

2-1表 どのような職業に就きたいと思いますか

2-1-1表 就職希望部門

(3つまで選択)

区分	公務員	非営利団体	民間企業		自営業		起業		その他		事例数 人
			%	%	%	%	%	%			
全体	33.7	6.0	46.9	4.4	5.4	3.7	2,298				
男子	33.5	5.4	46.4	4.6	6.3	3.8	1,767				
女子	34.4	7.6	48.1	3.9	2.3	3.5	511				
前期課程	文科一類	42.2	4.8	34.0	9.5	7.5	147				
	文科二類	29.7	3.6	50.7	4.3	9.4	138				
	文科三類	40.0	8.3	41.5	3.4	4.9	205				
	理科一類	33.4	5.1	50.7	1.6	7.1	434				
	理科二類	34.9	8.3	46.3	2.3	4.6	218				
	理科三類	25.6	7.7	28.2	10.3	5.1	39				
後期課程	法学部	36.0	3.0	38.4	13.4	3.0	164				
	経済学部	24.3	5.2	61.7	2.6	3.5	115				
	文学部	30.9	10.6	49.6	4.9	3.3	123				
	教育学部	46.2	10.3	38.5	0.0	2.6	39				
	教養(文系)	33.3	7.7	46.2	2.6	5.1	39				
	教養(理系)	50.0	0.0	40.0	10.0	0.0	10				
	理学部	44.4	6.7	40.0	0.0	5.6	90				
	工学部	27.2	4.6	57.0	3.6	6.3	302				
	農学部	36.6	5.7	48.8	4.1	2.4	123				
	薬学部	37.1	2.9	54.3	5.7	0.0	35				
	医学部	23.0	6.8	27.0	9.5	4.1	74				
	文理科	35.2	6.2	44.6	6.1	5.2	2.8	970			
32.7		5.7	48.5	3.2	5.5	4.4	1,325				

2-1-2表 就職希望種

(3つまで選択)

区分	大学・公 的機関の 教育・研 究職	企業等の 研究職	技術職	事務職	販売職	教育職 (大学を 除く)	行政職	管理職	マスコミ(新聞 記者、放送記者、 アナウンサー、 プロデューサー 等)	専門職 (医師、公 法曹、公 認会計士 等)	その他	事例数
	% (184)	% (193)	% (12.7)	% (10.2)	% -	% (3.2)	% (14.2)	% -	% (6.2)	% (12.9)	% (2.8)	人 (1,585)
2008年調査(58回)												
全体	17.4	18.2	13.3	9.0	1.6	3.8	8.5	8.3	4.5	13.3	2.2	2,638
男子	18.4	19.2	14.6	7.3	1.3	3.3	8.0	8.6	3.8	13.6	1.9	2,039
女子	13.9	14.8	8.5	15.1	2.6	5.2	10.1	6.9	6.9	12.7	3.3	576
前期課程	18.6	19.6	14.5	4.9	1.4	4.3	8.8	9.1	4.7	12.2	1.9	1,082
後期課程	18.1	18.7	14.7	10.1	1.2	2.2	7.2	8.1	2.8	15.2	1.8	954
前期課程	14.3	16.5	8.6	8.6	1.1	6.1	10.8	9.3	9.0	13.3	2.5	279
後期課程	13.5	13.1	8.4	21.2	4.0	4.4	9.4	4.7	5.1	12.1	4.0	297
文科系	10.7	3.6	1.1	15.0	2.8	4.2	15.1	15.6	7.8	21.7	2.5	720
理科系	22.6	27.7	21.9	3.1	0.5	2.8	4.2	4.9	1.7	9.2	1.5	1,319
文科系	9.0	3.3	1.3	24.0	4.3	7.3	13.7	8.3	10.3	13.7	4.7	300
理科系	19.2	27.2	16.3	5.4	0.7	2.9	6.2	5.4	3.3	11.6	1.8	276

2-2表 その職業に就きたい理由

(3つまで選択)

区分	人を助けた り社会に奉 仕できる	安定した生 活が保障さ れている	十分な収 入が期待 できる	自分の特 技・能力や 専門知識が 活かせる	華やかで、 世間からも てはやされ ている	国際的 な仕事 ができる	社会的な 地位・名 声が得ら れる	組織にしば られず、自 由な活動が できる	人や組織 を動かす ことができ る	独創性や 創造性を 発揮でき る	その他	事例数
	% (192)	% (140)	% (12.3)	% (25.7)	% (0.9)	% -	% (5.2)	% (6.3)	% (3.9)	% (10.2)	% (2.3)	人 (1,560)
2008年調査(58回)												
全体	18.9	12.8	12.7	25.8	-	5.8	4.1	5.1	4.7	8.4	1.7	3,423
男子	18.2	12.2	13.3	26.1	-	4.7	4.4	5.6	4.9	9.0	1.7	2,647
女子	21.4	14.9	10.9	24.5	-	9.4	3.5	3.5	4.0	6.0	1.9	746
前期課程	16.4	13.5	14.8	25.2	-	4.1	4.5	5.7	4.7	9.5	1.5	1,307
後期課程	20.0	10.9	11.7	26.9	-	5.2	4.2	5.5	5.1	8.6	1.8	1,337
前期課程	18.0	14.7	12.1	25.4	-	9.1	4.1	3.8	4.1	6.2	2.4	339
後期課程	24.3	15.0	9.8	23.8	-	9.6	2.9	3.2	3.9	5.9	1.5	407
文科系	20.1	11.9	15.4	17.1	-	6.0	6.0	7.2	7.7	6.6	1.9	1,030
理科系	17.0	12.4	11.9	31.8	-	3.8	3.3	4.5	3.2	10.6	1.5	1,617
文科系	22.9	16.7	11.7	17.7	-	12.4	4.1	2.9	4.8	4.5	2.4	419
理科系	19.6	12.5	9.8	33.3	-	5.5	2.8	4.3	3.1	8.0	1.2	327

3-1表 現在の学生生活の中で、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか

3-1-1表 勉学（成績・単位など）

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり 悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (25.6)	% (41.8)	% (24.8)	% (7.9)	人 (1,574)
全 体		27.4	41.0	23.5	8.1	1,452
男 子		25.7	41.4	24.6	8.3	1,120
女 子		33.5	40.4	19.1	6.9	319
男子	前期課程	28.1	43.8	22.5	5.5	559
	後期課程	23.4	39.1	26.4	11.1	560
女子	前期課程	40.0	40.7	15.2	4.1	145
	後期課程	28.2	40.2	22.4	9.2	174
男子	文科系	28.5	40.4	24.2	6.9	418
	理科系	24.1	42.0	24.8	9.1	702
女子	文科系	30.3	40.0	22.9	6.9	175
	理科系	37.5	41.0	14.6	6.9	144
男子	自宅	24.3	39.2	27.7	8.7	530
	自宅外	27.0	43.3	21.8	8.0	578
女子	自宅	31.4	41.0	22.4	5.1	156
	自宅外	35.4	39.8	16.1	8.7	161

3-1-2表 学部進学や大学院進学

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり 悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (24.5)	% (34.2)	% (27.1)	% (14.1)	人 (1,571)
全 体		26.7	34.8	25.5	13.0	1,451
男 子		26.0	34.8	26.4	12.8	1,118
女 子		29.4	35.3	22.2	13.1	320
男子	前期課程	27.4	39.7	24.7	8.2	559
	後期課程	24.7	29.9	28.0	17.4	558
女子	前期課程	37.7	36.3	23.3	2.7	146
	後期課程	22.4	34.5	21.3	21.8	174
男子	文科系	27.6	29.7	25.4	17.3	417
	理科系	25.1	37.8	27.0	10.1	701
女子	文科系	30.1	33.5	20.5	15.9	176
	理科系	28.5	37.5	24.3	9.7	144
男子	自宅	24.2	34.6	28.5	12.7	529
	自宅外	27.4	35.2	24.6	12.8	577
女子	自宅	32.1	34.6	23.1	10.3	156
	自宅外	27.2	36.4	21.0	15.4	162

3-1-3表 就職

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (32.0)	% (36.8)	% (22.8)	% (8.4)	人 (1,571)
全 体		34.7	36.8	20.1	8.3	1,452
男 子		31.8	38.1	21.0	9.1	1,120
女 子		44.8	32.0	17.2	6.0	319
男子	前期課程	26.7	43.6	22.0	7.7	559
	後期課程	37.0	32.7	19.8	10.5	560
女子	前期課程	37.0	34.2	24.7	4.1	146
	後期課程	51.4	30.1	11.0	7.5	173
男子	文科系	37.6	39.5	16.7	6.2	418
	理科系	28.3	37.3	23.5	10.8	702
女子	文科系	50.3	32.6	10.9	6.3	175
	理科系	38.2	31.3	25.0	5.6	144
男子	自宅	29.1	38.5	23.0	9.4	530
	自宅外	34.4	37.7	19.0	8.8	578
女子	自宅	44.5	28.4	20.6	6.5	155
	自宅外	44.4	35.8	14.2	5.6	162

3-1-4表 将来の進路や生き方

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (46.6)	% (36.5)	% (13.7)	% (3.2)	人 (1,574)
全 体		46.3	36.5	12.7	4.5	1,453
男 子		43.4	38.2	13.1	5.3	1,119
女 子		56.9	31.3	10.3	1.6	320
男子	前期課程	39.8	41.9	13.3	5.0	558
	後期課程	47.1	34.5	12.9	5.5	560
女子	前期課程	50.7	34.9	12.3	2.1	146
	後期課程	62.1	28.2	8.6	1.1	174
男子	文科系	48.0	35.7	12.5	3.8	417
	理科系	40.7	39.6	13.5	6.1	702
女子	文科系	57.4	31.8	9.7	1.1	176
	理科系	56.3	30.6	11.1	2.1	144
男子	自宅	41.0	38.6	15.7	4.7	529
	自宅外	46.2	37.2	10.9	5.7	578
女子	自宅	51.3	33.3	14.1	1.3	156
	自宅外	61.7	29.6	6.8	1.9	162

3-1-5表 友人との対人関係

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (13.6)	% (30.8)	% (40.3)	% (15.3)	人 (1,574)
全 体		12.9	28.1	41.3	17.6	1,454
男 子		12.9	27.9	40.7	18.5	1,120
女 子		13.4	29.6	42.7	14.3	321
男子	前期課程	14.8	27.4	42.2	15.6	559
	後期課程	11.1	28.4	39.1	21.4	560
女子	前期課程	15.0	28.6	42.9	13.6	147
	後期課程	12.1	30.5	42.5	14.9	174
男子	文科系	12.4	27.3	42.6	17.7	418
	理科系	13.2	28.2	39.6	18.9	702
女子	文科系	11.9	29.4	43.5	15.3	177
	理科系	15.3	29.9	41.7	13.2	144
男子	自宅	12.3	29.4	39.1	19.2	530
	自宅外	13.8	25.8	42.7	17.6	578
女子	自宅	10.3	26.9	50.0	12.8	156
	自宅外	16.0	32.5	35.6	16.0	163

3-1-6表 教職員との対人関係

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (2.3)	% (7.5)	% (38.6)	% (51.5)	人 (1,575)
全 体		2.5	7.8	37.7	52.1	1,450
男 子		2.5	7.7	37.5	52.3	1,119
女 子		2.2	8.5	38.4	50.9	318
男子	前期課程	1.6	4.8	37.0	56.5	559
	後期課程	3.4	10.6	37.9	48.1	559
女子	前期課程	2.1	4.9	29.2	63.9	144
	後期課程	2.3	11.5	46.0	40.2	174
男子	文科系	1.0	7.4	32.6	59.0	417
	理科系	3.4	7.8	40.5	48.3	702
女子	文科系	2.9	5.1	38.3	53.7	175
	理科系	1.4	12.6	38.5	47.6	143
男子	自宅	2.5	7.2	36.0	54.3	530
	自宅外	2.4	7.8	38.6	51.1	577
女子	自宅	2.6	7.7	34.8	54.8	155
	自宅外	1.9	9.3	41.6	47.2	161

3-1-7表 性・異性・恋愛・結婚

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (21.0)	% (39.8)	% (28.7)	% (10.5)	人 (1,574)
全 体		20.4	35.1	31.7	12.8	1,453
男 子		20.6	33.7	31.6	14.1	1,120
女 子		20.0	40.6	30.9	8.4	320
男子	前期課程	21.3	36.3	30.8	11.6	559
	後期課程	20.0	31.1	32.3	16.6	560
女子	前期課程	19.9	41.8	30.8	7.5	146
	後期課程	20.1	39.7	31.0	9.2	174
男子	文科系	19.6	35.4	32.3	12.7	418
	理科系	21.2	32.6	31.2	15.0	702
女子	文科系	21.6	39.8	30.1	8.5	176
	理科系	18.1	41.7	31.9	8.3	144
男子	自宅	19.8	35.7	31.1	13.4	530
	自宅外	21.6	31.7	32.2	14.5	578
女子	自宅	13.5	42.9	34.0	9.6	156
	自宅外	25.9	38.9	27.8	7.4	162

3-1-8表 経済的なことや経済的自立

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (25.2)	% (40.4)	% (26.4)	% (8.0)	人 (1,572)
全 体		22.3	41.6	26.5	9.6	1,453
男 子		21.9	42.2	26.3	9.6	1,120
女 子		24.1	40.0	26.3	9.7	320
男子	前期課程	20.2	45.8	25.4	8.6	559
	後期課程	23.6	38.8	27.3	10.4	560
女子	前期課程	20.5	45.9	25.3	8.2	146
	後期課程	27.0	35.1	27.0	10.9	174
男子	文科系	20.1	43.5	27.0	9.3	418
	理科系	22.9	41.5	25.9	9.7	702
女子	文科系	24.4	40.3	27.3	8.0	176
	理科系	23.6	39.6	25.0	11.8	144
男子	自宅	18.7	43.0	27.7	10.6	530
	自宅外	24.7	41.2	25.4	8.7	578
女子	自宅	19.2	39.7	30.8	10.3	156
	自宅外	29.0	40.7	21.0	9.3	162

3-1-9表 自分の性格

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり 悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (23.8)	% (33.7)	% (30.0)	% (12.5)	人 (1,575)
全 体		21.7	32.7	31.4	14.2	1,454
男 子		20.9	31.3	32.6	15.2	1,120
女 子		25.2	37.7	26.8	10.3	321
男子	前期課程	21.6	32.4	33.8	12.2	559
	後期課程	20.2	30.4	31.4	18.0	560
女子	前期課程	27.4	39.0	24.7	8.9	146
	後期課程	23.4	36.6	28.6	11.4	175
男子	文科系	19.9	33.3	31.3	15.6	418
	理科系	21.5	30.2	33.3	15.0	702
女子	文科系	23.9	38.1	27.8	10.2	176
	理科系	26.9	37.2	25.5	10.3	145
男子	自宅	20.9	31.3	32.1	15.7	530
	自宅外	21.3	30.8	33.4	14.5	578
女子	自宅	20.4	43.9	27.4	8.3	157
	自宅外	29.0	32.1	26.5	12.3	162

3-1-10表 自分の体調や健康

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり 悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (11.5)	% (27.1)	% (39.6)	% (21.8)	人 (1,571)
全 体		9.8	24.7	41.8	23.7	1,454
男 子		9.3	23.0	42.9	24.8	1,120
女 子		11.5	31.2	38.0	19.3	321
男子	前期課程	10.0	22.8	43.2	24.0	558
	後期課程	8.6	23.4	42.6	25.5	561
女子	前期課程	11.6	28.8	41.1	18.5	146
	後期課程	11.4	33.1	35.4	20.0	175
男子	文科系	8.2	24.2	44.1	23.5	417
	理科系	10.0	22.3	42.1	25.6	703
女子	文科系	11.9	31.3	37.5	19.3	176
	理科系	11.0	31.0	38.6	19.3	145
男子	自宅	10.2	22.3	42.5	25.0	529
	自宅外	8.5	23.7	43.0	24.9	579
女子	自宅	9.6	28.0	42.0	20.4	157
	自宅外	13.0	34.6	34.0	18.5	162

3-1-11表 人生の意義・目標

区 分		よく悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
2008年調査 (58回)		% (26.5)	% (35.3)	% (27.4)	% (10.7)	人 (1,566)
全 体		24.8	36.6	25.8	12.7	1,429
男 子		24.2	35.9	25.6	14.3	1,100
女 子		27.8	39.6	25.6	7.0	316
男子	前期課程	24.3	33.9	28.4	13.4	552
	後期課程	24.1	38.0	22.9	15.0	547
女子	前期課程	30.6	38.2	24.3	6.9	144
	後期課程	25.6	40.7	26.7	7.0	172
男子	文科系	24.9	38.6	23.2	13.2	409
	理科系	23.7	34.3	27.1	14.9	691
女子	文科系	29.7	38.3	26.3	5.7	175
	理科系	25.5	41.1	24.8	8.5	141
男子	自宅	23.7	36.2	25.2	15.0	520
	自宅外	25.0	35.6	25.9	13.6	568
女子	自宅	23.5	39.9	30.7	5.9	153
	自宅外	31.1	39.8	21.1	8.1	161

3-2表 あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか

3-2-1表 父・母

区 分		よく相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (15.3)	% (27.0)	% (34.6)	% (23.1)	人 (1,572)
全 体		18.5	24.6	35.4	21.5	1,451
男 子		13.9	23.6	38.6	23.9	1,118
女 子		34.7	28.4	23.8	13.1	320
男子	前期課程	14.0	26.0	37.1	22.9	558
	後期課程	13.8	21.3	40.1	24.9	559
女子	前期課程	37.0	21.9	26.0	15.1	146
	後期課程	32.8	33.9	21.8	11.5	174
男子	文科系	13.9	26.8	35.6	23.7	418
	理科系	13.9	21.7	40.4	24.0	700
女子	文科系	30.7	34.7	24.4	10.2	176
	理科系	39.6	20.8	22.9	16.7	144
男子	自宅	15.0	25.4	39.6	20.1	528
	自宅外	12.6	21.8	38.1	27.5	578
女子	自宅	40.4	25.6	23.1	10.9	156
	自宅外	29.0	31.5	24.7	14.8	162

3-2-2表 兄弟・姉妹

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (4.1)	% (9.7)	% (22.8)	% (63.4)	人 (1,545)
全 体		4.1	8.0	19.1	68.8	1,431
男 子		2.6	7.7	19.1	70.6	1,108
女 子		9.7	9.0	19.4	61.9	310
男子	前期課程	2.7	8.1	19.0	70.2	554
	後期課程	2.5	7.2	19.3	70.9	553
女子	前期課程	9.2	8.5	22.0	60.3	141
	後期課程	10.1	9.5	17.2	63.3	169
男子	文科系	2.4	7.5	17.5	72.5	411
	理科系	2.7	7.7	20.1	69.4	697
女子	文科系	8.1	8.7	21.5	61.6	172
	理科系	11.6	9.4	16.7	62.3	138
男子	自宅	3.1	8.1	19.6	69.2	520
	自宅外	2.1	7.3	18.6	72.0	576
女子	自宅	11.4	9.4	17.4	61.7	149
	自宅外	8.2	8.8	21.4	61.6	159

3-2-3表 なんでも相談コーナー・学生相談所等

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (0.8)	% (1.2)	% (5.5)	% (92.5)	人 (1,569)
全 体		1.1	1.4	5.6	91.9	1,448
男 子		1.1	1.5	4.7	92.7	1,116
女 子		1.3	0.9	8.2	89.7	319
男子	前期課程	1.4	0.9	4.3	93.4	557
	後期課程	0.7	2.2	5.2	91.9	558
女子	前期課程	2.1	0.7	2.1	95.2	146
	後期課程	0.6	1.2	13.3	85.0	173
男子	文科系	1.0	2.4	6.0	90.6	417
	理科系	1.1	1.0	4.0	93.8	699
女子	文科系	1.1	1.7	9.7	87.5	176
	理科系	1.4	0.0	6.3	92.3	143
男子	自宅	1.1	1.5	5.5	91.9	528
	自宅外	1.0	1.4	4.0	93.6	576
女子	自宅	0.6	0.6	9.0	89.7	155
	自宅外	1.9	1.2	6.2	90.7	162

3-2-4表 大学の教職員

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (0.6)	% (2.2)	% (14.6)	% (82.6)	人 (1,566)
全 体		0.6	2.1	13.5	83.8	1,448
男 子		0.4	2.5	12.8	84.4	1,119
女 子		1.3	0.9	15.5	82.3	316
男子	前期課程	0.2	1.6	6.1	92.1	559
	後期課程	0.5	3.4	19.3	76.7	559
女子	前期課程	0.0	0.7	4.2	95.1	144
	後期課程	2.3	1.2	25.0	71.5	172
男子	文科系	0.2	2.4	10.3	87.1	418
	理科系	0.4	2.6	14.3	82.7	701
女子	文科系	1.1	1.7	14.9	82.2	174
	理科系	1.4	0.0	16.2	82.4	142
男子	自宅	0.6	2.1	12.9	84.5	528
	自宅外	0.2	2.6	12.8	84.5	579
女子	自宅	1.3	1.3	14.9	82.5	154
	自宅外	1.3	0.6	15.6	82.5	160

3-2-5表 大学内の同じ学科や研究室の友人

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (10.8)	% (26.4)	% (34.9)	% (27.9)	人 (1,571)
全 体		10.3	25.0	35.7	29.0	1,450
男 子		7.6	24.4	35.6	32.4	1,117
女 子		19.7	27.5	35.9	16.9	320
男子	前期課程	7.9	24.4	32.5	35.2	557
	後期課程	7.3	24.3	38.6	29.7	559
女子	前期課程	18.5	24.7	37.7	19.2	146
	後期課程	20.7	29.9	34.5	14.9	174
男子	文科系	7.0	25.7	35.0	32.4	417
	理科系	8.0	23.6	36.0	32.4	700
女子	文科系	21.6	29.0	29.5	19.9	176
	理科系	17.4	25.7	43.8	13.2	144
男子	自宅	8.0	22.9	34.5	34.7	528
	自宅外	7.5	25.3	37.1	30.2	577
女子	自宅	19.9	29.5	39.7	10.9	156
	自宅外	19.8	25.3	32.7	22.2	162

3-2-6表 大学内のサークルや団体の友人

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (14.0)	% (26.9)	% (27.8)	% (31.3)	人 (1,569)
全 体		13.6	25.2	29.7	31.5	1,446
男 子		12.2	23.6	30.4	33.8	1,114
女 子		18.2	31.0	26.6	24.1	319
男子	前期課程	13.5	24.7	31.7	30.1	555
	後期課程	10.9	22.6	29.2	37.3	558
女子	前期課程	16.4	28.1	28.8	26.7	146
	後期課程	19.7	33.5	24.9	22.0	173
男子	文科系	13.2	24.7	28.8	33.3	417
	理科系	11.6	23.0	31.4	34.0	697
女子	文科系	22.2	31.8	23.9	22.2	176
	理科系	13.3	30.1	30.1	26.6	143
男子	自宅	12.9	24.1	31.3	31.8	528
	自宅外	11.8	23.1	29.7	35.3	575
女子	自宅	17.4	33.5	29.0	20.0	155
	自宅外	19.1	27.8	24.7	28.4	162

3-2-7表 大学外の友人

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (11.0)	% (26.4)	% (35.2)	% (27.4)	人 (1,568)
全 体		10.5	24.1	33.9	31.5	1,452
男 子		8.9	22.5	35.1	33.6	1,118
女 子		16.5	30.2	29.6	23.7	321
男子	前期課程	10.9	24.2	32.0	32.9	559
	後期課程	6.8	20.8	38.2	34.2	558
女子	前期課程	16.4	31.5	25.3	26.7	146
	後期課程	16.6	29.1	33.1	21.1	175
男子	文科系	8.8	27.2	36.5	27.4	419
	理科系	8.9	19.6	34.2	37.3	699
女子	文科系	18.2	33.5	25.6	22.7	176
	理科系	14.5	26.2	34.5	24.8	145
男子	自宅	8.9	24.8	34.1	32.2	528
	自宅外	8.8	20.2	35.9	35.1	579
女子	自宅	17.8	28.7	32.5	21.0	157
	自宅外	15.4	31.5	27.2	25.9	162

3-2-8表 先輩

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (7.2)	% (18.1)	% (32.7)	% (42.1)	人 (1,568)
全 体		5.5	19.0	31.9	43.6	1,449
男 子		5.4	16.8	32.3	45.5	1,118
女 子		6.0	27.0	29.9	37.1	318
男子	前期課程	5.2	16.8	31.0	47.0	558
	後期課程	5.5	16.8	33.5	44.2	559
女子	前期課程	3.4	26.2	27.6	42.8	145
	後期課程	8.1	27.7	31.8	32.4	173
男子	文科系	6.2	18.7	30.1	45.0	418
	理科系	4.9	15.7	33.6	45.9	700
女子	文科系	7.4	28.0	28.6	36.0	175
	理科系	4.2	25.9	31.5	38.5	143
男子	自宅	5.5	17.0	32.2	45.3	528
	自宅外	5.4	16.1	32.9	45.7	578
女子	自宅	5.2	27.1	29.0	38.7	155
	自宅外	6.8	27.3	30.4	35.4	161

3-2-9表 恋人

区 分		よく相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2008年調査 (58回)		% (12.3)	% (12.7)	% (14.3)	% (60.7)	人 (1,533)
全 体		11.1	12.9	14.3	61.8	1,407
男 子		7.0	11.9	14.3	66.9	1,086
女 子		25.6	16.2	13.6	44.7	309
男子	前期課程	4.8	7.4	13.3	74.6	543
	後期課程	9.2	16.4	15.1	59.2	542
女子	前期課程	17.6	14.1	14.8	53.5	142
	後期課程	32.3	18.0	12.6	37.1	167
男子	文科系	7.0	12.4	17.4	63.2	402
	理科系	7.0	11.5	12.4	69.0	684
女子	文科系	26.7	16.9	16.3	40.1	172
	理科系	24.1	15.3	10.2	50.4	137
男子	自宅	6.3	10.2	16.4	67.1	511
	自宅外	7.6	13.5	12.2	66.7	564
女子	自宅	23.0	16.2	14.9	45.9	148
	自宅外	27.7	16.4	12.6	43.4	159

3-3表 最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか

3-3-1表 強い不安に襲われた

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (19.7)	% (32.9)	% (23.3)	% (24.0)	人 (1,575)
全 体		15.4	33.8	24.6	26.2	1,436
男 子		14.7	32.7	24.9	27.6	1,107
女 子		17.4	38.3	23.4	20.9	316
男子	前期課程	13.0	32.1	26.7	28.2	554
	後期課程	16.5	33.3	23.1	27.1	553
女子	前期課程	14.5	35.2	25.5	24.8	145
	後期課程	19.9	40.9	21.6	17.5	171
男子	文科系	17.0	36.7	25.2	21.1	412
	理科系	13.4	30.4	24.7	31.5	695
女子	文科系	17.8	44.3	22.4	15.5	174
	理科系	16.9	31.0	24.6	27.5	142
男子	自宅	14.5	33.2	23.9	28.4	524
	自宅外	15.2	31.9	25.8	27.1	573
女子	自宅	16.2	33.1	24.7	26.0	154
	自宅外	18.0	43.5	22.4	16.1	161

3-3-2表 自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (11.3)	% (22.2)	% (30.9)	% (35.7)	人 (1,577)
全 体		8.8	21.3	29.2	40.6	1,436
男 子		9.3	22.1	29.4	39.2	1,107
女 子		7.0	18.7	29.1	45.3	316
男子	前期課程	9.2	20.8	32.5	37.5	554
	後期課程	9.4	23.5	26.2	40.9	553
女子	前期課程	8.3	16.6	31.0	44.1	145
	後期課程	5.8	20.5	27.5	46.2	171
男子	文科系	10.0	22.6	29.6	37.9	412
	理科系	8.9	21.9	29.2	40.0	695
女子	文科系	8.0	17.8	32.2	42.0	174
	理科系	5.6	19.7	25.4	49.3	142
男子	自宅	9.0	20.6	31.3	39.1	524
	自宅外	9.8	23.6	27.6	39.1	573
女子	自宅	5.2	15.6	31.8	47.4	154
	自宅外	8.7	21.1	26.7	43.5	161

3-3-3表 人と話していても緊張したり、不安を感じた

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (11.8)	% (28.8)	% (31.5)	% (28.0)	人 (1,575)
全 体		8.1	27.2	33.4	31.3	1,436
男 子		7.5	27.9	34.1	30.5	1,107
女 子		10.1	25.0	31.3	33.5	316
男子	前期課程	8.5	27.3	35.6	28.7	554
	後期課程	6.5	28.6	32.5	32.4	553
女子	前期課程	11.7	20.7	28.3	39.3	145
	後期課程	8.8	28.7	33.9	28.7	171
男子	文科系	7.3	28.9	34.0	29.9	412
	理科系	7.6	27.3	34.1	30.9	695
女子	文科系	8.6	27.6	32.8	31.0	174
	理科系	12.0	21.8	29.6	36.6	142
男子	自宅	8.6	25.4	34.7	31.3	524
	自宅外	6.6	30.5	33.3	29.5	573
女子	自宅	6.5	25.3	32.5	35.7	154
	自宅外	13.7	24.8	30.4	31.1	161

3-3-4表 他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (5.9)	% (13.0)	% (27.4)	% (53.7)	人 (1,575)
全 体		3.6	10.5	25.7	60.2	1,436
男 子		3.8	11.2	26.5	58.5	1,107
女 子		2.8	8.5	23.7	64.9	316
男子	前期課程	4.5	10.3	28.2	57.0	554
	後期課程	3.1	12.1	24.8	60.0	553
女子	前期課程	2.8	9.0	25.5	62.8	145
	後期課程	2.9	8.2	22.2	66.7	171
男子	文科系	3.4	10.4	27.9	58.3	412
	理科系	4.0	11.7	25.6	58.7	695
女子	文科系	1.7	8.6	22.4	67.2	174
	理科系	4.2	8.5	25.4	62.0	142
男子	自宅	3.1	11.5	26.9	58.6	524
	自宅外	4.5	10.8	26.0	58.6	573
女子	自宅	3.9	7.8	21.4	66.9	154
	自宅外	1.9	9.3	26.1	62.7	161

3-3-5表 バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのがこわかった

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (1.4)	% (3.1)	% (11.3)	% (84.2)	人 (1,575)
全 体		1.1	2.4	9.5	86.9	1,437
男 子		1.1	2.7	9.1	87.1	1,108
女 子		1.3	1.3	11.4	86.1	316
男子	前期課程	1.6	2.9	9.9	85.6	554
	後期課程	0.5	2.5	8.3	88.6	554
女子	前期課程	2.1	2.1	11.0	84.8	145
	後期課程	0.6	0.6	11.7	87.1	171
男子	文科系	1.5	2.7	9.5	86.4	412
	理科系	0.9	2.7	8.9	87.5	696
女子	文科系	0.6	1.7	8.6	89.1	174
	理科系	2.1	0.7	14.8	82.4	142
男子	自宅	0.6	3.6	7.2	88.6	525
	自宅外	1.6	1.9	10.5	86.0	573
女子	自宅	0.6	0.0	10.4	89.0	154
	自宅外	1.9	2.5	12.4	83.2	161

3-3-6表 気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (11.7)	% (29.7)	% (26.3)	% (32.3)	人 (1,574)
全 体		9.6	27.8	26.3	36.3	1,436
男 子		8.8	25.8	27.0	38.4	1,107
女 子		12.3	34.8	23.7	29.1	316
男子	前期課程	9.4	27.8	27.6	35.2	554
	後期課程	8.1	23.9	26.4	41.6	553
女子	前期課程	11.7	33.8	22.1	32.4	145
	後期課程	12.9	35.7	25.1	26.3	171
男子	文科系	8.7	25.0	28.6	37.6	412
	理科系	8.8	26.3	26.0	38.8	695
女子	文科系	13.2	34.5	23.6	28.7	174
	理科系	11.3	35.2	23.9	29.6	142
男子	自宅	8.8	23.7	28.1	39.5	524
	自宅外	8.9	27.6	26.2	37.3	573
女子	自宅	6.5	29.9	31.8	31.8	154
	自宅外	18.0	39.8	15.5	26.7	161

3-3-7表 人と一緒にいてもさびしい感じがした

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (9.6)	% (23.7)	% (27.0)	% (39.7)	人 (1,572)
全 体		6.1	22.7	27.1	44.1	1,436
男 子		5.6	20.6	27.7	46.1	1,107
女 子		8.2	30.1	25.6	36.1	316
男子	前期課程	7.2	22.0	29.8	41.0	554
	後期課程	4.0	19.2	25.7	51.2	553
女子	前期課程	9.7	30.3	22.8	37.2	145
	後期課程	7.0	29.8	28.1	35.1	171
男子	文科系	5.6	21.6	30.8	42.0	412
	理科系	5.6	20.0	25.9	48.5	695
女子	文科系	6.9	29.9	26.4	36.8	174
	理科系	9.9	30.3	24.6	35.2	142
男子	自宅	5.5	21.0	28.8	44.7	524
	自宅外	5.8	20.2	26.5	47.5	573
女子	自宅	6.5	27.9	25.3	40.3	154
	自宅外	9.9	32.3	25.5	32.3	161

3-3-8表 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (3.0)	% (8.0)	% (17.0)	% (72.0)	人 (1,574)
全 体		2.1	5.6	16.4	76.0	1,436
男 子		2.1	5.0	16.3	76.7	1,107
女 子		2.2	7.9	17.1	72.8	316
男子	前期課程	2.0	4.5	16.2	77.3	554
	後期課程	2.2	5.4	16.3	76.1	553
女子	前期課程	2.8	7.6	13.1	76.6	145
	後期課程	1.8	8.2	20.5	69.6	171
男子	文科系	1.7	5.1	17.0	76.2	412
	理科系	2.3	4.9	15.8	77.0	695
女子	文科系	1.7	7.5	13.2	77.6	174
	理科系	2.8	8.5	21.8	66.9	142
男子	自宅	1.9	5.5	18.1	74.4	524
	自宅外	2.3	4.4	14.5	78.9	573
女子	自宅	3.2	6.5	14.3	76.0	154
	自宅外	1.2	9.3	19.9	69.6	161

3-3-9表 イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (6.9)	% (19.0)	% (24.3)	% (49.7)	人 (1,577)
全 体		5.6	18.0	25.2	51.2	1,435
男 子		5.7	17.1	24.9	52.4	1,106
女 子		5.7	21.2	26.6	46.5	316
男子	前期課程	5.8	15.9	26.6	51.7	553
	後期課程	5.6	18.3	23.1	53.0	553
女子	前期課程	4.8	20.7	26.2	48.3	145
	後期課程	6.4	21.6	26.9	45.0	171
男子	文科系	5.8	17.5	25.0	51.7	412
	理科系	5.6	16.9	24.8	52.7	694
女子	文科系	4.6	20.7	27.6	47.1	174
	理科系	7.0	21.8	25.4	45.8	142
男子	自宅	5.5	18.2	24.9	51.4	523
	自宅外	5.9	16.1	24.6	53.4	573
女子	自宅	5.8	18.8	27.9	47.4	154
	自宅外	5.6	23.6	24.8	46.0	161

3-3-10表 やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (12.1)	% (27.1)	% (25.8)	% (35.1)	人 (1,575)
全 体		11.1	26.1	26.3	36.5	1,436
男 子		10.6	25.1	27.3	37.0	1,107
女 子		12.7	30.1	22.8	34.5	316
男子	前期課程	11.6	22.4	31.4	34.7	554
	後期課程	9.6	27.8	23.1	39.4	553
女子	前期課程	11.7	24.8	22.8	40.7	145
	後期課程	13.5	34.5	22.8	29.2	171
男子	文科系	10.9	24.5	26.9	37.6	412
	理科系	10.4	25.5	27.5	36.7	695
女子	文科系	12.6	29.3	24.1	33.9	174
	理科系	12.7	31.0	21.1	35.2	142
男子	自宅	9.7	24.2	28.8	37.2	524
	自宅外	11.5	25.7	25.8	37.0	573
女子	自宅	6.5	28.6	26.0	39.0	154
	自宅外	18.6	31.7	19.3	30.4	161

3-3-11表 ついつい過食してしまう傾向があった

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (8.9)	% (20.8)	% (23.6)	% (46.7)	人 (1,579)
全 体		7.8	19.1	23.5	49.6	1,436
男 子		6.4	16.2	23.3	54.1	1,107
女 子		13.0	29.7	24.4	32.9	316
男子	前期課程	6.9	18.4	22.6	52.2	554
	後期課程	6.0	13.9	24.1	56.1	553
女子	前期課程	13.1	34.5	21.4	31.0	145
	後期課程	12.9	25.7	26.9	34.5	171
男子	文科系	6.6	18.2	23.3	51.9	412
	理科系	6.3	15.0	23.3	55.4	695
女子	文科系	12.1	29.9	27.0	31.0	174
	理科系	14.1	29.6	21.1	35.2	142
男子	自宅	5.3	13.0	21.0	60.7	524
	自宅外	7.5	19.0	25.1	48.3	573
女子	自宅	8.4	32.5	22.7	36.4	154
	自宅外	17.4	27.3	25.5	29.8	161

3-3-12表 食欲がなくなり、食べ物を口にしたくないと思った

区 分		よく体験した	時に体験した	あまり体験 しなかった	全く体験 しなかった	事例数
2008年調査 (58回)		% (2.8)	% (10.1)	% (21.3)	% (65.8)	人 (1,574)
全 体		2.0	9.3	18.7	70.0	1,433
男 子		2.0	8.3	16.7	73.0	1,105
女 子		2.2	13.0	25.4	59.4	315
男子	前期課程	2.2	7.8	17.0	73.1	553
	後期課程	1.8	8.9	16.3	73.0	552
女子	前期課程	0.7	9.0	28.3	62.1	145
	後期課程	3.5	16.5	22.9	57.1	170
男子	文科系	1.2	7.5	17.3	74.0	411
	理科系	2.4	8.8	16.3	72.5	694
女子	文科系	1.7	13.3	26.0	59.0	173
	理科系	2.8	12.7	24.6	59.9	142
男子	自宅	2.7	6.5	17.6	73.2	523
	自宅外	1.4	9.8	15.7	73.1	572
女子	自宅	2.6	7.8	24.7	64.9	154
	自宅外	1.9	18.1	26.3	53.8	160

3-4表 悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか

3-4-1表 学生が教員や職員と接触する機会を増やす

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (7.9)	% (32.0)	% (36.3)	% (23.9)	人 (1,572)
全 体		6.9	31.5	36.2	25.3	1,432
男 子		6.8	30.8	35.4	26.9	1,103
女 子		7.3	34.2	38.9	19.6	316
男子	前期課程	7.1	28.8	34.2	30.0	553
	後期課程	6.5	32.9	36.7	23.8	550
女子	前期課程	9.0	33.1	35.9	22.1	145
	後期課程	5.8	35.1	41.5	17.5	171
男子	文科系	8.0	30.0	35.9	26.1	410
	理科系	6.1	31.3	35.2	27.4	693
女子	文科系	6.9	36.2	38.5	18.4	174
	理科系	7.7	31.7	39.4	21.1	142
男子	自宅	6.3	31.9	35.9	25.8	523
	自宅外	7.4	29.8	34.9	27.9	570
女子	自宅	8.4	35.1	39.0	17.5	154
	自宅外	6.2	33.5	38.5	21.7	161

3-4-2表 教務課や学生課などの事務機能を充実させる

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (8.2)	% (27.6)	% (39.5)	% (24.7)	人 (1,571)
全 体		7.8	27.3	39.5	25.4	1,431
男 子		7.8	26.3	38.9	27.0	1,102
女 子		7.9	30.1	41.8	20.3	316
男子	前期課程	9.6	27.5	37.3	25.5	552
	後期課程	6.0	25.1	40.5	28.4	550
女子	前期課程	5.5	29.0	42.1	23.4	145
	後期課程	9.9	31.0	41.5	17.5	171
男子	文科系	9.8	27.6	37.7	24.9	409
	理科系	6.6	25.5	39.7	28.1	693
女子	文科系	8.6	27.6	46.6	17.2	174
	理科系	7.0	33.1	35.9	23.9	142
男子	自宅	7.5	26.8	40.5	25.2	523
	自宅外	7.9	25.8	37.8	28.5	569
女子	自宅	8.4	33.1	42.2	16.2	154
	自宅外	7.5	27.3	41.0	24.2	161

3-4-3表 クラス担任制度やチューター制度を充実させる

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (7.7)	% (23.8)	% (39.6)	% (28.9)	人 (1,572)
全 体		7.3	22.0	39.9	30.8	1,430
男 子		6.9	20.7	39.3	33.1	1,101
女 子		8.9	26.6	41.1	23.4	316
男子	前期課程	9.1	21.0	38.0	31.9	552
	後期課程	4.7	20.4	40.6	34.2	549
女子	前期課程	7.6	29.7	40.0	22.8	145
	後期課程	9.9	24.0	42.1	24.0	171
男子	文科系	9.1	21.6	40.0	29.4	408
	理科系	5.6	20.2	39.0	35.2	693
女子	文科系	9.8	26.4	40.8	23.0	174
	理科系	7.7	26.8	41.5	23.9	142
男子	自宅	6.3	20.5	40.0	33.3	523
	自宅外	7.6	20.8	38.7	32.9	568
女子	自宅	12.3	24.7	42.9	20.1	154
	自宅外	5.6	28.6	39.1	26.7	161

3-4-4表 学習方法や学習内容について相談機能を充実させる

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (10.1)	% (34.6)	% (33.7)	% (21.7)	人 (1,572)
全 体		9.7	35.8	33.3	21.2	1,432
男 子		8.5	35.0	33.4	23.1	1,103
女 子		14.2	37.7	34.2	13.9	316
男子	前期課程	8.5	37.1	32.2	22.2	553
	後期課程	8.5	32.9	34.5	24.0	550
女子	前期課程	14.5	36.6	34.5	14.5	145
	後期課程	14.0	38.6	33.9	13.5	171
男子	文科系	9.5	36.6	32.4	21.5	410
	理科系	7.9	34.1	33.9	24.1	693
女子	文科系	13.8	40.8	32.8	12.6	174
	理科系	14.8	33.8	35.9	15.5	142
男子	自宅	8.6	34.8	34.8	21.8	523
	自宅外	8.2	35.3	32.3	24.2	570
女子	自宅	14.3	40.9	33.8	11.0	154
	自宅外	14.3	34.2	34.8	16.8	161

3-4-5表 学部進学や大学院進学について相談機能を充実させる

区分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (16.3)	% (44.3)	% (22.8)	% (16.7)	人 (1,568)
全 体		18.1	42.1	22.8	17.0	1,431
男 子		16.5	40.7	23.1	19.7	1,102
女 子		24.1	45.9	22.2	7.9	316
男子	前期課程	17.0	43.6	21.2	18.3	553
	後期課程	16.0	37.7	25.1	21.1	549
女子	前期課程	28.3	41.4	22.8	7.6	145
	後期課程	20.5	49.7	21.6	8.2	171
男子	文科系	19.3	39.0	22.4	19.3	410
	理科系	14.9	41.6	23.6	19.9	692
女子	文科系	23.0	47.7	22.4	6.9	174
	理科系	25.4	43.7	21.8	9.2	142
男子	自宅	16.4	41.5	23.9	18.2	523
	自宅外	16.5	39.9	22.5	21.1	569
女子	自宅	28.6	47.4	18.2	5.8	154
	自宅外	19.9	44.1	26.1	9.9	161

3-4-6表 就職指導や進路相談の機能を充実させる

区分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (21.7)	% (43.6)	% (20.4)	% (14.3)	人 (1,571)
全 体		21.7	43.1	21.7	13.6	1,431
男 子		19.1	42.2	22.9	15.8	1,102
女 子		30.4	45.6	18.0	6.0	316
男子	前期課程	18.4	43.4	22.2	15.9	553
	後期課程	19.9	41.0	23.5	15.7	549
女子	前期課程	28.1	44.5	19.2	8.2	146
	後期課程	32.4	46.5	17.1	4.1	170
男子	文科系	22.7	43.2	20.0	14.1	410
	理科系	17.1	41.6	24.6	16.8	692
女子	文科系	32.8	45.4	16.1	5.7	174
	理科系	27.5	45.8	20.4	6.3	142
男子	自宅	21.0	41.3	23.3	14.3	523
	自宅外	17.6	43.1	22.1	17.2	569
女子	自宅	33.8	45.5	16.2	4.5	154
	自宅外	27.3	45.3	19.9	7.5	161

3-4-7表 健康相談や保健センターの機能を充実させる

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (15.7)	% (38.6)	% (30.1)	% (15.5)	人 (1,571)
全 体		13.9	35.4	33.6	17.1	1,428
男 子		13.2	34.3	33.9	18.6	1,099
女 子		16.5	38.6	33.2	11.7	316
男子	前期課程	15.2	32.1	34.3	18.3	551
	後期課程	11.1	36.5	33.6	18.8	548
女子	前期課程	15.2	37.2	33.1	14.5	145
	後期課程	17.5	39.8	33.3	9.4	171
男子	文科系	12.0	34.4	36.4	17.2	407
	理科系	13.9	34.2	32.5	19.4	692
女子	文科系	16.7	36.8	35.1	11.5	174
	理科系	16.2	40.8	31.0	12.0	142
男子	自宅	12.5	33.2	36.7	17.7	521
	自宅外	13.9	35.6	31.0	19.5	568
女子	自宅	12.3	40.3	33.8	13.6	154
	自宅外	20.5	37.3	32.3	9.9	161

3-4-8表 個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (10.1)	% (38.3)	% (33.4)	% (18.2)	人 (1,569)
全 体		8.7	33.4	38.0	19.9	1,429
男 子		9.0	32.0	37.5	21.5	1,101
女 子		7.9	38.3	39.9	13.9	316
男子	前期課程	8.7	32.3	37.0	22.0	551
	後期課程	9.3	31.6	38.0	21.1	550
女子	前期課程	5.5	36.6	40.7	17.2	145
	後期課程	9.9	39.8	39.2	11.1	171
男子	文科系	9.8	35.3	35.8	19.1	408
	理科系	8.5	30.0	38.5	22.9	693
女子	文科系	8.6	36.8	41.4	13.2	174
	理科系	7.0	40.1	38.0	14.8	142
男子	自宅	8.8	30.8	40.4	19.9	522
	自宅外	9.3	33.0	34.8	22.8	569
女子	自宅	5.8	40.9	40.3	13.0	154
	自宅外	9.9	35.4	39.8	14.9	161

3-4-9表 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (34.1)	% (34.1)	% (20.5)	% (11.2)	人 (1,569)
全 体		32.4	34.9	21.2	11.5	1,431
男 子		32.2	34.5	20.9	12.4	1,102
女 子		33.5	36.4	21.8	8.2	316
男子	前期課程	30.1	35.0	22.3	12.7	552
	後期課程	34.4	34.0	19.5	12.2	550
女子	前期課程	31.7	33.1	25.5	9.7	145
	後期課程	35.1	39.2	18.7	7.0	171
男子	文科系	29.3	35.2	22.7	12.7	409
	理科系	33.9	34.1	19.8	12.3	693
女子	文科系	37.9	32.8	24.1	5.2	174
	理科系	28.2	40.8	19.0	12.0	142
男子	自宅	25.8	33.8	26.8	13.6	523
	自宅外	37.6	35.5	15.3	11.6	569
女子	自宅	28.6	39.0	20.8	11.7	154
	自宅外	38.5	33.5	23.0	5.0	161

3-4-10表 学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する

区 分		全く そう思う	まあ そう思う	あまり そうは思わない	全く そう思わない	事例数
2008年調査 (58回)		% (14.5)	% (39.7)	% (30.6)	% (15.2)	人 (1,568)
全 体		15.6	35.8	33.2	15.4	1,426
男 子		15.4	35.5	32.0	17.1	1,097
女 子		16.5	37.3	36.7	9.5	316
男子	前期課程	16.2	34.5	33.0	16.2	548
	後期課程	14.6	36.4	31.0	18.0	549
女子	前期課程	13.8	38.6	39.3	8.3	145
	後期課程	18.7	36.3	34.5	10.5	171
男子	文科系	17.2	39.2	29.6	14.0	406
	理科系	14.3	33.3	33.4	19.0	691
女子	文科系	21.8	37.9	32.8	7.5	174
	理科系	9.9	36.6	41.5	12.0	142
男子	自宅	14.2	37.2	32.8	15.9	522
	自宅外	16.6	34.0	31.2	18.2	565
女子	自宅	14.9	37.7	41.6	5.8	154
	自宅外	18.0	37.3	31.7	13.0	161

3-5表 過去一年間に体の不調はありましたか

区 分		よくあった	ときにあった	あまりなかつた	全くなかった	事例数
		%	%	%	%	人
全 体		6.7	36.4	31.8	25.2	1,436
男 子		6.3	35.3	30.4	28.0	1,107
女 子		7.9	40.5	35.8	15.8	316
前期課程	文科一類	4.6	39.1	34.5	21.8	87
	文科二類	3.9	36.4	29.9	29.9	77
	文科三類	6.4	40.4	33.9	19.3	109
	理科一類	8.4	34.5	31.6	25.5	275
	理科二類	5.4	32.3	36.9	25.4	130
	理科三類	3.7	44.4	33.3	18.5	27
後期課程	法学部	8.0	32.1	39.3	20.5	112
	経済学部	6.4	25.6	32.1	35.9	78
	文学部	14.3	39.0	29.9	16.9	77
	教育学部	4.0	44.0	40.0	12.0	25
	教養（文系）	3.8	50.0	30.8	15.4	26
	教養（理系）	12.5	25.0	37.5	25.0	8
	理学部	6.8	42.4	27.1	23.7	59
	工学部	5.8	37.9	25.8	30.5	190
	農学部	3.9	40.8	32.9	22.4	76
	薬学部	0.0	43.5	21.7	34.8	23
	医学部	8.9	28.6	25.0	37.5	56

3-6表 過去一年間に体の不調があったとき、どのように対処しましたか

区分	家族に相談	大学内の 同じ学科や サークルの 友人・先輩 に相談		大学外の友 人・先輩に 相談		大学の教職 員に相談		保健セン ターの診療 部を受診		保健セン ターの健康 管理室に相 談		東大病院を 受診		地域のク リニックや 病院を受 診		その他		事例数 人
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
全体	28.3	9.4	2.7	0.4	17.1	3.6	1.7	3.7	3.7	3.6	1.5	31.1	5.9	1,880				
男子	26.8	8.9	2.5	0.5	17.3	3.8	1.5	3.8	3.8	3.0	2.2	32.1	6.6	1,328				
女子	32.4	10.5	3.0	0.2	16.1	3.0	2.2	3.0	3.0	3.0	2.2	28.7	3.9	534				
前期課程	27.6	6.9	3.4	0.0	21.6	1.7	0.9	1.7	1.7	1.7	0.9	34.5	3.4	116				
	29.8	7.1	3.6	0.0	11.9	6.0	0.0	0.0	6.0	6.0	0.0	36.9	4.8	84				
	32.3	10.1	1.9	0.6	14.6	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	31.0	5.7	158				
後期課程	31.8	8.9	3.4	0.0	16.3	2.6	0.3	2.6	2.6	2.6	0.3	28.1	8.6	349				
	28.7	10.2	3.0	0.6	16.2	3.0	0.6	3.0	3.0	3.0	0.6	34.1	3.6	167				
	30.8	10.3	0.0	0.0	20.5	5.1	2.6	5.1	5.1	5.1	2.6	25.6	5.1	39				
後期課程	29.9	7.3	3.0	0.0	18.9	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	29.3	4.3	164				
	25.6	9.3	2.3	0.0	16.3	5.8	1.2	5.8	5.8	5.8	1.2	34.9	4.7	86				
	30.5	8.6	1.9	0.0	17.1	1.0	3.8	1.0	1.0	1.0	3.8	30.5	6.7	105				
	17.1	12.2	4.9	0.0	24.4	7.3	0.0	7.3	7.3	7.3	0.0	31.7	2.4	41				
	31.1	11.1	0.0	2.2	11.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	0.0	33.3	8.9	45				
	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	7				
	21.7	9.6	1.2	0.0	20.5	2.4	3.6	2.4	2.4	2.4	3.6	31.3	9.6	83				
	23.8	9.4	3.1	0.4	17.9	5.4	2.7	5.4	5.4	5.4	2.7	31.4	5.8	223				
	27.6	10.5	1.0	0.0	14.3	5.7	3.8	5.7	5.7	5.7	3.8	29.5	7.6	105				
	33.3	6.7	0.0	0.0	16.7	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	33.3	3.3	30				
	21.6	14.9	2.7	4.1	21.6	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	5.4	28.4	1.4	74				

3-7表 過去一年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか

区 分		大学のホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	保健センターのホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	保健センターの定期的健康診断の受診	保健センターの健康診断書や健康診断証明書の発行	その他	事例数
全 体		% 8.6	% 11.9	% 64.5	% 11.5	% 3.5	人 1,383
男 子		8.9	11.7	64.4	11.3	3.6	1,043
女 子		7.3	12.7	64.5	12.1	3.3	330
前期課程	文科一類	8.8	11.8	67.6	10.3	1.5	68
	文科二類	3.6	5.5	78.2	7.3	5.5	55
	文科三類	11.5	6.9	64.4	12.6	4.6	87
	理科一類	11.0	11.0	63.8	8.1	6.2	210
	理科二類	10.6	6.7	66.3	11.5	4.8	104
	理科三類	10.5	0.0	73.7	5.3	10.5	19
後期課程	法学部	7.5	16.5	63.2	9.0	3.8	133
	経済学部	10.6	17.0	57.4	13.8	1.1	94
	文学部	1.3	9.3	69.3	17.3	2.7	75
	教育学部	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	28
	教養（文系）	5.7	5.7	65.7	20.0	2.9	35
	教養（理系）	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	6
	理学部	12.9	11.4	61.4	11.4	2.9	70
	工学部	9.4	16.0	62.0	10.3	2.3	213
	農学部	8.5	13.4	67.1	9.8	1.2	82
	薬学部	7.7	15.4	65.4	11.5	0.0	26
	医学部	5.1	11.5	56.4	21.8	5.1	78

3-8表 大学が行っている保健サービスに満足していますか

区 分		満足	どちらとも言えない	不満	事例数
全 体		% 39.0	% 51.6	% 9.4	人 1,428
男 子		38.2	53.0	8.8	1,100
女 子		41.9	47.0	11.1	315
前期課程	文科一類	32.2	54.0	13.8	87
	文科二類	36.4	55.8	7.8	77
	文科三類	39.4	51.4	9.2	109
	理科一類	30.3	59.1	10.6	274
	理科二類	32.3	54.6	13.1	130
	理科三類	29.6	59.3	11.1	27
後期課程	法学部	47.3	50.0	2.7	112
	経済学部	47.4	48.7	3.8	78
	文学部	41.6	45.5	13.0	77
	教育学部	32.0	64.0	4.0	25
	教養（文系）	46.2	30.8	23.1	26
	教養（理系）	0.0	100.0	0.0	8
	理学部	43.3	51.7	5.0	60
	工学部	48.1	41.6	10.3	185
	農学部	45.3	48.0	6.7	75
	薬学部	18.2	72.7	9.1	22
	医学部	54.5	36.4	9.1	55

4-1表 大学への要望や期待

4-1-1表 カリキュラムの改革

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全 体	% 24.8	% 42.2	% 25.0	% 5.8	% 2.3	人 1,441
男 子	26.4	42.3	22.8	5.8	2.7	1,110
女 子	19.2	41.8	32.4	6.0	0.6	318
文 科 系	24.4	43.2	25.9	5.0	1.5	595
理 科 系	25.0	41.5	24.4	6.3	2.8	845
前 期 課 程	29.2	42.5	21.8	4.7	1.7	701
後 期 課 程	20.5	42.0	27.9	6.8	2.8	738

4-1-2表 実験室や実習室の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全 体	% 18.1	% 34.2	% 34.2	% 8.9	% 4.6	人 1,444
男 子	18.1	34.0	33.8	8.9	5.3	1,113
女 子	18.2	35.2	35.5	9.1	1.9	318
文 科 系	8.4	25.4	50.3	9.9	6.1	595
理 科 系	24.9	40.4	22.9	8.1	3.7	848
前 期 課 程	15.8	34.0	37.3	8.5	4.4	703
後 期 課 程	20.3	34.4	31.3	9.2	4.9	739

4-1-3表 進学振分け制度の改善

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全 体	% 21.7	% 28.6	% 33.3	% 11.2	% 5.2	人 1,442
男 子	22.2	27.6	32.9	11.5	5.7	1,111
女 子	20.1	32.4	33.6	10.4	3.5	318
文 科 系	25.0	27.9	31.9	11.1	4.0	595
理 科 系	19.4	29.2	34.2	11.2	6.0	846
前 期 課 程	31.2	32.8	25.1	7.4	3.6	702
後 期 課 程	12.7	24.8	40.9	14.8	6.8	738

4-1-4表 授業の方法の工夫・改善

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全 体	% 32.3	% 43.5	% 17.4	% 4.7	% 2.1	人 1,443
男 子	32.1	43.3	17.2	4.7	2.7	1,114
女 子	33.5	44.6	16.8	5.1	0.0	316
文 科 系	31.4	43.2	19.3	4.5	1.5	595
理 科 系	32.9	43.7	15.9	4.8	2.6	847
前 期 課 程	33.8	44.0	16.5	4.1	1.6	702
後 期 課 程	31.0	42.9	18.1	5.3	2.7	739

4-1-5表 単位認定や学年試験を厳しく

区分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全体	% 3.7	% 8.6	% 28.4	% 28.1	% 31.1	人 1,443
男子	3.9	8.9	28.3	27.1	31.8	1,112
女子	2.8	7.9	28.3	32.1	28.9	318
文科系	3.4	8.6	24.0	30.4	33.6	595
理科系	4.0	8.6	31.5	26.6	29.3	847
前期課程	3.7	5.5	26.3	30.7	33.7	703
後期課程	3.8	11.4	30.5	25.7	28.6	738

4-1-6表 カウンセリング・相談体制の充実

区分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全体	% 5.5	% 24.9	% 39.1	% 20.5	% 9.9	人 1,444
男子	5.4	22.9	40.3	19.9	11.4	1,113
女子	6.3	32.1	34.9	22.0	4.7	318
文科系	6.2	28.4	37.8	19.5	8.1	595
理科系	5.1	22.5	40.1	21.1	11.2	848
前期課程	4.7	24.2	39.8	21.9	9.4	703
後期課程	6.4	25.7	38.4	19.1	10.4	739

4-1-7表 奨学金（育英資金）・育英貸付金などの拡充や増額

区分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全体	% 32.6	% 34.5	% 21.5	% 7.0	% 4.4	人 1,443
男子	32.1	34.3	21.6	7.1	4.9	1,112
女子	34.3	36.2	20.4	6.6	2.5	318
文科系	32.4	35.5	23.4	4.5	4.2	595
理科系	32.7	33.9	20.1	8.7	4.6	847
前期課程	28.1	36.2	23.4	7.8	4.6	702
後期課程	36.9	32.9	19.6	6.2	4.3	739

4-1-8表 社会への貢献

区分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
全体	% 19.3	% 40.4	% 28.8	% 6.5	% 5.0	人 1,443
男子	18.6	38.5	30.0	6.9	5.9	1,112
女子	22.3	47.2	23.9	5.0	1.6	318
文科系	21.7	40.5	27.4	6.4	4.0	595
理科系	17.7	40.3	29.8	6.6	5.7	847
前期課程	18.8	41.5	29.7	6.3	3.7	703
後期課程	19.9	39.3	27.8	6.8	6.2	738

4-1-9表 海外留学の支援

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	33.1	32.8	23.0	6.6	4.5	1,445
男 子	31.0	32.2	24.4	7.1	5.3	1,114
女 子	41.2	35.2	17.0	5.0	1.6	318
文 科 系	38.0	31.8	21.7	5.0	3.5	595
理 科 系	29.7	33.5	24.0	7.7	5.2	849
前 期 課 程	32.1	32.7	25.2	6.4	3.6	703
後 期 課 程	34.1	32.8	20.9	6.8	5.4	740

4-1-10表 施設設備の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	36.5	42.8	14.6	3.4	2.6	1,442
男 子	36.6	42.8	14.2	3.2	3.1	1,112
女 子	37.2	43.5	14.8	3.8	0.6	317
文 科 系	37.7	40.9	15.3	3.5	2.5	594
理 科 系	35.8	44.2	14.0	3.3	2.7	847
前 期 課 程	34.9	43.3	15.8	3.6	2.4	702
後 期 課 程	38.2	42.3	13.4	3.3	2.8	738

4-1-11表 教育スタッフの充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	21.7	42.5	26.9	5.9	3.1	1,444
男 子	21.6	41.8	27.0	5.9	3.8	1,113
女 子	22.3	45.3	25.8	6.0	0.6	318
文 科 系	22.4	41.7	27.7	5.4	2.9	595
理 科 系	21.2	42.9	26.3	6.3	3.3	848
前 期 課 程	22.3	41.3	28.3	5.4	2.7	703
後 期 課 程	21.1	43.4	25.6	6.4	3.5	739

4-1-12表 少人数教育の実施

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	19.1	29.6	32.3	13.4	5.6	1,444
男 子	19.4	27.7	33.0	13.5	6.5	1,113
女 子	17.9	37.1	28.9	13.2	2.8	318
文 科 系	25.0	33.6	26.1	10.3	5.0	595
理 科 系	15.0	26.8	36.7	15.6	6.0	848
前 期 課 程	19.6	29.4	32.9	12.9	5.1	703
後 期 課 程	18.7	29.8	31.7	13.8	6.1	739

4-1-13表 単位認定や学年試験を緩やかに

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	19.0	19.3	38.6	15.9	7.1	1,444
男 子	19.0	20.6	37.5	15.7	7.3	1,113
女 子	19.2	15.4	42.8	16.7	6.0	318
文 科 系	21.8	20.7	37.1	14.5	5.9	595
理 科 系	17.0	18.4	39.6	17.0	8.0	848
前 期 課 程	23.6	22.8	37.6	11.1	5.0	703
後 期 課 程	14.6	16.1	39.5	20.6	9.2	739

4-1-14表 図書館の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	39.1	39.8	15.9	3.0	2.3	1,444
男 子	36.6	40.9	16.9	3.2	2.3	1,112
女 子	48.0	36.7	11.3	2.2	1.9	319
文 科 系	41.8	40.1	13.9	2.7	1.5	596
理 科 系	37.2	39.6	17.2	3.2	2.8	847
前 期 課 程	39.6	40.2	15.1	2.7	2.4	702
後 期 課 程	38.6	39.5	16.5	3.2	2.2	740

4-1-15表 学生自治の尊重

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	7.6	19.8	47.6	15.8	9.2	1,441
男 子	7.6	19.3	47.7	15.1	10.4	1,111
女 子	7.6	21.8	47.0	18.3	5.4	317
文 科 系	7.8	20.4	47.9	16.0	7.9	593
理 科 系	7.4	19.4	47.5	15.6	10.2	847
前 期 課 程	9.5	23.0	46.7	14.1	6.7	703
後 期 課 程	5.7	16.7	48.6	17.3	11.7	736

4-1-16表 就職対策の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	28.9	38.4	22.0	6.0	4.6	1,445
男 子	26.5	38.5	23.6	6.0	5.4	1,114
女 子	37.4	38.7	16.0	6.3	1.6	318
文 科 系	30.7	38.6	21.5	5.7	3.5	596
理 科 系	27.7	38.3	22.3	6.3	5.4	848
前 期 課 程	30.3	39.3	21.6	4.7	4.1	703
後 期 課 程	27.7	37.7	22.2	7.3	5.1	740

4-1-17表 国際化の推進

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全 体	30.5	34.9	26.6	4.2	3.9	1,441
男 子	27.9	35.3	28.1	4.1	4.7	1,111
女 子	39.4	34.1	20.5	4.7	1.3	317
文 科 系	34.3	34.8	23.7	3.4	3.7	594
理 科 系	27.7	35.0	28.6	4.7	4.0	846
前 期 課 程	30.5	35.9	26.2	4.1	3.3	702
後 期 課 程	30.4	34.1	26.9	4.2	4.5	737

5-1表 家庭の所在地 (A. 地区)

区分	東京都	関東	北海道	東北	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	日本国 外(注)	事例数
2008年調査 (58回)	% (28.5)	% (33.2)	% (1.5)	% (2.9)	% (12.4)	% (8.6)	% (4.1)	% (2.2)	% (6.4)	% (0.2)	人 (1,575)
全体	27.0	31.5	1.5	2.9	12.3	11.0	3.7	2.3	7.7	0.1	1,449
男子	26.7	32.0	1.7	2.6	12.1	11.9	3.8	2.2	7.0	0.0	1,116
女子	27.8	29.1	0.9	4.1	12.8	8.4	3.8	2.8	10.0	0.3	320

注：「日本国外」に関して2008年調査（58回）では「その他」として調査

「関東」は東京都以外の関東

5-2表 家庭の所在地 (B. 都市規模)

区分	大都市 = 人口100万人以上	中都市 = 人口10万人以上	小都市 = 人口10万人未満	郡部	事例数
2008年調査 (58回)	% (44.9)	% (39.7)	% (11.3)	% (4.2)	人 (1,450)
全体	43.8	41.6	11.7	2.8	1,431
男子	44.1	42.0	11.1	2.8	1,102
女子	43.0	40.8	13.6	2.5	316

5-3表 家族構成

区分	祖父	祖母	父	母	在学中の 兄弟姉妹	それ以外の 兄弟姉妹	親類	その他	事例数
全体	% 3.5	% 6.2	% 30.1	% 31.8	% 16.0	% 11.8	% 0.4	% 0.2	人 4,484
男子	3.5	6.5	29.6	31.5	15.8	12.5	0.4	0.2	3,498
女子	3.1	5.1	31.9	33.1	17.0	9.1	0.6	0.1	946

5-4表 あなたは結婚していますか

区分	未婚	既婚	事例数
全体	% 99.2	% 0.8	人 1,447
男子	99.1	0.9	1,114
女子	99.7	0.3	320

5-5表 家計支持者

区分	父	母	本人	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	その他	事例数
2008年調査 (58回)	% (73.0)	% (23.7)	% (0.4)	% (0.5)	% (0.9)	% (0.2)	% (1.5)	人 (1,585)
全体	66.7	30.0	1.4	0.6	1.1	0.0	0.1	2,015
男子	66.2	30.4	1.5	0.6	1.2	0.1	0.1	1,560
女子	69.1	28.4	0.9	0.5	0.9	0.0	0.2	437

5-6表 主たる家計支持者（父）の職業

区分	専門的・ 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事務	販売	農・林・ 漁業	生産工 程・採 掘作業	運輸・通 信・保安・ サービス	無職	非正規	その他	事例数
	% (23.9)	% (10.0)	% (43.5)	% (8.2)	% (2.6)	% (0.8)	% (3.3)	% (4.7)	% (1.5)	% -	% (1.4)	人 (1,404)
2008年調査 (58回)	24.2	13.1	42.3	7.9	-	0.5	3.5	4.7	1.8	1.0	1.1	1,349
全体	22.8	13.2	42.7	8.5	-	0.5	3.5	4.9	1.9	1.0	1.1	1,036
男子	29.1	12.9	40.4	6.0	-	0.7	3.0	4.3	1.3	1.0	1.3	302
女子	19.9	14.7	41.9	11.3	-	0.5	3.7	3.7	2.4	1.0	1.0	382
文科系	24.5	12.4	43.1	6.9	-	0.5	3.4	5.7	1.7	0.9	1.1	654
理科系	24.7	14.5	39.8	6.6	-	1.2	3.0	5.4	1.8	1.2	1.8	166
理科系	34.6	11.0	41.2	5.1	-	0.0	2.9	2.9	0.7	0.7	0.7	136
自宅	23.0	8.1	53.7	5.5	-	0.0	2.0	3.9	1.8	0.6	1.4	492
自宅外	22.6	17.8	32.5	11.4	-	0.9	4.7	6.0	2.1	1.3	0.7	535
自宅	26.2	6.9	52.4	7.6	-	0.0	2.1	2.1	0.7	2.1	0.0	145
自宅外	31.6	18.7	29.0	4.5	-	1.3	3.9	6.5	1.9	0.0	2.6	155
分譲マンション	11.8	17.6	47.1	5.9	-	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	17
賃貸マンション（バスつき）	25.5	17.8	33.0	10.4	-	1.1	4.0	4.8	2.1	0.8	0.5	376
アパート（バスなし）・下宿	11.8	17.6	41.2	11.8	-	2.9	8.8	2.9	0.0	0.0	2.9	34
東大の寮	10.0	3.3	26.7	16.7	-	0.0	6.7	20.0	6.7	6.7	3.3	30
その他の寮	20.0	24.3	27.1	14.3	-	0.0	4.3	8.6	0.0	1.4	0.0	70
その他	25.0	0.0	25.0	25.0	-	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4
分譲マンション	11.1	11.1	44.4	0.0	-	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	9
賃貸マンション（バスつき）	36.0	16.7	30.7	5.3	-	0.9	1.8	5.3	0.9	0.0	2.6	114
アパート（バスなし）・下宿	14.3	57.1	14.3	0.0	-	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7
東大の寮	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	8
その他の寮	30.8	23.1	23.1	0.0	-	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	13
その他	33.3	33.3	33.3	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3

5-7表 主たる家計支持者(母)の職業

区分	専門的・ 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事務	販売	農・林・ 漁業	生産工 程・採 掘作業	運輸・通 信・保 安・サー ビス	無 職	非正規	その他	事例数
	% (20.6)	% (24.1)	% (3.9)	% (24.5)	% (6.0)	% (0.9)	% (2.7)	% (8.5)	% (3.7)	%	% (5.0)	人 (456)
2008年調査(58回)	16.7	19.0	3.2	15.2	-	0.6	0.9	4.2	7.4	31.6	1.3	690
全体												
男子	16.0	19.0	2.2	15.9	-	0.7	0.6	4.7	7.5	32.1	1.3	536
女子	19.7	19.7	6.8	12.2	-	0.0	1.4	2.7	6.8	29.9	0.7	147
文科系	14.7	19.0	2.8	18.0	-	0.0	0.5	4.3	8.5	30.8	1.4	211
理科系	16.9	19.1	1.8	14.5	-	1.2	0.6	4.9	6.8	32.9	1.2	325
文理科系	14.8	22.2	6.2	11.1	-	0.0	2.5	4.9	7.4	29.6	1.2	81
理科系	25.8	16.7	7.6	13.6	-	0.0	0.0	0.0	6.1	30.3	0.0	66
自宅	13.2	12.8	3.2	12.3	-	0.0	0.0	3.2	11.4	41.6	2.3	219
自宅外	17.6	23.1	1.6	18.3	-	1.3	1.0	5.8	4.8	26.0	0.6	312
自宅	17.5	17.5	11.1	7.9	-	0.0	3.2	1.6	6.3	34.9	0.0	63
自宅外	21.7	21.7	3.6	15.7	-	0.0	0.0	3.6	7.2	25.3	1.2	83
分譲マンション	25.0	33.3	0.0	16.7	-	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	12
賃貸マンション(バスつき)	17.5	22.1	1.8	18.4	-	1.4	0.0	6.5	5.5	25.8	0.9	217
アパート(バスなし)・下宿	23.5	23.5	0.0	11.8	-	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2	0.0	17
東大の寮	17.4	8.7	0.0	13.0	-	0.0	0.0	13.0	4.3	43.5	0.0	23
その他の寮	20.0	32.5	2.5	22.5	-	0.0	2.5	2.5	5.0	12.5	0.0	40
その他	0.0	0.0	0.0	33.3	-	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3
分譲マンション	0.0	20.0	0.0	20.0	-	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	5
賃貸マンション(バスつき)	23.6	21.8	5.5	9.1	-	0.0	0.0	1.8	5.5	30.9	1.8	55
アパート(バスなし)・下宿	40.0	20.0	0.0	20.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	5
東大の寮	0.0	0.0	0.0	66.7	-	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	6
その他の寮	20.0	40.0	0.0	10.0	-	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

5-8表 家計支持者の雇用形態 父

区 分		自分一人	民間企業に勤務	官公庁に勤務	経営者・役員 または人を雇 用している	事例数
全 体		%	%	%	%	人
男 子		5.9	60.2	23.1	10.9	1,305
女 子		6.3	60.4	22.5	10.8	1,000
		4.4	60.0	24.1	11.5	295
男子	文 理 科 系	8.4	57.6	22.2	11.9	370
		5.1	62.1	22.7	10.2	630
女子	文 理 科 系	7.4	53.4	27.6	11.7	163
		0.8	68.2	19.7	11.4	132
男子	自宅 自宅外	5.2	72.5	13.1	9.2	480
		7.2	49.0	31.4	12.3	512
女子	自宅 自宅外	2.8	68.5	17.5	11.2	143
		6.0	52.0	30.0	12.0	150
男子	分譲マンション	0.0	58.8	41.2	0.0	17
	賃貸マンション (バスつき)	6.1	49.4	31.4	13.1	360
	アパート (バスなし)・下宿	5.9	50.0	20.6	23.5	34
	東大の寮	28.6	42.9	14.3	14.3	28
	その他の寮	6.0	47.8	40.3	6.0	67
	その他	25.0	25.0	25.0	25.0	4
女子	分譲マンション	12.5	50.0	12.5	25.0	8
	賃貸マンション (バスつき)	3.6	53.2	30.6	12.6	111
	アパート (バスなし)・下宿	14.3	28.6	57.1	0.0	7
	東大の寮	14.3	42.9	14.3	28.6	7
	その他の寮	7.7	53.8	38.5	0.0	13
	その他	33.3	66.7	0.0	0.0	3

5-9表 家計支持者の雇用形態 母

区 分		自分一人	民間企業に勤務	官公庁に勤務	経営者・役員または 人を雇用している	事例数
全 体		%	%	%	%	人
男 子		9.5	60.0	25.1	5.4	613
女 子		10.0	60.6	24.2	5.3	472
		7.4	58.5	28.1	5.9	135
男子	文 理 科 系	11.4	59.5	24.9	4.3	185
		9.1	61.3	23.7	5.9	287
女子	文 理 科 系	6.8	56.8	32.4	4.1	74
		8.2	60.7	23.0	8.2	61
男子	自宅 自宅外	8.3	73.9	13.3	4.4	180
		10.8	52.4	30.9	5.9	288
女子	自宅 自宅外	10.2	62.7	20.3	6.8	59
		5.3	56.0	33.3	5.3	75
男子	分譲マンション	20.0	70.0	0.0	10.0	10
	賃貸マンション (バスつき)	10.4	50.7	31.8	7.0	201
	アパート (バスなし)・下宿	6.3	50.0	43.8	0.0	16
	東大の寮	9.1	77.3	13.6	0.0	22
	その他の寮	16.2	40.5	37.8	5.4	37
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	2
女子	分譲マンション	0.0	50.0	25.0	25.0	4
	賃貸マンション (バスつき)	6.0	58.0	32.0	4.0	50
	アパート (バスなし)・下宿	0.0	60.0	40.0	0.0	5
	東大の寮	0.0	75.0	25.0	0.0	4
	その他の寮	10.0	40.0	40.0	10.0	10
	その他	0.0	0.0	100.0	0.0	1

5-10-1表 家計支持者の勤務先規模 父

区 分		従業員が1,000人以上の企業及び官公庁	従業員が100人以上1,000人未満の企業及び官公庁	従業員が10人以上100人未満の企業及び官公庁	従業員が10人未満の企業及び官公庁	事例数
		%	%	%	%	人
全 体		49.8	22.7	15.1	12.3	1,143
男 子		48.4	23.2	16.2	12.2	878
女 子		53.3	21.8	11.7	13.2	257
男子	文 理 系	48.1	22.5	14.7	14.7	320
	理 科 系	48.6	23.7	17.0	10.8	558
女子	文 理 系	52.1	17.1	12.9	17.9	140
	理 科 系	54.7	27.4	10.3	7.7	117
男子	自宅	59.0	20.5	10.7	9.8	439
	自宅外	37.5	26.2	22.0	14.4	432
女子	自宅	64.9	19.8	6.9	8.4	131
	自宅外	40.3	24.2	16.9	18.5	124
男子	分譲マンション	50.0	35.7	7.1	7.1	14
	賃貸マンション (バスつき)	39.1	28.3	20.1	12.5	304
	アパート (バスなし)・下宿	39.3	10.7	35.7	14.3	28
	東大の寮	24.0	20.0	20.0	36.0	25
	その他の寮	36.4	20.0	29.1	14.5	55
	その他	25.0	25.0	0.0	50.0	4
女子	分譲マンション	37.5	12.5	25.0	25.0	8
	賃貸マンション (バスつき)	47.3	20.4	16.1	16.1	93
	アパート (バスなし)・下宿	33.3	33.3	0.0	33.3	3
	東大の寮	0.0	42.9	14.3	42.9	7
	その他の寮	20.0	40.0	30.0	10.0	10
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	2

5-10-2表 家計支持者の勤務先規模 母

区 分		従業員が1,000人以上の企業及び官公庁	従業員が100人以上1,000人未満の企業及び官公庁	従業員が10人以上100人未満の企業及び官公庁	従業員が10人未満の企業及び官公庁	事例数
		%	%	%	%	人
全 体		19.6	21.6	38.3	20.6	491
男 子		18.1	22.8	37.5	21.5	381
女 子		22.6	17.9	42.5	17.0	106
男子	文 理 系	16.0	23.7	35.9	24.4	156
	理 科 系	19.6	22.2	38.7	19.6	225
女子	文 理 系	20.0	14.5	41.8	23.6	55
	理 科 系	25.5	21.6	43.1	9.8	51
男子	自宅	25.5	27.5	28.8	18.3	153
	自宅外	13.3	20.0	43.6	23.1	225
女子	自宅	27.3	18.2	40.9	13.6	44
	自宅外	19.7	18.0	42.6	19.7	61
男子	分譲マンション	22.2	22.2	33.3	22.2	9
	賃貸マンション (バスつき)	13.5	20.5	42.9	23.1	156
	アパート (バスなし)・下宿	25.0	16.7	41.7	16.7	12
	東大の寮	15.8	26.3	36.8	21.1	19
	その他の寮	0.0	14.8	51.9	33.3	27
	その他	50.0	0.0	50.0	0.0	2
女子	分譲マンション	0.0	25.0	75.0	0.0	4
	賃貸マンション (バスつき)	22.0	12.2	41.5	24.4	41
	アパート (バスなし)・下宿	25.0	50.0	25.0	0.0	4
	東大の寮	25.0	25.0	50.0	0.0	4
	その他の寮	16.7	16.7	50.0	16.7	6
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	1

5-11表 世帯の年収分布

区	分	350万円	450万円	550万円	650万円	750万円	850万円	950万円	1050万円	1150万円	1250万円	1350万円	1450万円	1550万円	事例数
		未満 (13.7)	450万円 350万円 (3.9)	550万円 450万円 (5.8)	650万円 550万円 (3.8)	750万円 650万円 (4.1)	850万円 750万円 (9.3)	950万円 850万円 (6.0)	1050万円 950万円 (16.9)	1150万円 1050万円 (3.2)	1250万円 1150万円 (7.5)	1350万円 1250万円 (2.6)	1450万円 1350万円 (2.1)	1550万円 1450万円 (4.5)	
2008年調査 (58回)		12.9	3.7	4.9	5.1	7.0	8.5	6.2	3.3	7.4	2.5	2.2	5.6	14.1	789
全 体		13.6	4.0	5.2	4.8	7.3	8.7	5.7	3.3	7.3	2.5	2.3	5.7	12.5	601
男 子		9.0	2.8	4.5	6.2	6.2	8.4	7.9	3.4	7.9	2.8	1.7	4.5	19.7	178
女 子		8.8	3.2	5.3	3.2	7.4	8.5	5.6	3.9	9.2	2.5	2.5	5.6	16.9	284
自 宅 外		17.7	4.5	4.8	6.5	7.4	9.0	5.8	2.9	5.8	2.3	2.3	5.5	8.4	310
自 宅		7.5	1.1	2.2	7.5	4.3	5.4	5.4	5.4	5.4	4.3	2.2	8.6	23.7	93
自 宅 外		10.7	4.8	7.1	4.8	8.3	10.7	10.7	1.2	10.7	1.2	1.2	0.0	15.5	84
分譲マンション		11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	9
賃貸マンション (バスつき)		13.6	5.0	4.5	5.0	6.8	9.5	7.7	3.2	6.3	2.7	2.7	6.3	8.6	221
アパート (バスなし)・下宿		18.8	0.0	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	16
東大の寮		53.8	7.7	11.5	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	26
その他の寮		20.0	5.7	0.0	14.3	11.4	14.3	0.0	0.0	8.6	2.9	2.9	5.7	2.9	35
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
分譲マンション		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
賃貸マンション (バスつき)		6.2	1.5	9.2	3.1	7.7	10.8	13.8	1.5	12.3	1.5	1.5	0.0	18.5	65
アパート (バスなし)・下宿		40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
東大の寮		33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
その他の寮		0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	6
その他		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

5-12表 家計支持者たる父親の職業別にみた年収平均（単位：十万円）

区 分	専門的技術的職業		教育的職業		管理的職業		事務		販売		農・林・漁業		生産工程採掘作業		運輸・通信・保安・サービス	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2008年調査(58回)	(137.7)	(176)	(135.2)	(75)	(125.6)	(331)	(101.3)	(70)	(101.9)	(18)	(44.2)	(6)	(109.3)	(29)	(124.1)	(28)
全 体	145.6	173	118.5	90	123.1	307	109.1	61	-	-	125.0	2	83.3	30	92.7	39
男 子	159.3	119	127.8	69	121.7	237	100.1	52	-	-	125.0	2	82.0	22	76.4	32
女 子	115.4	54	88.0	21	127.9	70	161.0	9	-	-	0.0	0	86.8	8	167.4	7

区 分	無職		その他		非正規		分類不能		事 例 数		主たる家計支持者の年収中央値
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	
2008年調査(58回)	(37.6)	(7)	(91.9)	(10)	-	-	(110.9)	(18)	(123.7)	(768)	(100)
全 体	48.9	12	67.3	9	38.6	8	-	-	121.0	718	100
男 子	41.4	10	71.3	8	31.5	6	-	-	121.7	546	100
女 子	86.5	2	36.0	1	60.0	2	-	-	119.4	172	100

5-13表 家計支持者たる母親の職業別にみた年収平均（単位：十万円）

区 分	専門的技術的職業		教育的職業		管理的職業		事務		販売		農・林・漁業		生産工程採掘作業		運輸・通信・保安・サービス	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2008年調査(58回)	(151.2)	(36)	(147.1)	(56)	(147.5)	(8)	(103.5)	(71)	(63.5)	(15)	(33.3)	(3)	(57.4)	(9)	(54.1)	(21)
全 体	174.1	49	126.0	66	180.0	9	68.9	53	-	-	68.0	1	65.0	2	106.4	14
男 子	188.2	32	115.7	52	254.0	5	67.7	46	-	-	68.0	1	70.0	1	111.1	13
女 子	147.7	17	164.3	14	87.5	4	76.3	7	-	-	0.0	0	60.0	1	45.0	1

区 分	無職		その他		非正規		分類不能		事例数		主たる家計支持者の年収中央値
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	
2008年調査(58回)	(94.4)	(8)	(120.9)	(13)	-	-	(70.3)	(6)	(112.5)	(246)	(84)
全 体	129.6	28	87.5	4	109.3	120	-	-	118.0	277	94
男 子	134.6	26	87.5	4	109.0	99	-	-	117.8	66	90
女 子	65.0	2	0.0	0	104.6	21	-	-	118.0	67	100

6-1表 生活費の状況の推移（支出総額・収入総額）

区 分	支 出 総 額				収 入 総 額			
	自宅	マンション・アパート・下宿他	学寮	その他の寮	自宅	マンション・アパート・下宿他	学寮	その他の寮
	円	円	円	円	円	円	円	円
1971年 (男子)	15,600	37,600	25,100	30,400	16,800	39,000	27,500	32,100
1972年 (男子)	20,100	40,900	27,600	31,400	21,100	42,200	29,900	32,200
1976年 (男子)	32,600	73,500	49,400	59,300	35,900	76,900	55,100	63,900
1977年 (女子)	31,000	76,700	51,000	85,300	36,200	82,000	56,900	92,000
1979年 (男子)	41,000	88,100	61,000	77,700	45,600	93,100	68,500	83,600
1980年 (男子)	41,100	92,900	62,600	78,300	48,100	100,200	66,800	84,400
1981年 (男子)	44,300	100,500	69,900	82,200	50,100	107,000	75,500	91,300
1982年 (女子)	41,700	105,400	64,900	108,700	49,600	115,400	75,500	119,200
1983年 (男子)	54,900	110,900	71,300	86,700	60,800	118,600	78,600	96,700
1984年 (男子)	61,300	116,100	77,700	85,500	67,600	124,200	86,100	95,300
〃 (女子)	56,500	114,900	64,700	107,200	56,700	125,400	78,300	112,800
1991年 (男子)	77,300	161,300	81,000	115,100	86,900	175,100	109,100	132,300
〃 (女子)	76,100	162,200	91,400	134,000	81,300	182,500	90,600	141,000
1993年 (男子)	77,600	163,800	97,700	108,500	82,300	176,000	103,000	126,400
〃 (女子)	77,400	157,800	133,000	147,500	77,000	172,600	151,500	168,300
1994年 (男子)	75,300	164,300	91,400	119,100	82,000	173,200	116,400	131,800
〃 (女子)	74,700	162,200	92,600	127,300	82,000	180,300	115,600	142,900
1995年 (男子)	74,000	161,600	96,400	130,300	80,500	176,200	109,500	156,200
〃 (女子)	65,700	166,000	94,800	143,000	74,900	187,000	130,100	156,800
1996年 (男子)	76,000	166,500	105,900	111,300	83,000	176,800	129,500	130,900
〃 (女子)	79,500	157,500	115,300	142,100	81,500	169,600	119,500	173,600
1997年 (男子)	71,500	162,300	96,800	126,500	78,400	175,200	117,300	149,200
〃 (女子)	74,500	155,200	94,000	148,300	83,900	177,100	116,400	161,900
1998年 (男子)	75,100	162,500	99,500	113,600	75,400	171,100	114,800	123,400
〃 (女子)	77,000	172,300	83,800	154,300	73,800	182,300	125,800	161,300
2000年 (男子)	69,400	159,600	65,900	108,200	76,500	172,000	100,100	129,000
〃 (女子)	69,900	167,300	79,500	158,300	72,300	182,800	104,300	175,000
2001年 (男子)	68,400	158,300	82,800	107,800	68,500	169,100	103,300	129,200
〃 (女子)	76,000	163,300	91,100	170,300	77,100	175,400	116,700	176,600
2002年 (男子)	67,500	158,100	95,200	119,200	69,700	168,800	114,700	130,900
〃 (女子)	74,500	164,800	86,500	142,800	73,900	168,400	129,900	140,200
2003年 (男子)	69,800	154,300	84,900	110,600	68,800	162,700	100,000	127,000
〃 (女子)	79,000	162,300	69,100	156,300	69,400	168,000	96,900	169,100
2005年 (男子)	72,500	160,500	85,300	117,500	65,650	157,400	109,100	132,600
〃 (女子)	76,200	162,900	88,000	133,500	67,860	158,100	112,500	128,800
2006年 (男子)	66,650	153,640	79,170	119,760	63,280	157,730	109,270	140,070
〃 (女子)	73,500	174,380	80,120	140,900	70,610	163,430	104,760	164,300
2007年 (男子)	72,110	151,380	79,500	118,160	67,370	155,720	110,470	126,650
〃 (女子)	69,660	157,600	73,440	141,710	62,650	165,190	91,110	138,810
2008年 (男子)	63,054	151,689	81,706	117,349	63,851	154,234	109,480	129,738
〃 (女子)	63,500	154,791	83,684	144,077	59,322	148,097	108,833	129,538
2010年 (男子)	65,000	154,000	81,000	118,000	62,000	151,000	91,000	117,000
〃 (女子)	66,000	158,000	68,000	126,000	64,000	153,000	47,000	103,000

6-2表 支出額（1ヶ月平均、単位：千円）

区分	衣料費		食費		住居費		勉学費		教養・娯楽費		通学費		雑費		預貯金		支出額合計	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2008年調査(58回)	(857)	(1,490)	(2385)	(1,507)	(6258)	(800)	(776)	(1,493)	(1469)	(1,497)	(666)	(1,491)	(1117)	(1,482)	(101.10)	(1,498)	(101.10)	(1,498)
全体	679	1,380	2383	1,393	6279	814	689	1,376	1427	1,382	607	1,370	1150	1,370	4309	1,287	107.71	1,327
男子	609	1,066	2455	1,074	6228	628	700	1,063	1449	1,066	571	1,061	1125	1,060	4571	1,004	107.39	1,036
女子	923	302	2136	306	6501	179	651	301	1335	304	733	297	1243	298	3452	273	109.13	279
自宅	677	692	1535	692	698	85	605	692	1425	692	885	692	849	692	4680	692	65.50	692
自宅外	678	747	3147	747	6933	721	761	747	1440	747	361	747	1421	747	4056	747	145.12	747
男子	624	530	1592	530	964	59	618	530	1467	530	819	530	842	530	5171	530	65.12	530
女子	591	578	3217	578	6764	562	768	578	1443	578	353	578	1375	578	4153	578	144.02	578
男子	862	156	1343	156	096	25	559	156	1259	156	1132	156	875	156	3140	156	66.31	156
女子	981	162	2906	162	7590	83	736	162	1419	162	371	162	1591	162	3762	162	150.05	162
男子	1078	18	2878	18	6141	18	1428	18	2611	17	339	18	1978	18	18994	17	161.33	18
女子	588	392	3336	395	7679	396	736	394	1455	392	312	389	1492	393	4002	385	154.01	386
男子	633	33	2924	33	6785	33	864	33	1418	33	364	33	1273	33	852	33	146.97	32
女子	463	40	2840	40	1385	40	778	40	1128	40	422	40	913	39	2455	40	81.08	37
男子	560	73	2932	73	4975	71	747	72	1315	72	522	73	880	70	4087	69	118.20	73
女子	460	5	3400	5	2267	5	1040	5	1200	5	580	5	1320	5	600	5	99.60	5
男子	1086	7	2857	7	7400	5	671	7	2429	7	429	7	1686	7	5750	6	135.00	5
女子	1002	116	2795	115	8169	116	807	116	1479	116	340	116	1718	114	3775	107	159.79	107
男子	689	9	2567	9	7900	8	467	9	722	9	300	9	1138	8	1417	6	147.63	8
女子	1189	9	5722	9	1250	9	400	9	600	9	463	9	763	9	10125	9	68.38	9
男子	910	10	2233	12	6575	12	582	12	1208	12	600	12	1191	11	364	11	126.45	11
女子	433	3	2833	3	5867	3	500	3	1333	3	433	3	1167	3	267	3	128.33	3

※平均値の算出は該当者平均を求めた（無回答を除く）

6-3表 収入額（1ヶ月平均、単位：千円）

区分	家庭からの仕送り・小遣い		奨学金		アルバイト・雑収入		ローン・クレジット・借入金		収入額合計	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2008年調査(58回)	(59.96)	(1,497)	(15.64)	(1,262)	(33.14)	(1,454)	-	-	(102.65)	(1,479)
全体	64.23	1,362	15.08	1,215	31.91	1,332	0.86	1,169	104.02	1,342
男子	64.88	1,052	15.59	947	30.99	1,022	0.71	912	104.10	1,040
女子	62.59	299	11.94	259	35.02	298	1.42	250	103.59	290
自宅	26.22	622	6.31	518	35.59	611	0.34	500	62.21	625
自宅外	97.86	716	21.12	678	28.96	696	1.28	651	141.83	693
男子	26.22	478	6.51	401	34.03	467	0.40	386	61.72	483
女子	97.77	563	22.14	537	28.74	544	0.96	516	141.53	547
自宅	25.35	144	5.64	117	40.65	144	0.13	114	63.87	142
自宅外	98.20	153	17.25	141	29.76	152	2.52	135	142.95	146
分譲マンション	130.72	18	17.06	17	25.29	17	0.00	17	164.06	18
賃貸マンション(バスつき)	106.79	393	20.60	374	30.91	380	1.09	360	151.10	381
アパート(バスなし)・下宿	97.33	33	15.59	32	26.12	33	3.23	31	137.06	33
東大の寮	46.33	40	40.38	40	13.49	39	0.00	37	90.78	40
その他の寮	74.89	72	24.68	68	24.34	68	0.00	65	116.59	68
その他	40.00	5	12.75	4	44.40	5	0.00	4	94.60	5
分譲マンション	56.43	7	30.83	6	60.00	7	0.00	5	141.67	6
賃貸マンション(バスつき)	108.32	114	15.76	107	32.03	115	3.30	103	155.44	108
アパート(バスなし)・下宿	98.89	9	18.50	6	22.78	9	0.00	6	134.00	9
東大の寮	28.75	8	12.50	8	8.75	8	0.00	9	47.00	8
その他の寮	76.27	11	19.00	10	11.50	10	0.00	10	103.45	11
その他	74.00	3	26.67	3	10.00	3	0.00	3	110.67	3

※平均値の算出は該当者平均を求めた（無回答を除く）

6-4表 収入形態

区	分	仕送りのみ	奨学金のみ	アルバイトのみ	アルバイト・雑収入のみ	仕送り+奨学金	仕送り+アルバイト	仕送り+ローン・クレジット・借入金	奨学金+アルバイト	奨学金+ローン・クレジット・借入金	仕送り+アルバイト・雑収入	奨学金+アルバイト・雑収入
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2008年	男子	(20.8)	(1.5)	(0.0)	(6.8)	(6.3)	(0.0)	-	(0.0)	-	(49.2)	(4.4)
	女子	(19.4)	(1.4)	(0.0)	(6.5)	(3.7)	(0.0)	-	(0.0)	-	(57.0)	(2.0)
全	体	24.9	1.7	-	6.4	4.9	-	0.4	-	0.1	45.6	3.6
2008年	男子	26.4	1.9	-	5.9	5.0	-	0.4	-	0.1	44.2	3.1
	女子	20.1	0.3	-	8.6	4.6	-	0.7	-	0.0	50.2	4.6

区	分	仕送り+奨学金+アルバイト	仕送り+奨学金+ローン・クレジット・借入金	仕送り+アルバイト・雑収入+ローン・クレジット・借入金	奨学金+アルバイト・雑収入+ローン・クレジット・借入金	仕送り+奨学金+アルバイト・雑収入+ローン・クレジット・借入金	事例数
		%	%	%	%	%	人
2008年	男子	(0.0)	(11.1)	-	-	-	(1,130)
	女子	(0.0)	(10.2)	-	-	-	(356)
全	体	-	11.3	0.9	0.1	0.1	1,455
2008年	男子	-	11.9	0.8	0.1	0.1	1,122
	女子	-	9.2	1.3	0.0	0.0	320

6-5表 授業料はどのように負担していますか

区 分		家庭からの 仕送り	奨学金	アルバイト・雑収入	全額授業料 免除	半額授業料 免除	その他	事例数
2008年調査 (58回)		% (87.9)	% (4.5)	% (0.5)	% (注) (5.4)	% ←←	% (1.7)	人 1,506
全	体	81.0	7.4	3.1	5.2	1.7	1.7	1,570
男	子	80.2	7.6	3.0	5.6	1.9	1.7	1,215
女	子	85.1	6.7	3.2	2.6	0.9	1.5	342
自	宅	85.3	5.3	2.5	3.8	0.6	2.5	712
自	宅外	77.9	9.1	3.5	6.1	2.5	1.0	839
男	自宅	85.1	5.1	2.2	4.0	0.7	2.8	544
	自宅外	76.8	9.5	3.5	6.6	2.8	0.9	654
女	自宅	87.0	5.6	3.1	2.5	0.0	1.9	162
	自宅外	83.1	7.9	3.4	2.8	1.7	1.1	178
男	分譲マンション	89.5	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	19
	賃貸マンション(バスつき)	81.5	8.2	3.8	4.4	1.5	0.7	453
	アパート(バスなし)・下宿	74.4	10.3	7.7	5.1	2.6	0.0	39
	東大の寮	41.5	17.0	1.9	24.5	13.2	1.9	53
	その他の寮	72.3	14.5	1.2	7.2	3.6	1.2	83
	その他	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5
女	分譲マンション	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10
	賃貸マンション(バスつき)	83.7	7.8	3.9	2.3	0.8	1.6	129
	アパート(バスなし)・下宿	77.8	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	9
	東大の寮	80.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10
	その他の寮	86.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	15
	その他	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

※注：2008年は、授業料免除を全額・半額免除を区別しないで、「授業料免除」として調査した。

7-1表 現在の居住地

区 分	東京23区	東京都(23区外)	横浜市	川崎市	神奈川県(「横浜市・川崎市」を除く)	さいたま市・川口市	埼玉県(「さいたま市・川口市」を除く)	千葉・船橋・習志野各市の各戸	千葉県(千葉市・習志野市を除く)	その他の県	事例数
2008年調査(58回)	% (57.5)	% (14.5)	% (8.6)	% (3.2)	% (3.2)	% (2.5)	% (3.0)	% (2.6)	% (3.4)	% (1.3)	人 (1,568)
全 体	60.7	12.3	7.0	3.4	2.1	3.2	3.8	2.6	3.4	1.5	1,444
男 子	60.5	12.1	7.5	3.7	2.1	3.6	3.4	2.1	3.5	1.5	1,113
女 子	61.3	12.6	5.0	2.5	2.5	1.9	5.3	4.4	3.1	1.3	318
自 宅	36.8	11.8	13.3	6.2	4.2	6.1	7.4	5.2	6.1	2.9	692
自 宅 外	82.7	12.7	1.2	0.8	0.3	0.5	0.4	0.1	0.9	0.3	746
男 子	36.6	11.1	14.5	6.6	4.0	6.8	6.8	4.2	6.6	2.8	530
自 宅 外	82.2	13.1	1.2	1.0	0.3	0.7	0.3	0.0	0.7	0.3	578
女 子	37.8	13.5	9.6	5.1	5.1	3.8	9.6	8.3	4.5	2.6	156
自 宅 外	84.5	11.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	1.9	0.0	161
課 前 期	33.4	13.2	16.4	5.5	3.8	7.1	6.8	5.8	6.0	1.9	365
自 宅 外	74.3	22.2	0.9	0.6	0.3	0.9	0.3	0.0	0.3	0.3	338
課 後 期	40.8	10.4	9.8	7.1	4.6	4.6	8.0	4.6	6.1	4.0	326
自 宅 外	89.7	4.9	1.5	1.0	0.2	0.2	0.5	0.2	1.5	0.2	407

7-2表 現在の居住形態

区 分	自 宅	自 宅 外	事例数
2008年調査(58回)	% (52.4)	% (47.6)	人 (1,577)
全 体	48.1	51.9	1,439
男 子	47.8	52.2	1,108
女 子	49.1	50.9	318
男 子	50.9	49.1	554
後 期 課 程	44.7	55.3	553
女 子	54.8	45.2	146
後 期 課 程	44.2	55.8	172
男 子	50.4	49.6	413
理 科 系	46.3	53.7	695
女 子	44.6	55.4	175
理 科 系	54.5	45.5	143

7-3表 現在の住居区分 (自宅外のみ)

区 分	分譲マンション	賃貸マンション・アパート(バスつき)	アパート(バスなし)・下宿	東大の寮	その他の寮	その他	事例数
2008年調査(58回)	% (2.7)	% (68.9)	% (7.4)	% (9.4)	% (10.8)	% (0.8)	人 (743)
全 体	3.6	70.8	5.9	6.7	11.7	1.2	744
男 子	3.1	70.1	6.1	7.1	12.7	0.9	576
女 子	5.6	73.3	5.6	5.6	8.1	1.9	161
男 子	2.6	58.8	7.4	12.5	18.0	0.7	272
後 期 課 程	3.6	80.3	4.9	2.3	7.9	1.0	304
女 子	1.5	61.5	9.2	7.7	16.9	3.1	65
後 期 課 程	8.3	81.3	3.1	4.2	2.1	1.0	96
男 子	2.5	76.4	5.9	6.9	7.9	0.5	203
理 科 系	3.5	66.8	6.2	7.2	15.3	1.1	373
女 子	6.3	70.8	6.3	8.3	8.3	0.0	96
理 科 系	4.6	76.9	4.6	1.5	7.7	4.6	65

7-4表 学寮・学生宿舎等を作れば、入居するか

区 分		する	しない	入居費による	わからない	事例数
2008年調査 (58回)		% (13.9)	% (35.3)	% (36.0)	% (14.9)	人 (1,555)
全 体		13.9	32.8	38.1	15.2	1,434
男 子		13.7	32.4	39.8	14.1	1,105
女 子		14.2	34.2	32.9	18.7	316
男 子	前期課程	13.8	34.1	38.1	14.0	551
	後期課程	13.6	30.6	41.6	14.3	553
女 子	前期課程	11.7	41.4	29.7	17.2	145
	後期課程	16.4	28.1	35.7	19.9	171
男 子		14.3	32.1	38.4	15.2	414
女 子		13.3	32.6	40.7	13.5	691
男 子	文科系	19.1	28.9	34.1	17.9	173
	理科系	8.4	40.6	31.5	19.6	143

7-5表 通学に利用している交通機関

区 分		電車	バス	自家用車	バイク	自転車	徒歩のみ	その他	事例数
2008年調査 (58回)		% (77.5)	% (0.3)	% (0.0)	% (0.6)	% (17.3)	% (4.2)	% (0.1)	人 (1,526)
全 体		71.7	1.1	0.6	0.5	20.7	5.4	0.1	1,489
男 子		70.6	0.9	0.5	0.5	22.2	5.3	0.0	1,150
女 子		74.8	1.8	0.9	0.3	15.6	6.1	0.3	326
男 子	前期課程	81.8	1.0	0.5	0.3	12.9	3.4	0.0	581
	後期課程	59.2	0.7	0.5	0.7	31.7	7.2	0.0	568
女 子	前期課程	85.3	3.3	0.0	0.0	10.7	0.0	0.7	150
	後期課程	65.9	0.6	1.7	0.6	19.9	11.4	0.0	176

7-6表 通学所要時間

区 分		平均時間	事例数
2008年調査 (58回)		分 (49.3)	人 (1,565)
全 体		46.6	1,455
男 子		46.5	1,122
女 子		46.5	320
自 宅		64.8	692
自 宅 外		29.8	747
男 子	自 宅	65.0	530
	自 宅 外	29.5	578
女 子	自 宅	63.7	156
	自 宅 外	29.8	162

8-1表 奨学金を受けていますか

区 分	受けている	受けたいが 受けられなかった	受けたくない	受ける必要がない	事例数
2008年調査 (58回)	% (22.0)	% (14.6)	% (5.2)	% (58.3)	人 (1,568)
全 体	22.7	13.5	5.3	58.5	1,444
男 子	23.4	12.9	5.8	57.9	1,112
女 子	20.1	15.7	3.1	61.1	319

8-2表 「奨学金を受けたいが受けられなかった」又は「奨学金を受けたくない」と答えた理由

区 分	出願はした が採用され なかった	事務手続が 煩雑だから	掲示等に気 がつか なかった	資格がない	書類を期限ま でに整えられ なかった	貸与なので 申請しな かった	その他	事例数
2008年調査 (58回)	% (9.5)	% (5.4)	% (36.6)	% (13.3)	% (5.4)	% (25.1)	% (4.7)	人 (295)
全 体	9.0	12.5	6.3	27.4	6.3	36.5	2.1	288
男 子	7.7	12.3	6.8	27.7	5.5	37.7	2.3	220
女 子	13.8	13.8	4.6	24.6	9.2	32.3	1.5	65

8-3表 これから奨学金受けたと思いますか

区 分	受けたい	受けたくない	事例数
2008年調査 (58回)	% (53.2)	% (46.8)	人 (109)
全 体	46.2	53.8	117
男 子	41.8	58.2	91
女 子	64.0	36.0	25

8-4表 利用している奨学金の内訳

区 分	日本学生支援機構第一種奨学金	日本学生支援機構第二種奨学金	公益法人等・地方公共団体等の奨学金	大学独自の奨学金	日本学生支援機構第一種奨学金と第二種奨学金の併用	日本学生支援機構第一種奨学金と公益法人等・地方公共団体等の奨学金の併用	公益法人等・地方公共団体等の奨学金の併用	事例数
2008年調査 (58回)	% (38.7)	% (33.4)	% -	% -	% (9.0)	% (4.6)	% (14.2)	人 (343)
全 体	46.7	32.1	20.3	1.0	-	-	-	390
男 子	45.5	34.5	19.0	1.0	-	-	-	310
女 子	52.1	23.3	23.3	1.4	-	-	-	73

8-5表 奨学金はどんな面で役立っていますか

区 分	家庭の経済的負担が軽減される	多量に生活する	ゆとりが生まれる	アルバイトが軽減される	奨学金が成り立っている	定期的な収入がある	その他	事例数
2008年調査 (58回)	% (73.7)	% (26.3)	% (15.4)	% (38.5)	% (19.2)	% (1.4)	人 (345)	
全 体	42.3	18.3	11.4	19.1	7.7	1.2	586	
男 子	41.9	18.5	11.8	18.7	7.5	1.5	465	
女 子	43.5	18.3	9.6	20.0	8.7	0.0	115	

9-1表 過去一年間にアルバイトをしましたか

区 分	継続的 (1ヶ月以上) アルバイトをした	臨時 (1ヶ月未満) アルバイトをした	継続的+臨時 アルバイトをした	しなかった	事例数	
2008年調査 (58回)	% (54.8)	% (8.5)	% (17.8)	% (19.0)	人 (1,571)	
全 体	53.8	11.1	15.2	19.8	1,456	
男 子	53.5	12.3	12.7	21.5	1,123	
女 子	55.3	7.2	23.8	13.8	320	
男子	前期課程 後期課程	49.4 57.8	13.7 10.9	12.5 13.0	24.4 18.4	561 561
女子	前期課程 後期課程	54.1 56.3	7.5 6.9	21.9 25.3	16.4 11.5	146 174
男子	自宅 自宅外	57.4 49.7	10.4 14.1	13.6 12.2	18.6 23.9	531 581
女子	自宅 自宅外	58.3 52.5	5.8 8.6	24.4 22.8	11.5 16.0	156 162
男子	分譲マンション 賃貸マンション(バスつき) アパート(バスなし)・下宿 東大の寮 その他の寮 その他	50.0 52.1 51.4 45.0 37.8 60.0	11.1 13.0 8.6 32.5 13.5 20.0	16.7 13.3 2.9 2.5 14.9 20.0	22.2 21.6 37.1 20.0 33.8 0.0	18 407 35 40 74 5
女子	分譲マンション 賃貸マンション(バスつき) アパート(バスなし)・下宿 東大の寮 その他の寮 その他	77.8 51.7 77.8 44.4 38.5 0.0	0.0 7.6 11.1 11.1 7.7 66.7	11.1 27.1 0.0 22.2 7.7 33.3	11.1 13.6 11.1 22.2 46.2 0.0	9 118 9 9 13 3

9-2表 アルバイトの種類

区 分	家庭教師	塾講師	試験監督・採点	特殊技術を要すること	一般事務	販売・セールス・サービス業	肉体労働	宿直・警備	単純労働	コンピュータへの入力オペレーター	その他	事例数
2008年調査(58回)	% (23.7)	% (24.6)	% (11.2)	% (2.9)	% (6.9)	% (17.7)	% (5.8)	% (2.6)	% -	% -	% (4.5)	人 (1,273)
全 体	23.5	27.8	11.7	2.6	6.8	13.3	-	-	7.8	1.1	5.4	1,711
男 子	22.4	29.7	11.9	2.8	6.7	11.5	-	-	8.7	1.1	5.2	1,261
女 子	26.1	22.2	11.5	2.1	7.3	18.6	-	-	5.3	0.9	6.0	436

9-3表 アルバイト所要時間と収入金額

区 分	アルバイト所要時間		アルバイト収入金額	
	1週間当りの平均時間	人数	1ヶ月当りの平均収入	人数
2008年調査(58回)	時間 (11.20)	人 (1,252)	千円 (47.00)	人 (1,252)
全 体	11.42	1,455	43.10	1,455
男 子	11.44	1,122	43.38	1,122
女 子	11.42	320	42.51	320

9-4表 アルバイトの目的

区 分	生活費を稼ぐため	学費を稼ぐため(注)	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	事例数
2008年調査(58回)	% (34.6)	% (1.1)	% (34.1)	% (25.54)	% (4.7)	人 (1,208)
全 体	37.8	2.2	33.0	23.4	3.7	1,201
男 子	39.1	2.2	33.6	21.9	3.2	903
女 子	34.3	1.7	31.8	27.0	5.2	289

注：「学費を稼ぐため」は、2008年では「勉学費を稼ぐため」として調査

9-5表 継続的アルバイトは勉強の妨げになりませんでしたか

区 分	かなり妨げになった	多少妨げになった	妨げにならなかった	事例数
2008年調査(58回)	% (9.1)	% (48.0)	% (42.9)	人 (1,127)
全 体	8.0	49.3	42.7	986
男 子	9.2	47.4	43.4	726
女 子	4.4	55.0	40.6	251

9-6表 現在の暮らし向きについてどうお考えですか

区 分	かなり楽な方	やや楽な方	普 通	やや苦しい方	大変苦しい方	分からない	事例数
2008年調査(58回)	% (26.1)	% (23.4)	% (32.4)	% (14.0)	% (3.2)	% (0.9)	人 (1,490)
全 体	27.5	25.5	33.0	10.1	2.9	1.0	1,448
男 子	25.8	25.9	33.6	10.3	3.3	1.1	1,116
女 子	32.9	24.5	31.0	9.1	1.6	0.9	319

学生生活実態調査は、本年（2011年）も引き続きおこなっています。

第61回
東京大学
学生生活実態調査
2011

「聞く耳あります。」

聞かせてください、あなたの思い。

学生生活実態調査は、学生の生活実態・要望を捉え、施設の整備や就学上の制度改革等、学習環境改善の為の様々な施策の基礎資料となります。

調査内容

- ◎ 研究活動
- ◎ 奨学金
- ◎ 就職
- ◎ 学生生活
- ◎ アルバイト



コミュニケーション

回答して頂いた内容は匿名化したデータにより集計、次年度の12月に学内広報、Webによって公開されます。

締切日:2011年12月22日(木)

大学院学生のおよそ1/4に調査票が送られます。



学生委員会学生生活調査室

平成23年11月現在

調査室長	山口 勸 (大学院人文社会系研究科・文学部)
副調査室長	柳川 範之 (大学院経済学研究科・経済学部)
室員	伊藤 洋一 (大学院法学政治学研究科・法学部)
〃	石川 ひろの (大学院医学系研究科・医学部)
〃	大久保 達也 (大学院工学系研究科・工学部)
〃	塩谷 光彦 (大学院理学系研究科・理学部)
〃	吉田 薫 (大学院農学生命科学研究科・農学部)
〃	松岡 心平 (大学院総合文化研究科・教養学部)
〃	田中 智志 (大学院教育学研究科・教育学部)
〃	村田 茂穂 (大学院薬学系研究科・薬学部)
〃	倉光 修 (学生相談ネットワーク本部)
〃	小林 雅之 (大学総合教育研究センター)
〃	富田 靖博 (本部部長 (教育・学生支援部))
〃	関根 弘 (本部課長 (教育・学生支援部))

担当部署 本部学務課学生総務チーム (教育・学生支援部)

2011年12月12日

東京大学学生委員会学生生活調査室

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号

TEL : 03-5841-2503

e-mail:gakuseisoum@ml.adm.u-tokyo.ac.jp